徹夜祷
および聖体礼儀

目次

徹夜祷.....2

- 大晩課 я
- 早課

聖ヨハネ・クラマティオスによる聖体礼儀.....50

- 洗礼志願者のための聖体礼儀
- 信徒のための聖体礼儀

聖体拝領後の祈り.....98

聖バシレイオス大主教の聖体礼儀.....104

- 求道者のための聖体礼儀
- 信徒の聖体礼儀

あらかじめ聖別された聖体の典礼.....150

- 求道者のための聖体礼儀
- 信徒の聖体礼儀

徹夜祭

大晩課

教会に到着し、エピトラヒルを身にまとった司祭は、王の門の前に立ち、次のように宣言する：

わが神は、常に、今、そして永遠に、世々限りなく、祝福されますように。

朗読者：アーメン。神よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ。

天の王：「三聖歌」。栄光、そして今：「至聖なる三位一体よ、主よ、憐れみたまえ。」（3）栄光、そして今：「主の祈り」：

司祭が唱える：「まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属します。今、そして常に、世々限りなく。」

朗読者：「アーメン。主よ、憐れみたまえ。」（12）**「栄光、そして今：来たりて、拝もう」（3）、そして第9時の祈りが読まれる。**

その後に閉会式はなく、直ちに晩課の冒頭の呼びかけが唱えられる：

私たちの神は、常に、今、そして永遠に、そして世々限りなく、祝福されますように。

朗読者：アーメン。さあ、ひれ伏しましょう：**（3）そして詩篇103篇。**

もし晩課が徹夜祷の始まりである場合は、王の門を開いた状態で祭壇への香を焚く。

その後、助祭が次のように宣言する：「立ち上がれ！」

聖歌隊：祝福を。

司祭（香炉で十字架の印を描きながら）：聖なる、同質なる、命を与える、不可分なる三位一体に、常に栄光あれ。今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

司祭は祭壇にいる者たちと共に歌う：「さあ、私たちの王、神にひれ伏しましょう。さあ、キリスト、私たちの王、神にひれ伏し、その御前にひれ伏しましょう。さあ、キリストご自身、私たちの王であり神である方にひれ伏し、その御前にひれ伏しましょう。さあ、彼にひれ伏し、その御前にひれ伏しましょう！」

その後、詩篇103篇（またはその中から選ばれた節）を歌いながら、聖堂全体に香を焚く儀式が行われる。

[聖歌隊：わが魂よ、主を賛美せよ！／主よ、あなたは祝福された方です。／わが神、主よ、あなたは大いに尊ばれます。／主よ、あなたは祝福された方です。／あなたは栄光と威光にまとう。／主よ、あなたは祝福された方です。　／山々の間を水が流れ、／主よ、あなたの御業は驚くべきものです！／あなたはすべてを英知をもって造られました。／万物を造られた主よ、あなたに栄光あれ！]

詩編103

わが魂よ、主を賛美せよ！　主よ、わが神よ、あなたはまことに尊ばれ、栄光と威光にまとい、光を衣のように身にまとい、天を皮の覆いのようにはるかに広げられる。 あなたは水の中に御自身の天の宮殿を隠し、御自身の昇天のために雲を定め、風の翼に乗って進み、御自身の御使いたちを霊として、御自身の僕たちを炎として造り、地をその土台の上に堅く据えられました。それは、世々限りなく傾くことはありません。　深淵は衣の如く、それを覆い、山々には水が立ち上る。彼らはあなたの脅威から逃げ、あなたの雷鳴の響きを恐れる。彼らは山に登り、平野に下り、あなたが彼らのために定められた場所へ――越えてはならない境界を定め、地を覆うために引き返すことはない。 あなたは渓谷に泉を湧き出させ、**山々の真ん中を水が流れ**、野のすべての獣に水を飲ませ、野生のロバは渇きを癒やし、その傍らに空の鳥たちが住み着き、岩の間から声を上げる。 あなたは御自身の高みから山々を潤し、あなたの御業の実りによって地は満たされる。あなたは家畜のための草と、人々のために役立つ青草を育み、地からパンを生み出し、人の心を喜

ばせるぶどう酒を与え、その顔を油で輝かせ、パンは人の心を強める。 平野の木々、あなたが植えたレバノンの杉は満ち足りる。そこには小鳥たちが巣を作り、コウノトリの住処がそれらの上にそびえ立つ。高い山々は鹿のため、岩は野ウサギの避難所である。主は時を示すために月を造り 、太陽はその沈む時を知っている。 あなたは闇を広げ、夜が訪れた。その中を、森のすべての獣たちが彷徨い、若い獅子たちは、神から自分の糧を得て見つけ出そうと、獲物を狙って唸り声を上げる。太陽が昇ると、彼らは集まり、それぞれの巣穴で横たわる。人は夕暮れまで、自分の務めと仕事に出かける。 主よ、あなたの御業はなんと荘厳なことでしょう。**あなたはすべてを英知をもって造られました。**地はあなたの被造物で満ちています。この海は偉大で広大であり、そこには数えきれないほどの這うもの、大小さまざまな動物たちがいます。そこには船が航行し、また、あなたが私たちを嘲笑うために造られたあの竜もいます。 すべてのものは、あなたが定められた時に彼らに糧を与えてくださることを待ち望んでいます。あなたが彼らに与えられれば、彼らはそれを集め、あなたが御手を広げられれば、すべてのものは恵みで満たされます。しかし、あなたが御顔を背けられれば、彼らは動揺し、あなたが彼らの息を絶たれれば、彼らは消え去り、塵へと帰ります。 あなたが御霊を送られると、彼らは造られ、あなたは地の面を新たになさる。主の栄光は永遠に続き、主は御自身の御業を喜ばれる。主は地を見下ろしてそれを震わせ、山々に触れられると、それらは煙を上げる。 私は生涯、主に歌を歌い、生きている限り、私の神を賛美します。私の言葉が主にとって甘美なものとなり、私は主を喜び祝います。罪人たちが地から消え去り、不義な者たちが、もはや存在しないように。わが魂よ、主を賛美せよ！ 太陽は夕暮れを迎えた。あなたは闇を広げ、夜が訪れた。主よ、あなたの御業はなんと荘厳なことか。あなたはすべてを英知をもって造られた。

栄光あれ、今この時も：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。**(3)**

司祭は、王の門の前に頭巾を脱いで立ち、灯台の祈りを唱える。

大エケテニア

助祭：世の平和のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

天からの平和と、私たちの魂の救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教（**名前**）、ならびに我らの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、尊い司祭団、キリストにある助祭団、そしてすべての聖職者および神の民のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神に守られるわが国、その権力者たち、そして軍勢のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この都（**あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院**）、あらゆる都と国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

好天と、大地の実りの豊かさ、そして平和な時代のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

船乗り、旅人、病める者、苦しむ者、捕らわれの身にある者、そして彼らの救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして苦難から私たちを救ってくださるよう、主に祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアを、すべての　聖人たちと共に記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が宣言する：まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいのです。

聖歌隊：アーメン。

そして、詩篇の通常のカフィズムを唱えます。

土曜日の夕方には、第1カフィズマの三つのアンティフォンを歌います。聖母マリアの祝日および大聖人の祝日には、第1カフィズマの最初のアンティフォンを歌います。日曜日の夕方や主の主要な祝日（土曜・日曜の夕方を除く）には、詩篇の朗誦はありません。

第1カフィズマの第1アンティフォン。
詩篇第1篇

「**不義な者の助言に従わず、**罪人の道に立ち止まらず、悪を行う者の座に着かなかった人は、**幸いである。**その人の望みは主の律法にあり、昼も夜もその律法を深く考える。」 その人は、水の泉のほとりに植えられた木のように、その実を時季に実らせ、その葉は枯れることがなく、何をするにも繁栄する。 不義な者たちはそうではない。そうではない。彼らは、風によって地の面から吹き飛ばされる塵のようだ。それゆえ、不

義な者たちは裁きの場で立ち上がることなく、罪人たちもまた、義人の集いには加わることができない。**主は義人の道を御存知であるが、不義な者の道は滅びるからである。**

詩篇 2

なぜ異教徒たちは激怒し、諸国民はむなしい企みを企てたのか。地上の王たちは立ち上がり、君主たちは主とその油注がれた者に対して一堂に会した。「彼らの束縛を解き、彼らのくびきを振り払おう！」天に住まわれる方は彼らを嘲り、主は彼らを辱められる。 その時、主は御自身の怒りと激怒をもって彼らに向き直り、彼らを打ちのめされる。しかし、わたしは主によって、主の聖なる山シオンの王として立てられた。主の御言葉を告げ知らせる。主はわたしに言われた。「あなたはわたしの子、わたしは今日、あなたを産んだ。 わたしに求めよ。そうすれば、わたしは諸国民をあなたの嗣業とし、 地の果てをあなたの支配下に置く。あなたは鉄の杖で彼らを牧し、陶工の器のように彼らを砕くであろう」。 さあ、王たちよ、理解し、学びなさい。地のすべての裁判官たちよ。**主を畏れつつ仕え、主の前で畏れおののきつつ喜びなさい。**主が怒りを燃やされることのないよう、戒めを受け入れなさい。さもないと、まもなく主の怒りが燃え上がる時、あなたがたは義の道から外れて滅びてしまうだろう。**主を待ち望む者たちは皆、幸いである！**

詩編3

主よ、なぜ私を苦しめる者たちがこれほど増えたのでしょうか。多くの者が私に立ち向かい、多くの者が私の魂にこう言います。「彼の神には救いはない。」しかし、主よ、あなたは私の守り、私の栄光であり、あなたは私の頭を高く上げてくださいます。私は声を上げて主に呼び求めました。主は御自身の聖なる山から、私の声を聞いてくださいました。 私は眠りにつき、眠り続けた。目を覚ましたのは、主が私を守ってくださるからである。 私を取り囲んで襲いかかる大勢の人々を、私は恐れない。**立ち上がってください、主よ。私を救ってください、私の神よ。**あなたは、私に敵対する者たちをすべ

て無駄に打ち砕き、罪人たちの歯を砕かれたからです。**救いは主から、あなたの民への祝福も主から。**

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。**（3）**

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が宣言する：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属し、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

続いて、「主よ、私は叫びました」**（詩編140、141、129、116）をスティヒラ調で歌い、スティヒラそのものを唱える。この間、助祭は聖堂全体に香を焚く。**

「主よ、私は叫びました：」
（詩編140、141、129、116）

主よ、私はあなたに呼びかけました。私の声を聞いてください。／私の声を聞いてください、主よ。

主よ、私はあなたに呼びかけました。私の声を聞いてください、／私があなたに呼びかける時、／私の祈りの声に耳を傾けてください。／主よ、私の声を聞いてください。

私の祈りが、／香のように、あなたの御前に上りますように、／私の両手を差し伸べることは、／夕のいけにえの如く。／主よ、私の声を聞いてください。

主よ、私の口に番人を置き、私の唇に守りの扉を設けてください。私の心が、不法を行う者たちと共に、罪を正当化する悪しき言葉を企てることのないようにしてください。そして、私は彼らの仲間には加わらないようにしてください。　義人は慈しみをもって私を導き、私を戒めてくださいます。しかし、罪人の香油が私の頭に注がれることのないように。また、私の祈りが彼らの願いとなることのないように。　彼らの裁判官たちは岩の裂け目に飲み込まれた。彼らは私の言葉を聞くであろう。それは、その言葉が甘美なものとなったからである。まるで地の底が裂けて、彼らの骨が陰府で散らばったかのようだ。主よ、主よ、私の目はあなたに向けられている。私はあなたに望みを置いている。どうか私の魂を奪わないでください。　私を、私のために仕掛けられた罠から、また不法を行う者たちの誘惑から守ってください。罪人たちは自らの網に落ちるでしょう。私がそれを乗り越えるまでは、私は独りです。

私は声をあげて主に呼び求め、声をあげて主に祈った。主の御前に私の嘆きを注ぎ出し、主の御前に私の悲しみを告げ知らせる。私の霊が衰え果てたとき、それでもあなたは私の歩みを御存知であった。私が歩んだこの道に、彼らは私のために網を仕掛けた 。 私は右を見回し、見渡したが、私を認めてくれる者は誰もいなかった。逃げることもできなくなり、私の魂を擁護してくれる者もいなかった。主よ、私はあなたに叫び、「あなたは私の望み、生ける者の地における私の分け前です」と言った。　私の祈りに耳を傾けてください。私は深く打ちひしがれています。私を迫害する者たちから私を救い出してください。彼らは私よりも強大になっているからです。

10節：私の魂を牢獄から救い出してください。そうすれば、私はあなたの御名を賛美します。

あなたが私に報いてくださるまで、義人たちは私を待ち望んでいます。

8節：深みから、主よ、主よ、あなたに呼びかけます。私の声を聞いてください。

どうか、私の祈りの声に、あなたの耳を傾けてください。

第6節：主よ、主よ、もしあなたが不義を顧みられるなら、誰が耐えられましょうか。しかし、あなたには贖いがあります。

主よ、あなたの御名のために、私はあなたを待ち望みました。私の魂はあなたの御言葉に依り頼み、私の魂は主に望みを置きました。

4：朝の番から夜まで、朝の番から、イスラエルは主を待ち望む。

主には恵みがあり、主の救いは大いなるものであり、主はイスラエルをそのすべての不義から救い出される。

2節：すべての民よ、主を賛美せよ。すべての部族よ、主を称えよ。

その慈しみは私たちの上に確かなものであり、主の真実は永遠に続くからである。

栄光：スティヒラ

そして今：聖母賛歌

祝祭日には、最後のスティヒラが歌われる間に王の門が開かれ、香炉を携えての入堂が行われる。

入堂の祈り

司祭：夕べにも、朝にも、正午にも、私たちはあなたを賛美し、祝福し、感謝し、祈りを捧げます。万物の主、人を愛する主よ！　私たちの祈りを、香のように御前に捧げてください。そして、私たちの心が邪悪な言葉や思いにそれることのないようお守りください。また、私たちの魂を　に陥れようとするあらゆるものから私たちを救い出してください。主よ、主よ、私たちの目はあなたに向けられており、私たちはあなたに望みを置いています。どうか私たちを恥じ入らせないでください、私たちの神よ。

まことに、すべての栄光と誉れと礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいものです。アーメン。

助祭：主よ、聖なる入堂を祝福してください！

司祭：あなたの聖なる方々の入場は、常に、今、そしていつまでも、世々限りなく、祝福されています。

助祭は香炉で十字架の印を描きながら、こう宣言する。「知恵よ！畏敬の念をもって立ちましょう！**」**

神の御子への夕べの賛歌

合唱団は次のように歌う：喜びに満ちた聖なる栄光の光よ / 不死の天の父の、 / 聖なる、祝福された方――イエス・キリストよ！ / 太陽が沈む時を迎え、 / 夕暮れの光を見て、 / 父と子と聖霊、神を讃える。 / いつの時代も、 / 喜びの歌声をもってあなたを讃えることはふさわしい、 / 命を与える神の子よ、 / それゆえ、世界はあなたを賛美する。

入場後、通常の礼拝を行った後、助祭、あるいは助祭がいない場合は司祭が、その日のプロキメンを唱えます：

助祭：耳を傾けましょう。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ。プロキメン、声（○○）。

晩課のプロキメン
土曜日の夕方、第6調

主は王座に着き、 / 栄光に身を包まれた。

節：主は力をまとい、帯を締められた。

聖句：主は宇宙を堅く立てられた。それゆえ、それは揺らぐことはない。

聖句：主よ、あなたの宮には、永遠に聖なるものがふさわしい。 詩編92:1, 5B

晩課の順序

日曜日、第8調

今、主を賛美せよ、 / 主のすべてのしもべたちよ。

節：主の宮に立つ者たちよ、わが神の家の庭に立つ者たちよ。 詩編133:1

月曜日、第4調

主は、私が主に呼びかけるとき、 / 私の声を聞いてくださる。

節：私が呼び求めたとき、私の義の神は私を聞いてくださった。 詩編4:4B, 2A

火曜日、第1声

主よ、あなたの恵みは、 / 私の生涯のすべての日に私を追いかけてくる。

節：主はわたしを牧し、何一つ欠けることのないようにしてくださる。緑豊かな場所に、主はわたしを住まわせてくださった。 詩編22:6A、1–2A

水曜日、第5声

神よ、御名によって私を救い、 / 御力によって私を裁いてください。

節：神よ、私の祈りを聞き入れ、私の口の言葉に耳を傾けてください。 詩編53:3, 4

木曜日、第6調

私の助けは、天と地を造られた主から来る。

節：わたしは目を山々に向け、そこからわたしの助けが来るのを待ち望む。 詩編120:2, 1

金曜日、第7調

神よ、私の守り手はあなたであり、 / あなたの慈しみはまもなく私を包む。

節：神よ、私の敵から私を救い出し、私に立ち向かう者たちから私を贖ってください。

参照：詩編58:10B–11A, 2

祝日には、プロキムンの後にポリエレイを唱え、パリミア（通常は三つ）が読まれる。それぞれの前に次のように宣言する：

助祭：知恵。

朗読者：（書名の）朗読。

助祭：耳を傾けましょう。

聖書の朗読

司祭：あなたに平安あれ。

朗読者：そして、あなたの御霊にも。

の特別なエクテニア

助祭：皆で心を尽くし、思いを尽くして唱えましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全能の主よ、我らの父なる神よ、あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れみをお与えください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御大いなる憐れみをもって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、私たちの主であり父である至聖なる総主教（**名前**）と、私たちの主である（高）至聖なる大主教（**または：**大司教、**あるいは：司教**

――名前）、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、神に守られたわが国、その権力者たち、そして軍勢のために祈り、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、平穏で安らかな生活を送ることができますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）を建立した、祝福され、常に記念される方々のため、また、ここや各地に眠る、すでにこの世を去ったすべての正教の父たちや兄弟たちのために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）の兄弟たち{および信徒たち}である神の僕たちのために、慈悲、命、平安、健康、救い、御加護、赦し、そして罪の赦しを祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

また、この聖なる、至聖なる聖堂において献金を捧げ、善行を行う者たち、そこで労苦し、歌い、参列する者たちのために祈ります。彼らは、あなたからの偉大で豊かな憐れみを待ち望んでいます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

夕暮れ時の祈り

聖歌隊：主よ、この夕べ、私たちが罪を犯さずにいられますように。 / 主よ、私たちの先祖の神よ、あなたは祝福され、 / あなたの御名は永遠に賛美され、栄光を受けます。　アーメン。 / 主よ、私たちがあなたに望みを置くように、あなた

の憐れみが私たちの上にありますように。／主よ、あなたは祝福された方です。あなたの戒めを私に教えてください。／主よ、あなたは祝福された方です。あなたの戒めによって私を悟らせてください。／聖なる方よ、あなたは祝福された方です。あなたの戒めによって私を照らしてください。　／主よ、あなたの慈しみは永遠に続きます。あなたの御手によって造られた者たちを、見捨てないでください。／あなたにこそ賛美がふさわしく、あなたにこそ歌がふさわしい。／父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光がふさわしい。アーメン。

請願のエクテニア

助祭：主への夕の祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この完全で、聖なる、平和で、罪のない夕べを、主の御許に願います。

聖歌隊：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と肉体の守護者を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、平穏であり、またキリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

至聖なる、至清き、至祝福された、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈愛に満ち、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：また、あなたの御霊にも。

助祭：主の御前に頭を垂れましょう。

聖歌隊：主よ、あなたに。

頭を垂れる祈り

司祭：主なる神よ、天を低くされ、人類の救いのために降臨された方よ！　御自分のしもべたちと御自分の嗣業とを御覧ください。畏れ多くも、また人を愛する裁き主である御あなたの御前に、御自分のしもべたちは頭を垂れ、御自分に身を委ねました。人間の助けを頼るのではなく、御あなたの憐れみを待ち望み、御あなたからの救いを期待しているのです。いかなる時も、また今この夕べも、そしてこれから訪れる夜も、あらゆる敵から、悪魔のあらゆる妨害から、虚しい思いや悪意ある記憶から、彼らをお守りください。

司祭はこう宣言します。「御父、御子、聖霊の御名において、御国の御力が今、そして常に、世々限りなく、祝福され、賛美されますように。」

聖歌隊：アーメン。

リチアの儀式

徹夜祷が行われる日には、リティアを行うために、教会堂の玄関へ出て、教会堂のリティア用スティヒル（日曜日のもの）または祝日のものを歌いながら進みます。 司祭と香炉を持った助祭は、二人の聖具係に先導されて、北の扉から祭壇を出て、前庭に立つ。助祭は前庭で、聖像、修道院長、賛美者、そして会衆への香を焚く。スティヒルの歌唱が終わると、助祭（もし助祭がいない場合は司祭）は、以下の祈願を唱える：

神よ、あなたの民を救い、あなたの御業を祝福し、あなたの御心にかなう慈しみと恵みをもってこの世を顧み、正教徒の角を高め、私たちにあなたの豊かな恵みを注いでください。全き清き私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアの執り成しにより、聖なる命を与える十字架の力によって；天の聖なる無形の御力による執り成し、栄光ある聖なる預言者、先駆者、洗礼者ヨハネ、栄光ある、称賛に値する聖なる使徒たち、そして私たちの聖なる父たち、偉大な主教たち、普遍的な教師であるバシレイオス大聖人、神学者グレゴリオス、ヨハネス・クラマティスによる祈りによって；　聖なる父ニコライ、リキアのミール大司教、奇跡行者；聖なる使徒同等のメフォディウスとキリル、　スラブの教師たち、聖なる使徒同等の大公ウラジーミルと大公妃オルガ；聖なる父たちであり全ロシアの奇跡行者であるペトロ、アレクシオス、イオナ、フィリッポス、エルモゲノス；　栄光ある勝利の殉教者たち、尊い神に愛された父たち、聖なる義なる神の父母ヨアキムとアンナ、（聖なる神殿と聖なる日）、そして御身のすべての聖人たち：

慈悲深き主よ、御身に祈りを捧げる私たち罪人の声を聞き入れ、私たちを憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。**（40）**

さらに、神に守られたわが国、敬虔な民、およびその統治者たちのために祈ります。彼らの力、勝利、繁栄、平和、健康、そして救いのために。また、わが主なる神が彼らをさらに助け、あらゆる事において成功を与え、あらゆる敵や敵対者を彼らの足の下に屈服させてくださいますように。

合唱：主よ、憐れみたまえ。**（30）**

さらに、偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教**（名前）**と、我らの主である（高）至聖なる大主教**（あるいは：**大司教**、あるいは：司教――名前）**、 **[修道院においては：**また、我らのアルヒマンドリト（またはイグメン）**（名前）]**、そしてキリストにある我らの兄弟愛のすべてのために；また、神の憐れみと助けを必要とする、悲しみや苦難に直面しているあらゆるキリスト者の魂のために；この都市**（または：**この集落；**あるいは：**この聖なる修道院）とその中に住む者たち**（あるいは：**その中に）、全世界の平和と安寧のために；神の聖なる教会たちの繁栄のために；神への熱意と畏れをもって労苦し奉仕する私たちの父たちや兄弟たちの救いと助けについて；ここに留まっている者や遠方にいる者たち、病に伏している者たちの癒やしについて；[敬虔のうちに]先に旅立った私たちの父たちや兄弟たち、 ここや各地に眠る正教徒たちのため、捕らわれの身にある者たちの解放のため、奉仕に励む兄弟たちのため、そしてこの至聖なる聖堂**（あるいは：**この聖なる修道院）において奉仕している、またかつて奉仕したすべての人々のために、私たちは祈りを捧げます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。**（50）**

さらに、この都**（あるいは：**この集落）、この聖なる神殿**（あるいは：**この聖なる修道院）、そしてあらゆる都市や国が、飢饉、疫病、地震、洪水、火災、剣、異民族の侵略、内戦から守られますように； 慈愛に満ち、人を愛する私たちの神よ、私たちに憐れみ深く、好意を持ち、寛容であられますように。私たちに向けられたあらゆる怒りを退け、私たちを脅かす御自身の義なる懲罰から救い出し、私たちを憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。（3）

さらに、主なる神が、私たち罪人の祈りの声を聞き入れ、私たちを憐れんでくださるよう、祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。（3）

また、望むならば、生者や故人を密かに追悼する。

司祭：神よ、私たちの救い主よ、地の果てに至るすべての人々と、海の彼方にいる人々の希望である神よ、私たちの祈りを聞き入れてください。主よ、私たちの罪に対して憐れみ深く、憐れみ深くあられ、私たちを憐れんでください。　まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であり、私たちは父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：主の御前で、頭を垂れましょう。

聖歌隊：主よ。

皆が頭を垂れ、司祭は次のように祈りを捧げます：

あまねく慈しみ深い主、主イエス・キリスト、わが神よ、全き清きわが主の御母、神の母にして永遠の処女マリアの執り成しにより、聖なる命を与える十字架の力により、天の無形の聖なる勢力の守りにより、[祈りによって]　聖なる栄光ある預言者、先駆者にして洗礼者ヨハネ、聖なる栄光ある、万人に称えられる使徒たち、聖なる栄光ある、勝利を収めた殉教者たち、尊い、神に愛された私たちの教父たち；　私たちの聖なる父たち、[偉大なる]主教たち、そして全教会の教師であるバシレイオス大聖人、グリゴリオス神学者、ヨハネス・クラウディオス（金口）聖人；私たちの聖なる父ニコライ、　、リキアのミール大司教、奇跡行者；　使徒に等しい聖メフォディオスとキリル、スラブ人の教師たち、使徒に等しい聖大公ウラジーミルと聖大公妃オルガ；　私たちの聖なる父であり全ロシアの奇跡行者であるペトロ、アレクシオス、イオナ、フィリッポス、エルモゲノス、聖

なる義人である神の父母ヨアキムとアンナ、（聖なる教会と聖なる日）、そしてあなたのすべての聖人たち： 私たちの祈りを聞き入れてください。私たちの罪の赦しを授け、御自身の翼の庇いのもとで私たちを覆い、あらゆる敵や敵対者を私たちから追い払い、私たちの生活を平穏にしてください、主よ。私たちと御国を憐れみ、慈愛に満ちた人愛の御方として、私たちの魂を救ってください。

聖歌隊：アーメン。

その後、聖歌台でステヒラを唱え始め、それを歌いながら聖堂に入ります。

聖歌台でのスティヒラ

日曜日の詩篇：

詩句：主は王座に着き、 / 栄光に身を包まれた。

詩句：主は宇宙を堅く立てられた、 / それゆえ、それは揺らぐことはない。

聖句：主よ、あなたの宮には聖所がふさわしい。／主よ、それは永遠に続く。 詩編92:1, 5B

栄光、そして今：聖母マリア

聖シメオン・神受容者の祈り

聖歌隊：今、主よ、あなたは御言葉に従い、御自分のしもべを平安のうちに去らせてくださいます。 / 私の目は、あなたがすべての民の目の前で備えてくださったあなたの救いを見ました。 / それは異邦人への啓示の光であり、 / あなたの民イスラエルの栄光です。 ルカ 2:29–32

朗読者：三聖歌。「栄光、そして今」：至聖なる三位一体：「主よ、憐れみたまえ」。(3)「栄光、そして今」：「主の祈り」：

司祭が宣言する：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属します。今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

そして、私たちはこの祝日の送別トロパールを三度歌う。

復活祭の日には

聖母マリアよ、喜びなさい。 / 恵み豊かなマリアよ、主はあなたと共におられます。 / あなたは女たちの中で祝福され、 / あなたの胎内の御子もまた祝福されています。 / あなたは私たちの魂の救い主を産まれたからです。 **(3)**

歌の間に、助祭は、聖別のために供えられた五つのパン、小麦、そしてワインと聖油の入った二つの器が置かれた机の周りを三度香を焚き、最後に修道院長に香を焚きます。 司祭は一つのパンを取り、それをもって他のパンの上に十字架の印を描き、皆に聞こえるように次の祈りを唱える：

助祭：主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

パンの聖別における祈り

司祭：主イエス・キリスト、わが神よ、[荒野で]五つのパンを祝福し、五千人の[人々]を満腹にされた方よ！ どうか、これらのパン、小麦、ぶどう酒、オリーブ油をも御自身で祝福し、この町**（あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院）**において、また御自身の全世界において、それらを増やし、これらを口にする信者たちを聖別してください。 まことに、あなたはすべてのものを祝福し、聖別してくださる、私たちの神キリストよ。私たちは、あなたに、あなたの初めなき父と、至聖にして善き、命を与える御霊とともに、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。主の御名が、今より永遠に祝福されますように。**（3）**

詩編33

わたしは常に主を賛美し、わたしの口には常に主への賛美がある。わたしの魂は主を賛美する。柔和な人々はこれを聞いて喜び躍るであろう。わたしと共に主を賛美し、共にその御名を称えよう。わたしは主を求め、主はわたしに耳を傾け、わたしのすべての苦しみからわたしを救い出してくださった。主のもとに来て、光を受けなさい。そうすれば、あなたがたの顔は恥じ入ることはない。この貧しい者が叫んだとき、主は彼に耳を傾け、

すべての苦しみから彼を救い出された。主の御使いは、主を畏れる者たちの周囲に陣を張り、彼らを救い出す。　味わって、主がいかに良き方であるかを知れ。主を信頼する人は幸いである。　主を畏れよ、主の聖なる者たちよ。主を畏れる者には、何一つ欠けることがない。富める者は貧しくなり、飢えるようになったが、主を求める者は、いかなる善においても欠けることがない。 詩編 33:2–11

司祭：主の恵みと慈愛により、主の祝福が常に、今、そしていつまでも、世々限りなく、あなたがたの上にありますように。

聖歌隊：アーメン。

そして、六篇の詩篇から早課を始めます。

目次へ

早課 I

六篇の詩篇を始めます。皆、静寂と深い感銘をもって耳を傾けましょう。朗読する兄弟は、畏敬の念と神への畏れをもって次のように唱えます：

天には神に栄光、地には平和、人々の間には御好意あれ。**(3)**

主よ、あなたは私の口を開き、私の口はあなたの賛美を告げ知らせます。**(2)**

詩編第3篇

主よ、なぜ私を苦しめる者たちがこれほど増えたのでしょうか。多くの者が私に立ち向かい、多くの者が私の魂にこう言います。「彼には、その神による救いはない。」しかし、主よ、あなたは私の守り手、私の栄光であり、あなたは私の頭を高く掲げてくださいます。私は声を上げて主に呼び求めました。すると、主は御自身の聖なる山から私の声を聞いてくださいました。　私は眠りにつき、眠り続けた。目を覚ましたのは、主が私を守ってくださるからである。私を取り囲んで襲いかかる大勢の人々を、私は恐れない。主よ、立ち上がって私を救ってください、私の神よ。あなたは、私に対して敵意を抱く者たちをすべて無駄に打ち砕き、罪人たちの歯を砕かれたからです。　救いは主から来る。あなたの民には、あなたの祝福がある。私は眠りにつき、眠り続けた。目を覚ました。主が私を守ってくださるからだ。

詩編37

主よ、あなたの激怒によって私を責めず、あなたの怒りによって私を罰しないでください。あなたの矢は私に突き刺さり、あなたは私に御手を下されたからです。　あなたの怒りか

ら私の肉に癒やしはなく、私の罪から私の骨に安らぎはありません。私の不義は私の頭をも超え、重い荷のように私の上にのしかかっているからです。　私の狂気ゆえに、私の傷は悪臭を放ち、膿んでいる。私は苦しめられ、最後まで打ちひしがれ、一日中、嘆きながら歩いた。私の腰は嘲笑に満ち、私の肉には癒やしがないからだ。私は計り知れないほど打ち砕かれ、辱められ、心の嘆きから叫び声を上げた。主よ、私のすべての願いはあなたの御前にあります。 、私の嘆きもあなたから隠されることはありません。私の心は動揺し、私の力は私を離れ、私の目の光も、もはや私と共にありません。私の友や隣人たちは近づいて私の前に立ち、私の親しい者たちは遠くに立ち、私の命をねらう者たちは群がり、私に悪を企む者たちは一日中、空虚な言葉を語り、策略を練り続けました。　しかし、私は耳の聞こえない者のように聞かず、口をきかない者のように口を開かず、聞くこともできず、口に非難の言葉もない者のようになった。主よ、私はあなたに望みを置いた。主、私の神よ、あなたは聞いてくださる。私は言った。『私の敵たちが、私のことを嘲笑うことのないように！』と。私の足がよろめいたとき、彼らは私の上で高慢に振る舞ったからである。私は打たれる準備ができており、私の苦しみは常に私の前にある。私は自分の不義を告白し、自分の罪を悔い改める。　しかし、私の敵たちは生き延び、私よりも強くなり、不当に私を憎む者たちは増え続けた。善に対して悪で報いる者たちは、私を中傷した。私は善を追い求めたからだ。主よ、私の神よ、私を見捨てないでください。私から離れてはいけません。私の救い主である主よ、私を助けてください！　主よ、わが神よ、わたしを見捨てないでください。わたしから離れて行かないでください。わたしの救い主よ、どうかわたしを助けてください！

詩編62

神よ、わが神よ、私は夜明けからあなたを慕い求めます。私の魂はあなたを渇望しています。私の肉体は、荒れ果てた、通り抜けられない、水のない地で、何度あなたを慕い求めたことでしょう。そうすれば、私は聖所に現れて、あなたの力と栄光を見ることができたでしょう！　あなたの慈しみは、命よりも尊いからです。私の口はあなたを賛美します。こうして、私は生涯、あなたを祝福し、あなたの御名によって

私の手を挙げます。私の魂が乳と油で満たされるかのように、喜びの口で私の口はあなたを賛美します。 私は寝床であなたを思い起こし、朝にはあなたについて思いを巡らせました。あなたは私の助け手となってくださったからです。あなたの翼の陰で、私は喜びます。 私の魂はあなたにすがりつき、あなたの右の手が私を支えてくださいました。しかし、むなしく私の魂を追い求めた者たちは、地の底へと下り、剣の力にさらされ、キツネの餌食となるでしょう。 しかし、王は神を喜び、神に誓う者は皆、神を賛美する。偽りを語る者の口は塞がれたからである。朝、私はあなたについて思いを巡らせた。あなたは 私の助けとなってくださったからであり、あなたの御翼の陰で私は喜び歌う。私の魂はあなたにすがりつき、あなたの右の手が私を支えてくださった。

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。**（3）**主よ、憐れみたまえ。**（3）栄光、そして今：**

三つの詩篇が終わると、司祭は王の門の前に進み出て、頭巾を外したまま朝の祈りを唱える。

詩編87

主よ、わが救いの神よ、昼も夜も、私はあなたの御前に叫び求めています。どうか、私の祈りがあなたの御前に上りますように。私の嘆きに、あなたの耳を傾けてください。 まことに、私の魂は悪に満ち、私の命は陰府に近づきました。私は穴に下る者たちと共に数えられ、助けのない人のようになり、死者の間で自由のない者となりました。まるで戦いに倒れ、墓の中で眠る者たちのようで、あなたはもはや彼らを思い起こさず、彼らはあなたの手から拒絶されています。 彼らは私を最も深い穴に、死の闇と陰の中に置いた。あなたの怒りは私の上に降りかかり、あなたのすべての波を私の上に注がれた。あなたは私の知人たちを私から遠ざけられた。彼らは私を自分たちにとって忌まわしいものと見なした。私は見捨てられ、そこから抜け出すこともできなかった。 私の目は貧しさのために衰え果てた。主よ、私は一日中あなたに叫び、あなたに向かって両手を差し伸べた。あなたは死者に奇跡を行われるだろうか。それとも、医者た

ちが彼らをよみがえらせ、彼らがあなたを賛美するだろうか。 果たして、墓の中で誰があなたの慈しみを告げ、滅びの地であなたの真実を告げ知らせるだろうか。暗闇の中で、果たしてあなたの奇跡や、忘却の地であなたの真実が知られるだろうか。それでも私は、主よ、あなたに叫び求めた。朝早く、私の祈りはあなたに届く。 主よ、なぜあなたは私の魂を遠ざけ、御顔を私から背けられるのですか。私は貧しく、若き日から苦労に満ちてきました。高められたかと思えば、辱められ、疲れ果ててしまいました。あなたの怒りが私の上を通り過ぎ、あなたの恐怖が私を動揺させ、一日中、水のように私を取り囲み、すべてが私を包み込みました。 あなたは、苦しみのゆえに、私の友や隣人、知人たちを私から遠ざけられました。主よ、私の救いの神よ、私は昼も夜もあなたの御前で叫び求めています。どうか私の祈りがあなたの御前に上りますように。私の嘆きに御耳を傾けてください。

詩編102

わが魂よ、主を賛美せよ。わが内なるすべてよ、その聖なる御名を賛美せよ。 わが魂よ、主を賛美せよ。主のすべての恵みを忘れるな。主はあなたのすべての不義を赦し、あなたのすべての病を癒やし、あなたの命を滅びから救い出し、恵みと慈しみをもってあなたを冠し、あなたの願いを善きもので満たしてくださる。そうすれば、あなたの若さは、鷲のように新たにされる。 主は、すべての苦しむ者たちに慈しみと裁きを行われる。主はモーセに御自身の道を、イスラエルの子らに御自身の御心を示された。主は寛大で慈しみ深く、忍耐強く、大いなる憐れみをお持ちであり、怒りを最後まで保たず、永遠に憤り続けられることはない。 主は、私たちの不義に応じて私たちに報いられず、私たちの罪に応じて私たちに報いられなかった。天が地から高いように、主は御自分を畏れる者たちへの御慈しみを確かなものとなさった。東が西から離れているように、主は私たちの不義を私たちから遠ざけてくださった。 父が子たちを憐れむように、主は御自分を畏れる者たちを憐れんでくださる。主は私たちのありようを知っておられ、私たちが塵であることを覚えておられるからである。 人は草のようで、その日々は野の花のようであり、その花は散ってしまう。その息が絶えれば、もはやその人は存在せず、もはや自分の居場所を知ることはない。し

かし、主の慈しみは、主を畏れる者たちの上に、世々限りなくあり、主の真実もまた、主の契約を守り、その戒めを覚えてそれを行う子孫の子孫の上にある。 主は天に御座を設けられ、その御国は万物を支配しておられる。主を賛美せよ、主のすべての御使いたちよ。力強く、主の御言葉を聞き、その御声に従って御言葉を成し遂げる者たちよ。 主を賛美せよ、主のすべての軍勢よ、主の御心を行う主のしもべたちよ。主を賛美せよ、主のすべての被造物よ、主の支配が及ぶあらゆる場所で。わが魂よ、主を賛美せよ！　主の支配が及ぶあらゆる場所で。わが魂よ、主を賛美せよ！

詩編142

主よ、わたしの祈りを聞き入れてください。あなたの真実をもって、わたしの嘆きに耳を傾けてください。あなたの正義をもって、わたしの声に耳を傾けてください。そして、あなたのしもべと裁きに及ばないでください。なぜなら、生きている者のうち、あなたの御前で義と認められる者は一人もいないからです。　敵が私の魂を追い詰め、私の命を地にまで辱め、私を、古くから死んだ者たちのように暗闇の中に閉じ込めたからです。　私の霊は私の中で萎え、私の心は私の中で動揺しました。私は昔の日々を思い出し、あなたのすべての御業について深く考え、あなたの手の御業について熟考しました。　私はあなたに向かって両手を差し伸べた。私の魂は、あなたの御前で、水のない地のごとき。主よ、どうか速やかに私の声を聞いてください。私の霊は衰え果てています。どうかあなたの御顔を私から背けず、私を穴に下る者たちのようにはしないでください。朝早く、あなたの恵みを聞かせてください。私はあなたに望みを置いているからです。 主よ、私が歩むべき道を私に示してください。私はあなたに私の魂を捧げたからです。主よ、私の敵から私を救い出してください。私はあなたに逃げ込んだからです。あなたの御心を行うことを私に教えてください。あなたは私の神だからです。あなたの善き御霊が、私を義の地へと導いてくださいます。　主よ、御名のゆえに、あなたはわたしを生かし、御義によってわたしの魂を悲しみから救い出し、御慈悲

によってわたしの敵を滅ぼし、わたしの魂を苦しめる者たちをすべて滅ぼしてください。わたしはあなたのしもべだからです。 主よ、あなたの義によって私の声に耳を傾けてください。あなたのしもべと争わないでください。主よ、あなたの義によって私の声に耳を傾けてください。あなたのしもべと争わないでください。あなたの慈愛に満ちた御霊が、私を義の地へと導いてくださいます。

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

大エケテニア

助祭：平和のうちに、主への祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

天からの平安と、私たちの魂の救いについて、主に祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる教会と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教（**名前**）、ならびに我らの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、尊ばれる 司祭団、キリストにおける助祭、そしてすべての聖職者および神の民のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神に守られたわが国、その統治者たち、そして軍勢のために、主にお祈りしましょう。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

この都（あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院）、あらゆる都と国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

好天と、大地の実りの豊かさ、そして平和な時代のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

船乗り、旅人、病める者、苦しむ者、捕らわれの身にある者、そして彼らの救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が宣言する：まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいのです。

聖歌隊：アーメン。

そして、次のように歌い始めます。「神は主である：」
その日のトロパリオの調で

神は主であり、御身は我らに現れた。主の御名によって来られる方は祝福される。（4）

朝の瞑想の順序

第1節：主を賛美せよ。主は善き方であり、その慈しみは永遠に続くからである。

第2節：彼らは私を取り囲み、包囲したが、私は主の御名によって彼らに立ち向かった。

第3節：私は死なず、生き続け、主の御業を宣べ伝える。

第4節：建築者たちが捨てた石が、隅の親石となった。これは主によるものであり、私たちの目には驚くべきことである。

詩編 117:27A、26A、1、11、17、22–23

「神は主」**を4回歌う。その後、祝日のトロパールを2回歌い**、続いて「栄光」を歌い、さらに「今や」を、**同じ調の「聖母賛歌」で歌う。もしトロパールが2つある場合は、最初のものを2回歌い、続いて**「栄光」、**2つ目のトロパールを歌い、**さらに「今や」を、**2つ目のトロパールと同じ調の「聖母賛歌」で歌う。**

トロパールの後は、規定に従い、通常通り2つまたは3つのカフィズムを詠唱する。

小エケテニア

助祭：再び、この世において主へ祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

叫び：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属し、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

そして、セダリオンを唱えます。第二カフィズマの詩篇朗読の後、繰り返し次のように唱えます：

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈愛に満ち、人を愛する神であり、私たちは父と子と聖霊に、今、常に、そして世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

そしてセダリオンを唱えます。

祝日の場合は、カフィズムの後にポリエレイ――詩篇134篇と135篇（またはその一部の節）――を、「ハレルヤ」の反復を交えて歌う。

ポリエレイ。詩篇134

主の御名を賛美せよ。主の宮に立つ者たちよ、わが神の家の庭に立つ者たちよ、**主を賛美せよ。**主を賛美せよ。主は善い方だから。その御名を歌え。それは美しいことだから。主はヤコブを御自身のために選び、イスラエルを御自身の所有とされたからである。　わたしは、主が偉大であり、わたしたちの主がすべての神々よりも高きお方であることを知った。主は、天と地、海とすべての深淵において、御自身の望まれることをすべて造られた。地の果てから雲を呼び起こし、雨の際の稲妻を造り、御自身の倉から風を吹き出される。　主はエジプトの初子を、人から家畜に至るまで打ち倒し、エジプトよ、あなたの中に、ファラオとそのすべての家来たちに対して、しるしと奇跡を行われた。　主は多くの民を打ち倒し、強大な王たちを滅ぼされた。アモリ人の王シゴン、バシャンの王オグ、そしてカナンのすべての王国を滅ぼし、その地を御自分の民イスラエルの嗣業として与えられた。主よ、あなたの御名は永遠に続き、あなたへの記憶は代々受け継がれます。主はご自分の民を裁き、ご自分のしもべたちに憐れみをお示しになるからです。　異教徒の偶像は、銀や金、人の手による造り物である。口はあるが語らず、目はあるが見えず、耳はあるが聞こえない。その口には息さえもないからだ。それらを造った者たち、そしてそれらに頼る者たちは、すべてそれらに似るであろう。　イスラエルの家よ、主を賛美せよ。アロンの家よ、主を賛美せよ。レビの家よ、主を賛美せよ。主を

畏れる者たちよ、主を賛美せよ。**シオンから、エルサレムにおられる主は、ほむべき方である。**

詩編135

主を賛美せよ。主は善であり、その慈しみは永遠に続くから。神々の神を賛美せよ。その慈しみは永遠に続くから。主たちの主を賛美せよ。その慈しみは永遠に続くから。 偉大な奇跡を行われた方、その慈しみは永遠に続く。天を英知をもって造られた方、その慈しみは永遠に続く。水を基にして地を確立された方、その慈しみは永遠に続く。二つの偉大な天体を造られた方、その慈しみは永遠に続く。太陽は昼を治めるため、その慈しみは永遠に続く。月と星々は夜を治めるため、その慈しみは永遠に続く。 エジプトとその長子たちを打たれた方、その慈しみは永遠に続く。そして、力強い御手と高き御腕をもって、イスラエルを彼らのうちから導き出された方、その慈しみは永遠に続く。 紅海を二つに分けられた方、その慈しみは永遠に続く。イスラエルをその中を通らせた方、その慈しみは永遠に続く。ファラオとその軍勢を紅海に沈められた方、その慈しみは永遠に続く。 御自分の民を荒野に導き通された。その慈しみは永遠に続く。偉大な王たちを打ち倒された。その慈しみは永遠に続く。強大な王たちを滅ぼされた。その慈しみは永遠に続く。 アモリ人の王シゴンを滅ぼされた。その慈しみは永遠に続く。バシャンの王オグを滅ぼされた。その慈しみは永遠に続く。彼らの地を嗣業として与えられた。その慈しみは永遠に続く。御自分のしもべイスラエルに嗣業として与えられた。その慈しみは永遠に続く。主は、わたしたちが屈辱にさらされていたとき、わたしたちを覚えてくださった。主の慈しみは永遠に続く。また、主はわたしたちを敵から救い出してくださった。主の慈しみは永遠に続く。主はすべての生き物に糧を与えてくださる。主の慈しみは永遠に続く。**天の神を賛美せよ。主の慈しみは永遠に続く。**

[放蕩息子の週、肉断食週、乳製品断食週には、通常の二つのポリエリオン詩篇の後に、第三の詩篇である第136篇を付け加え、各節ごとに「ハレルヤ」の反復を唱える。]

その後、祝日には選ばれた詩篇の節を用いた賛歌が歌われ、日曜日には次のように歌われる：

「清き者たち」のトロパリ、第5声

主よ、あなたは祝福された方です。 / あなたの戒めを私に教えてください。

天使の群れは驚嘆した、 / 救い主よ、あなたが死者の列に加えられ、 / しかし死の力を打ち砕き、 / アダムを御自身と共に甦らせ、 / そしてすべての人を地獄から解放されたのを見て。

主よ、あなたは祝福された方です。 / あなたの戒めを私に教えてください。

「なぜ、汝ら、憐れみの涙で、／この香油を薄めているのか、／お弟子たちよ？」／――墓の中で輝きを放つ天使が、香油を携えた女たちに呼びかけた、／――「墓の中をよく見て、／救い主が墓からよみがえられたことを悟れ！」

主よ、あなたは祝福された方です。 / あなたの戒めを私に教えてください。

早朝、香油を携えた女たちは / 嗚咽しながら、あなたの墓へと急いだ。 / しかし、天使が彼女たちの前に現れ、こう叫んだ。 / 「嗚咽する時は終わった。泣いてはならない。 / むしろ、使徒たちに復活の知らせを伝えなさい」。

主よ、あなたは祝福された方です。 / あなたの戒めを私に教えてください。

香油を携えて / あなたの墓にやって来た女性たちは、救い主よ、泣き崩れていました。 / その時、天使が彼女たちにこう告げました。 / 「なぜ、生ける方を死者の仲間に数えるのですか。 / 神として、彼は墓からよみがえったのですから」。

栄光、三位一体：父に、 / その御子に、聖霊に、 / 一つの本質における聖なる三位一体に、 / セラフィムたちと共に叫びながら礼拝しましょう：「聖なる、聖なる、聖なる方よ、主よ」。

そして今、神の母への賛歌：命の与え主を産み、 / おとめよ、あなたはアダムの罪から救い、 / エバには悲しみのかわりに喜びを与えた。 / 命から離れた者を、彼女のもとへと導かれたのは、 / あなたから受肉された神であり人である。

ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

助祭：繰り返し：

司祭が宣言する：まことに、御名は祝福され、御国は賛美されます。父と子と聖霊の御国は、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

続いて、日曜日はイパコイと、各声部のステペンナ・アンティフォナ。祝日には、セダリオンと第4声部の第1アンティフォナ：

ステペンナ、第4声調の第1アンティフォン

私の若き日から / 多くの情念が私と戦ってきた； / しかし、主よ、どうか私を守り、救ってください、 / 私の救い主よ。

シオンを憎む者たちよ、 / 主の前で恥じ入りなさい。 / あなたがたは、 / 火に焼かれた草のように枯れ果てるからである。

栄光は、今なお：聖霊によってあらゆる魂は生かされ、 / 清めによって高められ、 / 聖なる秘儀において、 / 三位一体の統一によって照らされる。

助祭：耳を傾けましょう。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ。プロキメン、声（○○）：

復活日のプロキメン
第1調

「今、わたしは立ち上がる」と主は言われる、／「わたし自身の中に救いを現し、それをはっきりと告げ知らせる。」

節：主の言葉は清き言葉である。 詩編11:6B,7A

第2声

主よ、わが神よ、あなたが命じられた御言葉に従って目を覚ましてください。 / そうすれば、諸国民の集いがあなたを取り囲むでしょう。

節：主よ、わが神よ！ わたしはあなたに望みを置く。わたしを救ってください。 詩編 7:7B–8A, 2A

第3声

諸国民の間に告げよ、主が王となられたと、 / 主は世界を堅く立てられたから、それは揺らぐことはない。

節：主に向かって新しい歌を歌え、全地よ、主に向かって歌え。 詩編95:10A, 1

第4声

主よ、立ち上がって、私たちを助け、 / 御名のゆえに私たちを救い出してください。

節：神よ、私たちは耳で聞き、先祖たちが私たちに告げ伝えました。 詩編43:27, 2A

第5調

主、わが神よ、立ち上がってください。御手を高く上げてください、 / あなたは永遠に君臨されるからです。

節：主よ、私は心を尽くしてあなたを賛美し、あなたのすべての御業を語り告げます。

参照：詩編 9:33A, 37, 2

第6声

主よ、御力を現わし、私たちを救うために来てください。

聖句：イスラエルの牧者よ、ヨセフの羊の群れを導く方よ、耳を傾けてください。 詩編 79:3B, 2A

第7声

立ち上がってください、主、わが神よ。御手を高く上げてください、 / 御自身の貧しい者たちを、最後まで忘れないでください。

節：主よ、私は心を尽くしてあなたを賛美し、あなたのすべての御業を告げ知らせます。 詩編 9:33, 2

第8調

主は永遠に君臨なさる、 / シオンの神よ、代々、代々にわたって。

節：わが魂よ、主を賛美せよ。私は生涯、主を賛美し続ける。詩編 145:10, 1B–2A

助祭：主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

司祭が宣言する：まことに、あなたは聖なる方、私たちの神であり、聖なる者たちの中に安らぎ、私たちは父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

助祭が第二のプロキメンを唱える

息をするすべてのものは、 / 主を賛美せよ。

詩句：神の聖なる御業において神を賛美せよ、その力ある御業において神を賛美せよ。 詩編150:6, 1

助祭：私たちが聖なる福音に耳を傾けるにふさわしい者とされますよう、主なる神に祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。（3）

助祭：知恵よ！　畏敬の念をもって立ちましょう。聖なる福音に耳を傾けましょう。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

司祭：（福音書記者の名前）による聖なる福音書の朗読です。

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ。

助祭：耳を傾けましょう。

福音書の朗読

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

福音朗読後の日曜日の賛歌、第6調

聖歌隊：キリストの復活を目撃し、／聖なる主イエスにひれ伏そう、／唯一の罪なき御方に。／キリストよ、あなたの十字架にひれ伏し、／あなたの聖なる復活を歌い、賛美しよう、／あなたは私たちの神であり、／あなた以外に知る者はなく、／あなたの御名を呼び求める。／ さあ、すべての信徒よ、／ キリストの聖なる復活にひれ伏そう、／ 見よ、十字架を通して／ 全世界に喜びがもたらされた。／ 常に主を賛美しつつ、／主の復活を讃え歌おう、／ 主は十字架の苦難に耐え、／ 死によって死を打ち砕かれたからである。

詩編50

朗読者：神よ、あなたの大きな憐れみと、数えきれないほどの慈しみによって、私を憐れんでください。私の不義を消

し去り、私の不義を完全に洗い流し、私の罪から私を清めてください。私は自分の不義を知っており、私の罪は常に私の前にあるからです。 ただあなたに対してのみ、私は罪を犯し、あなたの御前で悪を行った。どうか、あなたの御言葉によって義とされ、もし誰かがあなたと争うことがあっても、あなたが勝利されますように。見よ、私は不義のうちに宿り、罪のうちに母は私を産んだ。 見よ、あなたは真理を愛し、あなたの知恵の隠されたこと、秘められたことを私に明らかにしてくださいました。あなたはヒソプで私に水を振りかけ、私は清められます。私を洗ってくだされば、私は雪よりも白くなり、喜びと楽しみを聞かせてくだされば、打ちひしがれた私の骨は喜び踊ります。どうか、私の罪から御顔を背け、私のすべての不義を消し去ってください。神よ、私のうちに清い心をお造りください。そして、正しい御霊を私の内に新たにしてください。どうか、御顔から私を追い出さないでください。また、聖霊を私から取り去らないでください。 あなたの救いの喜びをわたしに返してください。そして、主の御霊によってわたしを強めてください。わたしは不義な者たちにあなたの道を教え、不敬虔な者たちもあなたに立ち返るでしょう。神よ、わたしの救いの神よ、血の罪からわたしを救い出してください。そうすれば、わたしの舌はあなたの真実を喜び歌います。 主よ、あなたは私の口を開き、私の口はあなたの賛美を告げ知らせるでしょう。もしあなたが犠牲を望まれたなら、私はそれをささげましたが、全焼のいけにえには、あなたは喜ばれません。神へのいけにえは、砕かれた霊であり、砕かれ、へりくだった心を、神は軽んじられません。 主よ、あなたの恵みをもってシオンを恵み、エルサレムの城壁が再建されますように。そうすれば、あなたは義のいけにえ、献げ物、全焼のいけにえを喜んで受け入れ、あなたの祭壇には雄牛が捧げられるでしょう。

日曜日

栄光：使徒たちの祈りによって、 / 憐れみ深い方よ、 / 私たちの多くの罪を / 赦してください。

そして今：聖母マリアの祈りにより、 / 憐れみ深い主よ、 / 私たちの多くの罪を赦してください。

神よ、私を憐れんでください、 / あなたの偉大な憐れみによって、 / そしてあなたの数多の慈しみによって、 / 私の不義を消し去ってください。

イエスは、予告されたとおり、 / 墓からよみがえり、 / 私たちに永遠の命と / 大いなる憐れみを授けてくださいました。

聖人の祝日に

栄光：（使徒、殉教者、聖人：その名）の祈りにより、慈悲深き主よ、私たちの多くの罪を赦してください。

そして今：聖母マリアの祈りにより、**また**「神よ、私を憐れんでください」と：

そして、祝日のスティヒラ。

[「徴税人とファリサイ人」の週から、大斎の第5週まで、第50篇の詩篇の後に悔悛のトロパリを歌う。]

その後、福音書の接吻の後、助祭は次のように宣言する

神よ、あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福し、あなたの慈しみと恵みをもってあなたの世界を顧み、正教徒の角を高め、私たちにあなたの豊かな慈しみを注いでください。全き清き私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアの執り成しにより、聖なる命を与える十字架の力によって； 天の聖なる無形の御力による執り成し、栄光ある聖なる預言者、先駆者にして洗礼者ヨハネ、栄光ある聖なる使徒たち、そして私たちの聖なる父たち、偉大なる主教たち、普遍的な教師であるバシレイオス大聖人、神学者グレゴリオス、ヨハネス・クラマティスによる祈りによって； 私たちの聖なる父、リキアのミール大司教、奇跡行者聖ニコライ；使徒に等しい聖メフォディオスとキリル、スラブ人の教師たち、使徒に等しい大公ウラジーミルと大公妃オルガ；私たちの聖なる父たちであり全ロシアの奇跡行者である聖ペトロ、アレクシオス、

イオナ、フィリッポス、エルモゲノス； 栄光に満ちた勝利の殉教者たち、尊い神に愛された父たち、聖なる義人である神の父母ヨアキムとアンナ、（聖なる教会と聖なる日）、そして御身のすべての聖人たち：慈悲深き主よ、御身に祈りを捧げる私たち罪人の声を聞き入れ、私たちを憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。（12）

司祭が宣言する：御子の一人子、御子と共に祝福された御方、そして全聖にして善き、命を与える御霊の、御慈悲と寛大さと人間愛によって、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

そして聖歌隊はカノンを歌い始める——日曜日には、復活のカノン、十字架の復活のカノン、聖母マリアのカノン、およびミネイのカノン。第3の歌の後、助祭または司祭が小エクテニアを唱える。続いてミネイのセダレン。第6の歌の後、エクテニア。コンダクとイコス。そしてシナクサリオからの朗読。

カタヴァシアの後、第8歌で助祭が「聖母マリアと光の母を歌をもって賛美しましょう」と唱える。

至聖なる聖母マリアの賛歌

聖歌隊：わが魂は主を賛美し、／わが霊はわが救い主なる神を喜び祝う。

ケルビムたちの最高の栄光、／セラフィムたちの比類なき栄光に勝る、／処女として神の御言葉を産み、／真の神の母であるあなたを、私たちは賛美します。

主は御自分のしもべの謙遜に目を留めてくださった。 / それゆえ、今より後、すべての世代が私を幸いな者と呼ぶであろう。

ケルビムたちの最も高い栄光：

全能者よ、私に偉大な御業を成し遂げられ、 / その御名は聖なるものであり、 / 御慈悲は、御自身を畏れる者たちの子孫の代々にわたって続く。

朝の瞑想の順序

ケルビムたちの最も高い栄光：

御手をもって力ある御業を成し遂げ、 / 心の高ぶる者たちを打ち砕かれた。

ケルビムたちの至高の栄光：

権力者たちを王座から引きずり下ろし、 / 謙虚な者たちを高め、飢えた者たちに恵みを満たし、 / 富める者たちを空手で追い返した。

ケルビムたちの最高の栄光：

御自身の若き者であるイスラエルを支え、 / 御慈悲を思い起こし—— / 御父祖たちに告げられたとおり—— / アブラハムとその子孫に、永遠に。 ルカ 1:46–55

ケルビムたちの至高の栄光：

そして、カノンの第9歌。第9歌のカタヴァシア、すなわち「ふさわしいことなり」の後、小エクテニア。

その日または祝日のスヴェティレン。

日曜日には、助祭が次のように宣言する

助祭：聖なる主、私たちの神。

聖歌隊：聖なる主、わが神よ。

助祭：まことに、主なる私たちの神は聖なる方です。

聖歌隊：私たちの神、主は聖なる方です。

助祭：すべての人々の上に、私たちの神がおられます。

聖歌隊：主なる神は聖なる方です。

続いて、主日および祝われる聖人のエクサポスティラリオンを唱える。そして、その日の声調に合わせて、賛美の詩篇と「賛美者たち」のスティヒラを歌い始める：

賛美の詩篇（148～150）

聖歌隊：息のあるものはすべて、主を賛美せよ！ / 天から主を賛美せよ、高き所から主を賛美せよ。神よ、あなたに賛美の歌がふさわしい。 /

主のすべての御使いたちよ、主を賛美せよ。主のすべての軍勢よ、主を賛美せよ。 / 神よ、あなたに賛美の歌がふさわしい。

続いて朗読者：太陽よ、月よ、主を賛美せよ。すべての星と光よ、主を賛美せよ。天の天よ、天よりも高い水よ、主を賛美せよ。主の御名を賛美せよ。主が語られたゆえにそれらは現れ、主が命じられたゆえにそれらは造られたからである。 主はそれらを永遠に、世々限りなく定め、御命令を下された――それは決して消え去ることはない。地から主を賛美せよ。竜たちよ、すべての深淵よ、火、雹、雪、氷、荒れ狂う風よ、主の御言葉を行う者たちよ、山々よ、すべての丘よ、 実を結ぶ木々とすべての杉、獣とすべての家畜、這うものと翼ある鳥、地の王たちとすべての民、君主たちと地のすべての裁き人、若者たちと乙女たち、年長者たちと幼子たちよ、主の御名を賛美せよ。主の御名のみが高められているからである。地と天において、主を賛美せよ。 主は御自分の民の角を高められる。歌は、主のすべての聖徒たち、イスラエルの子ら、主に近づく民に捧げられる。

主に向かって新しい歌を歌え。聖徒の集いにおいて、主を賛美せよ。イスラエルは、自らを造られた方を喜び、シオンの子らは、その王を喜び祝おう。踊りの輪の中でその御名を賛美し、ティンパニとハープを奏でて主に捧げよ。主は御自分の民を喜ばれ、柔和な者を救いへと高められるからである。 聖徒たちは栄光のうちに賛美し、その寝台の上で喜び躍る。彼らの喉には神への賛美があり、その手には両刃の剣がある。それは、部族の間で報復を成し遂げ、諸国民の間で裁きを行い、彼らの王たちを縄で縛り、その高慢な者たちを鉄の手錠で縛り上げるためである。

6節：彼らの間で定められた裁きを成し遂げるため。 / この栄光は、神のすべての聖徒に帰する。

神の聖なる者たちの中で神を賛美せよ、 / 神の力の天の穹蒼において神を賛美せよ。

第4節：その力のために主を賛美せよ、／その偉大さの多さに応じて主を賛美せよ。

ラッパの音と共に主を賛美せよ、／竪琴とハープをもって主を賛美せよ。

ティンパニと円舞の場で主を賛美せよ、／弦楽器とオルガンで主を賛美せよ。

響き渡るシンバルをもって主を賛美せよ、澄んだ音色のシンバルをもって主を賛美せよ。／息のあるものはすべて、主を賛美せよ！

日曜日には、以下の詩句を追加します：

聖句：立ち上がってください、主、わが神よ。御手を高く上げてください。 / 御自身の貧しい者たちを、最後まで忘れないでください。 詩編 9:33

聖句：主よ、私は心を尽くしてあなたを賛美し、 / あなたのすべての御業を告げ知らせる。

詩編9:2

栄光：福音のスティヒラ。

そして今、神の母よ、第2調

聖歌隊：あなたはまことに祝福された方、神の母であるおとめよ、／あなたから受肉された御方によって、地獄は捕らえられ、／アダムはそこから救い出され、／呪いはその力を失い、／エバは解放され、死は に打ち倒され、／そして私たちは命に満たされた。／それゆえ、賛美しつつ、こう叫びます：／「このように御心をお示しくださったキリスト・神よ、祝福あれ、あなたに栄光あれ！」

司祭：私たちに光を示してくださったあなたに、栄光あれ。

大賛美

聖歌隊：天には神に栄光、地には平和、人々に御好意。私たちはあなたを賛美し、あなたを祝福し、あなたにひれ伏し、あなたを賛美し、あなたの偉大な栄光のためにあなたに感謝します。 主よ、天の王よ、全能の父なる神よ、主よ、独り子イエス・キリストよ、そして聖霊よ！主なる神よ、神の子羊よ、父の御子よ、世の罪を取り除かれる方よ、私たちを憐

れんでください。世の罪を取り除かれる方よ、私たちの祈りをお受けください。父の右に座しておられる方よ、私たちを憐れんでください。まことに、あなたこそ唯一の聖なる方、唯一の主、イエス・キリストであり、父なる神の栄光のゆえに。アーメン。

日々、あなたを賛美し、あなたの御名を永遠に、世々限りなく讃えます。主よ、この日、私たちが罪を犯さずにいられますように。主よ、私たちの先祖の神よ、あなたは祝福され、あなたの御名は永遠に称えられ、栄光を受けます。アーメン。

主よ、私たちがあなたに望みを置くように、あなたの憐れみが私たちの上にありますように。

主よ、あなたは祝福された方です。あなたの戒めを私に教えてください。（3）

主よ、あなたは代々、私たちにとっての避難所となられました。私は言いました。「主よ、私を憐れんでください。私の魂を癒してください。私はあなたの御前で罪を犯しました。」 主よ、私はあなたに逃げ込みました。あなたの御心を行うことを教えてください。あなたは私の神だからです。あなたにはいのちの源があり、あなたの光の中で、私たちは光を見るからです。あなたを知る者たちに、あなたの憐れみを注いでください。

聖なる神、聖なる力ある方、聖なる不死なる方、私たちを憐れんでください。（3）

栄光は父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。

聖なる神よ、聖なる力強い方よ、聖なる不死の方よ、私たちを憐れんでください。

祝日のトロパリオ。「栄光、今この時も」：聖母賛歌。

日曜日のトロパリ
第1、第3、第5、第7声

この日、世界の救いが成し遂げられた！／墓からよみがえられた方、／そして我らの命の主を讃えよう。／なぜなら、死によって死を滅ぼし、／私たちに勝利と偉大な恵みを与えてくださったからである。

第2、4、6、8声部

墓から復活なさり、あなたは地獄の鎖を断ち切り、 / 死の裁きを無効にされ、主よ、 / すべての人を敵の罠から救い出されました。 / そして、あなたの使徒たちの前に現れ、 / 彼らを宣教へと遣わし、 / 彼らを通して全世界に平和を授けられました、 / 唯一にして、あまねく慈しみ深い方よ。

特別なエケテニア

助祭：神よ、御大いなる憐れみをもって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみ給え（**3回**）。

さらに、私たちの偉大なる主であり父である、至聖なる総主教（**名前**）と、私たちの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、神に守られたわが国、その権力者たち、そして軍勢のために祈り、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、平穏で安らかな生活を送ることができますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）を建立した、祝福され、常に記念される方々のため、また、 より先に眠りについた、ここや

各地に眠るすべての正教徒である私たちの父たちや兄弟たちのために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）の兄弟たち{および信徒たち}である神の僕たちのために、慈悲、命、平安、健康、救い、御加護、赦し、そして罪の赦しを祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

また、この聖なる、至聖なる聖堂において献金を捧げ、善行を行う者たち、そこで労苦し、歌い、参列する者たちのために祈ります。彼らは、あなたからの偉大で豊かな憐れみを待ち望んでいます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

請願のエクテニア

助祭：主への朝の祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、あなたの恵みによって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

この完全で、聖なる、平和で、罪のない一日を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と肉体の守護者を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、安らかに迎えられるよう、また、キリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲と寛大さと人間愛に満ちた神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：主の御前に頭を垂れましょう。

聖歌隊：主よ、あなたに。

朝の瞑想の順序

頭を垂れる祈り

司祭：聖なる主よ、高き所におられ、遠くを見渡し、その全知の御目ですべての被造物をご覧になる方よ！　私たちは心と体をあなたに傾け、聖なる聖なる方よ、あなたに祈ります。あなたの聖なる住まいから、その目に見えぬ御手を伸ばし、私たちすべてを祝福してください。また、もし私たちが、意図的であろうと無意識であろうと、何か罪を犯したならば、　慈愛に満ち、人を愛する神として、私たちを赦し、この世のものと永遠の御恵みを授けてください。

司祭はこう宣言します。「まことに、あなたは私たちを憐れみ、救ってくださる、私たちの神よ。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。」

聖歌隊：アーメン。

助祭：知恵。

聖歌隊：祝福あれ。

司祭：まことに祝福された方――キリスト、私たちの神、今、常に、そして世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。神よ、聖なる正教の信仰と、正教のキリスト者たちを、世々限りなく堅く守り給え。

司祭：至聖なる神の母よ、私たちを救ってください。

聖歌隊：ケルビムたちの至高の栄光、／セラフィムたちの比類なき栄光に勝る、／処女として神の御言葉を産み出された、／真の聖母マリア――あなたを讃えます。

司祭：キリストなる神よ、私たちの希望よ、あなたに栄光あれ。

聖歌隊：栄光あれ。主よ、今、憐れみ給え。（3）祝福あれ。

司祭が閉会の祈りを唱える

（死からよみがえられた方、）　キリスト、私たちの真の神は、御自身の至聖なる母、聖なる栄光に満ちた称賛すべき使徒たち、聖なる**（その日の聖堂と日の聖人の名）**、聖なる義人である神の祖ヨアキムとアンナ、そしてすべての聖人たちの祈りによって、慈愛に満ち、人を愛する方として、私たちを憐れみ、救ってくださいます。

聖歌隊が「長寿の歌」を歌う。そして、第一時課を始める。

目次へ

神聖な典礼
聖なる父
ヨハネ・ザラトゥスタ

定められた時刻に司祭が聖堂に入り、助祭と共に聖なる門の前で三度礼拝を行い、入堂の祈りを唱える。そして聖所に入ると、祭服を身にまとい、プロスコミディアを行う。 プロスコミディアの終了後、助祭は聖所と聖堂全体に香を焚き、司祭と共に聖座の前に立ち、心の中で祈りを捧げながら三度礼拝する。

司祭は両手を挙げて、次のように唱えます。「天の王、慰め主、真理の御霊よ、至る所に臨在し、万物を満たす御方よ、恵みの宝庫であり、命の与え主よ、来たりて我らの中に宿り、あらゆる汚れから我らを清め、慈愛に満ちた御方よ、我らの魂を救いたまえ。」

天には神に栄光、地には平和、人々に御好意あれ。 **(2)**

主よ、あなたは私の口を開かせてくださいます――そうすれば、私の口はあなたの栄光を讃えます！

そして、司祭は聖なる福音書を、助祭は聖なる祭壇に口づけをする。その後、助祭は司祭に向かって頭を下げ、右手の三本の指で聖書台を握りながら、次のように言う。

主が御業を行われる時です。主よ、祝福してください。

司祭は彼に祝福を与えながら、次のように唱える。「私たちの神は、今、そして常に、また永遠に、そして世々限りなく、祝福されますように。アーメン。」

助祭：「聖なる司教様、私のために祈ってください。」

司祭：「主があなたの歩みを導かれますように。」

そして再び助祭：「聖なる主よ、私を覚えてください。」

司祭：「主なる神が、御国において、あなたを覚えてくださいますように。今、そして常に、世々限りなく。」

助祭：アーメン。

そして、一礼して北の門から退出する。王の門は入り口まで開かれないからである。そして、王の門の前にある定位置に立ち、畏敬の念をもって三度礼拝し、心の中でこう唱える。「主よ、あなたは私の口を開いてくださいます。そうすれば、私の口はあなたの栄光を讃えるでしょう。」

の宣教の典礼 第X

助祭：祝福を、司教様！

司祭：父と子と聖霊の御国は、今、そして常に、世々限りなく、祝福されますように。

聖歌隊：アーメン。

大エケテニア

助祭：世の平和のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

天からの平和と、私たちの魂の救いについて、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる教会と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教（名前）、ならびに我らの主である（高）至聖なる大主教（または：大司教、あるいは：司教——名前）、尊い司祭団、キリストにある助祭団、そしてすべての聖職者および神の民のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神に守られるわが国、その権力者たち、そして軍勢のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この都**（あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院）**、あらゆる都と国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

好天、大地の実りの豊かさ、そして平和な時代のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

海に浮かぶ者、旅する者、病む者、苦しむ者、捕らわれの身にある者、そして彼らの救いについて、主にお祈りしましょう。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第一アンティフォナの祈り

司祭：主なる神よ、その御力は比類なく、その栄光は測り知れず、その慈しみは計り知れず、その人間愛は言葉に尽くせぬ方よ！　主よ、御自身の慈愛をもって、私たちとこの聖なる神殿に御目を向け、私たちと、私たちと共に祈る者たちに、尽きることのない御慈悲と御寛大さを示してください。

会衆：まことに、すべての栄光と誉れと礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものであります。今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

第一の図像的アンティフォン

1. わが魂よ、主を賛美せよ。／主よ、あなたは祝福された方です！／わが魂よ、主を賛美せよ、／わが心のすべてよ、その聖なる御名を。

2. わが魂よ、主を賛美せよ、／主のすべての恵みを忘れるな。

1. 主はあなたのすべての罪を赦し、／あなたのすべての病を癒やしてくださる。

2. 主はあなたの命を滅びから救い出し、／恵みと慈しみをもってあなたを冠してくださる。

1. 主はあなたの願いを恵みをもって満たしてくださる――／あなたの若さは、鷲のように新たにされる。

2. 主は恵みを施し、／すべての抑圧された者たちに裁きを行われる。

1. 主はモーセに御自身の道を示し、／イスラエルの子らに御自身の御心を明らかにされた。

2. 主は寛大で慈愛に満ち、／忍耐強く、豊かな憐れみをお持ちである。

1. 主はいつまでも怒り続けたりはせず、／永遠に憤り続けたりもしない。

2. 主は、私たちの不義に応じて私たちに報いられたのではなく、／私たちの罪に応じて私たちに報いたわけでもない。

1. 天が地から高いように、 / 主は御自身を畏れる者たちへの御慈悲を確かなものとなさった。

2. 東が西から離れているほどに、 / 主は私たちの不義を私たちから遠ざけてくださった。

1. 父が子たちを憐れむように、 / 主は御自分を畏れる者たちを憐れんでくださった。

2. 主は私たちのありようを知っておられ、 / 私たちが塵であることを覚えておられる。

1. 人は草のようで、その日々は、 / 野の花のようであり、やがて散りゆく。

2. 彼の息は絶え、 / もはや彼はおらず、 / もはや自分の居場所を知ることはない。

1. しかし、主の恵みは、世々限りなく、 / 主を畏れる者たちの上にある。

2. また、主の真実も、その子孫の子孫に及ぶ。彼らは主の契約を守り、主の戒めを心に留め、それを守る者たちである。

1. 主は天に御座を設け、 / その御国は万物を治める。

2. 主を賛美せよ、主のすべての御使いたちよ、 / 力強く、主の御言葉を、 / その御声を聞くやいなや、実行する者たちよ。

1. 主を賛美せよ、主のすべての軍勢よ、／主の御心を行う主のしもべたちよ。

2. 主を賛美せよ、主のすべての被造物よ、／主の支配が及ぶあらゆる場所で。

1. 父と子と聖霊に栄光あれ。

2. 今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

1. わが魂よ、主を賛美せよ、／わが心のすべてよ、その聖なる御名を。／主よ、あなたは祝福された方です！

詩編 102:1-8

聖ヨハネ・クラマトリオスの典礼

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、あなたの恵みによって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアとすべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第二アンティフォナの祈り

司祭：主よ、私たちの神よ、あなたの民を救い、あなたの御業を祝福し、あなたの教会の完全さを守り、あなたの御家の栄光を愛する者たちを聖別してください！あなたの神聖な力によって、彼らを　に栄光をお与えください。そして、あなたに希望を置く私たちを見捨てないでください。

叫び：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属するものであり、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

第二の図像的アンティフォン

1. わが魂よ、主を賛美せよ。／わが生涯の限り、主を賛美し、／存命する限り、わが神に歌を捧げよう。

2. 君主や人の子らに、救いなどないのだから、彼らに望みを置いてはならない。

1. その息が去れば、／彼は自分の土に帰る。／その日、彼のすべての思いは滅びる。

2. ヤコブの神を助けとし、／その望みを主なる神に置く者は、幸いである。

1. 天と地、／海と、その中に満ちるすべてのものを造られた方。

2. 永遠に真理を守り、／虐げられた者に裁きを行い、／飢えた者に糧を与える方。

1. 主は囚人を解き放たれ、／主は盲人に知恵を与えられる。

2. 主は倒れた者を起こし、／主は義人を愛される。

1. 主は旅人を守り、／孤児と未亡人を迎え入れ、／罪人の道を無に帰される。

2. 主は永遠に君臨される。／シオンよ、あなたの神は、代々、代々にわたって。 詩編145

父と子と聖霊に栄光あれ、／今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

主イエス・キリストへの賛歌

聖歌隊：独り子であり、神の御言葉よ！ / 不死の御方であり、我らの救いのために / 聖なる神の母、永遠の処女マリアより受肉され、 / 変わることなく人となり、十字架につけられた、キリストなる神よ、 / 死をもって死を 打ち破り、 / 聖三位一体の一位であり、 / 父と聖霊と共に賛美される方よ、我らを救いたまえ！

小エケテニア

助祭：再び、この世において主へ祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第三のアンティフォナの祈り

司祭：私たちにこの一致した共同の祈りを授けてくださった主よ、御名によって求める者たちのために、二人あるいは三人が共に願うことを叶えると約束された主よ、今この時も、御自分のしもべたちの願いを有益な形で叶えてください。この世において御真理の知識を授け、来世において永遠の命を授けてください。

賛歌：まことに、あなたは慈愛に満ち、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

ここで、小入口の王の門が開かれます。

第三の図像的アンティフォン

1. 主よ、御国において、私たちを覚えてください、 / 御国に来られる時。

12節：1. 霊的に貧しい者は幸いである、 / 天の御国は彼らのものだから。

2. 泣く者は幸いである、 / 彼らは慰められるからである。

10節：1. 柔和な者は幸いである、 / 彼らは地を受け継ぐからである。

2. 義に飢え渇く者は幸いである。 / 彼らは満たされるからである。

第8節：1. 憐れみ深い者は幸いである。 / 彼らは憐れみを受けるからである。

2. 心の清い人は幸いである。 / 彼らは神を見るからである。

マタイによる福音書 6:1. 平和をつくる者は幸いである。 / 彼らは神の子と呼ばれるからである。

2. 義のために迫害される人々は幸いである。 / 天の御国は彼らのものだからである。

マタイによる福音書 4:1. あなたがたが、わたしのために侮辱され、迫害され、あらゆる不当な中傷を受けるとき、幸いである。

2. 喜び、喜びなさい。／天において、あなたがたの報いは大きいからである。 マタイによる福音書 5:3–12A

1. 父と子と聖霊に栄光あれ。

2. 今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

福音朗読を伴う小入堂

第三のアンティフォン（あるいは、日曜日の場合は「幸いな者たち」）を歌う聖歌隊が「父と子と聖霊に栄光あれ」という言葉に差し掛かると、司祭と助祭は聖壇の前で三度お辞儀をする。 司祭は聖福音書を取り、それを助祭に渡し、北の門から出て、燭台を持った聖職者たちに先導されながら、小入堂を行う。そして、定位置に立つと、二人は共に頭を垂れる。

助祭：主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

入堂の祈り

司祭：主よ、私たちの神よ、御自身の栄光に仕えるために、天に天使と大天使の軍勢を配置された方よ！ 我らの入場とともに、我らと共に奉仕し、御恵みを賛美する聖なる天使たちの入場が成し遂げられますように。まことに、すべての栄

光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものであり、今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

助祭：主よ、この聖なる入場を祝福してください！

司祭は祝福しながら、次のように唱えます。「あなたの聖なる方々の入場は、常に、今、そして永遠に、また世々限りなく祝福されますように。」

その後、助祭は司祭に聖福音書を差し出し、口づけを捧げさせる。

最後のトロパリオが終わると、助祭は王の門で司祭の前に立ち、聖福音書を高く掲げ、それを民衆に見せながら、大声で次のように宣言する：

「知恵よ！ 畏敬の念をもって立ちましょう！」

そして、一礼をして聖なる祭壇に入り、その後に司祭が続く。助祭は聖なる福音書を聖なる祭壇に置き、聖歌隊は次のように歌う：

入堂の歌

日曜日の聖歌：さあ、キリストにひれ伏し、礼拝しましょう。／神の子よ、*／死からよみがえられた方よ、あなたを賛美する私たちを救ってください。／ハレルヤ。

*** 平日：**聖徒たちの中で驚くべき方よ、あなたを賛美する私たちを：／ハレルヤ。

その後、聖歌隊は規定に従ってトロパリとコンダキを歌い、司祭は次の祈りを唱える：

「三聖」の詠唱に先立つ祈り

司祭：聖なる神よ、聖徒たちの中に安息され、セラフィムたちによって「三聖」の賛歌で讃えられ、ケルビムたちによって栄光を称えられ、すべての天の軍勢から礼拝を受けられる方よ！　あなたは、無から有へと万物を導き出し、御自身の像と似姿に従って人を創造し、御自身のすべての賜物をもって人を飾り立て、求める者に知恵と分別を与え、罪を犯す者を軽んじることなく、むしろ悔い改めを救いとして定められた方です。　あなたは、謙虚で不適格なあなたの僕である私たちを、この時、あなたの聖なる祭壇の御栄光の前に立ち、あなたにふさわしい礼拝と賛美を捧げるにふさわしい

者とされました。主よ、どうかあなたご自身が、私たち罪深い者の口から　「三聖歌」をお受け取りください。そして、御慈愛をもって私たちを顧み、自発的・非自発的を問わずあらゆる罪を赦し、私たちの魂と体を聖別し、聖母マリアと、古来より御心にかなったすべての聖人たちの執り成しにより、私たちに生涯を通じて畏敬の念をもって御あなたに仕えることをお許しください。

聖歌隊が最後のコンダクを歌い始めると、助祭は司祭に向かって次のように言います。

「司祭様、三聖歌の歌唱の時間を祝福してください。」

司祭は、彼に十字の印を授けながら、次のように唱えます：

「まことに、あなたは聖なる方、私たちの神です。私たちは、父と子と聖霊に、今この時も、そして永遠に、栄光を捧げます。」

最後のコンダクが終わると、助祭は王の門から出て、まずオラールでキリストのイコンを指し示しながら、次のように宣言する：主よ、敬虔な者たちを救いたまえ。

聖歌隊：主よ、敬虔な者たちを救いたまえ。

助祭：そして、私たちのお祈りを聞き入れてください。

聖歌隊：そして、私たちに耳を傾けてください。

また、助祭は聖堂に立つ人々をオラリウムで巡りながら、大声でこう宣言する。「世々限りなく。」

聖歌隊：アーメン。

三聖歌

聖歌隊：聖なる神よ、 / 聖なる力ある方よ、 / 聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。 **(3)**

父と子と聖霊に栄光あれ。今、常に、そして世々限りなく。アーメン。

聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。

聖なる神よ、 / 聖なる力ある方よ、 / 聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。

賛美の間に、司祭と助祭は自ら「三聖賛」を唱え、聖壇の前で三度お辞儀をする。

助祭：お命じください、司祭様。

司祭：主の御名によって来られる方は祝福されます。

助祭：主よ、天上の御座を祝福してください。

司祭は、高き所を祝福しつつこう唱える。「御国の栄光の御座に、ケルビムの上に座しておられる御方よ、今、この時、そして永遠に、世々限りなく、祝福あれ。アーメン。」

「三聖」の儀式が終わると、助祭は王の門に近づき、こう宣言する。「耳を傾けましょう！」

司祭：「すべての人に平安あれ！」

そして、朗読者は答える。「あなたの霊にも。」

助祭：「知恵よ！」

そして朗読者：「プロキメン、（ダビデの詩篇）、**[○○]**の調」。

プロキメンとアリルヤ
主日用 。
第1調

プロキメン：主よ、私たちがあなたに望みを置くように、あなたの憐れみが私たちの上にありますように。**節：**義人よ、主を喜び祝え。賛美は義人にふさわしい。 詩編32:22, 1

アリルヤ：神は私のために復讐を成し遂げ、諸国民を私に服従させてくださる。**節：**神は王を威厳をもって救い、御自身の油注がれた者ダビデとその子孫に、永遠に慈しみを施される。 詩編 17:48, 51

第2声

プロキメン：主は私の砦、私の歌、/ そして、主は私の救いとなられた。**節：**主は私を戒め、懲らしめられたが、死には渡されなかった。 詩編117:14, 18

ハレルヤ：主よ、悲しみの日にあなたを聞き入れ、ヤコブの神の御名があなたを守られますように。**節：**主よ、王を救い、私たちがあなたを呼び求める日に、私たちの声を聞いてください。 詩編19:2, 10

第3声

プロキメン：わが神に歌え、歌え、／わが王に歌え、歌え。**節：**すべての民よ、手を打ち、喜びの声を上げて神を賛美せよ。 詩編 46:7, 2

ハレルヤ：主よ、私はあなたに信頼します。決して恥をかかされることのないように。**節：**私のために、守りとなる神、避難所となって、私を救ってください。 詩編30:2A, 3B

第4声部

プロキメン：主よ、あなたの御業はなんと荘厳なことか、/ あなたはすべてを英知をもって造られた。**節：**わが魂よ、主を賛美せよ！わが神、主よ、あなたはまことに尊ばれる。 詩編103:24A, 1A

アリルヤ：強められ、栄え、真理と柔和と正義のために統治なさいますように。**節：**あなたは正義を愛し、不義を憎まれました。 詩編44:5A, 8A

第5声

プロキメン：主よ、あなたは私たちを守り、この世から、そして永遠に、私たちを保ってくださいます。**節：**主よ、私を救ってください。義人は一人もいなくなったからです。 詩編11:8, 2

ハレルヤ：主よ、あなたの慈しみを、私は永遠に歌い、代から代へと、私の口をもってあなたの真理を告げ知らせます。**節：**あなたは

言われた、「慈しみは永遠に堅く立つ」と――天において、あなたの真理は確かなものとなる。 詩編88:2, 3

第6声

プロキメン：主よ、あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福してください。**節：**主よ、私はあなたに叫び求めます。私の神よ、私を見捨てて黙り込まないでください。 詩編 27:9A, 1A

ハレルヤ：至高者の助けに依り頼む者は、天の神の御庇いの下に宿る。**節：**主に向かってこう言う。「あなたは私の守り、私の避難所、私の神、私はあなたに望みを置く」。

詩編90:1, 2

第7声

プロキメン：主は御自分の民に力を与え、 / 主は御自分の民を平安をもって祝福される。**節：**神の子らよ、主に捧げよ、主に若い雄羊を捧げよ。 詩編28:11, 1A

ハレルヤ：主を賛美し、至高者よ、御名を歌うことは幸いである。**節：**早朝に御慈しみを、毎夜、御真実を告げ知らせる。

詩編91:2, 3

第8声

プロキメン：祈り、主、私たちの神に誓いを捧げなさい。**節：**神はユダヤで知られ、その御名はイスラエルにおいて偉大である。 詩編75:12A, 2

アリルヤ：さあ、主を喜び祝おう。私たちの救い主である神に声を上げよう。**節：**賛美をもって御前に急ぎ、詩篇をもって主を賛美しよう。 詩編9 4:1, 2

聖ヨハネ・クラマトリオスの典礼

プロキムノスとアリルヤ

第 週の 日。

月曜日

プロキメン、第4声：あなたは御自身の天使たちを霊として、／御自身のしもべたちを炎として造られる。**節：**わが魂よ、主を賛美せよ！わが神、主よ、あなたはまことに尊ばれる。 詩編103:4, 1A

アリルヤ、第5調：主のすべての御使いたちよ、主を賛美せよ。主のすべての軍勢よ、主を賛美せよ。**節：**主が語られたとき、彼らは現れ、主が命じられたとき、彼らは造られた。 詩編148:2, 5B

火曜日

プロキメン、第7調：義人は主を喜び、 / 主に望みを置く。**節：**神よ、私があなたに祈るとき、私の声を聞いてください。詩編63:11A, 2A

ハレルヤ、第4調：義人はヤシの木のように花開き、レバノンの杉のように繁栄する。**節：**主の家に植えられ、私たちの神の庭に置かれた者は、花を咲かせる。

詩編91:13, 14

水曜日

プロキメン、第3調、聖母の歌：わが魂は主を賛美し／わが霊はわが救い主なる神を喜び祝う。**節：**主は御自分のしもべのへりくだりを顧みてくださった。今より後、すべての世代がわたしを幸いな者と呼ぶであろう。 ルカによる福音書 1:46–48

ハレルヤ、第8声調：娘よ、聞き、見よ、そして耳を傾けよ。**節：**民の中の富める者たちは、あなたの御前に懇願するであろう。 詩編44:11A, 13B

木曜日

プロキメン、第8調：彼らの声は全地に行き渡り、 / 彼らの言葉は宇宙の果てにまで届く。**節：**天は神の栄光を語り、その御手の業を大空が告げ知らせる。 詩編 18:5, 2

ハレルヤ、第1調：主よ、天はあなたの奇蹟と、聖徒の集いにおけるあなたの真実を告げ知らせる。**節：**聖徒の群れの中で、神を賛美する。 詩編88:6, 8A

金曜日

プロキメン、第7調：主、私たちの神を賛美し、その御足の台にひれ伏せ、 / それは聖なるものだから。**節：**主は王となられた。諸国民は怒れ！ 詩編98:5, 1A

ハレルヤ、第1調：あなたが初めからご自身のものとしておられた聖徒の群れを思い出してください。**節：**神、すなわち世の初めから私たちの王である方は、地の真ん中で救いを成し遂げられた。 詩編73:2A, 12

土曜日

プロキメン、第8調：主を喜び祝え、 / 義人よ、喜び躍れ。**節：**不義が赦され、罪が覆われた者たちは幸いである。 詩編31:11A, 1

ハレルヤ、第4調：義人たちは叫び求めた——主は彼らの声を聞き、すべての苦しみから彼らを救い出された。**節：**義人には多くの苦しみがある——主はそれらすべてから彼らを救い出される。 詩編33:18, 20

そして、安息のために

プロキメン、第6調：彼らの魂は / 恵みのうちに安らぐ。**節：**主よ、わが神よ、わたしはあなたに、わが魂を向けます。 参照：詩編24:13A、1–2A

ハレルヤ、第4声調：主よ、あなたが選び、御許に招かれた者は幸いである。**節：**そして、彼らの記憶は代々受け継がれる。参照：詩編、64:5A、101:13B

助祭：知恵よ！

そして朗読者が使徒書の題名を読み上げる：『使徒言行録』の朗読；**あるいは：**『ヤコブの手紙』の朗読；**あるいは：**『ペトロの手紙』の朗読；**あるいは：**聖使徒パウロの『ローマ人への手紙』、**あるいは**『コリント人への手紙』、**あるいは**『ガラテヤ人への手紙』の朗読。

助祭：耳を傾けましょう！

使徒書の朗読中、助祭は香炉と乳香を手に取り、司祭のもとへ進み出て、祝福を受けた後、聖座の周囲、祭壇全体、そして司祭に香を焚く。

使徒書の朗読

司祭：あなたに平安あれ！

朗読者：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ！

朗読者：ハレルヤ、[第○声。

そして、アリルヤの詩句に合わせて、アリルヤを3回ずつ3回歌われる。

福音朗読前の祈り

司祭：人愛に満ちた主よ、私たちの心に、御あなたを知る不朽の光を灯し、御あなたの福音の説教を理解できるよう、私たちの心の目を開いてください！　また、御自身の祝福された戒めに対する畏敬の念を私たちに授けてください。そうして、私たちがすべての肉欲を克服し、御心に適うことすべてを思い、それを実行しながら、霊的な生活を送ることができますように。まことに、あなたは私たちの魂と肉体の光であられます、キリストなる神よ。私たちは、あなたと、あなたの初めなき御父と、全き聖なる、善き、命を与える御霊とを称え、今、そして常に、世々限りなく栄光を捧げます。アーメン。

助祭：主よ、聖なる使徒であり福音伝道者である［名前］を祝福してください。

司祭は、彼に十字を切って祝福しながら、次のように唱える。「神よ、聖なる、栄光に満ちた、（万人に称えられる）使徒であり福音伝道者である［名前］の執り成しにより、福音を宣べ伝えるあなたに、御自身の愛する御子、我らの主イエス・キリストの福音を全うするために、力強い御言葉をお与えください。」

そして、聖なる福音書を彼に手渡す。

助祭：アーメン。

司祭：至高の知恵よ。敬虔な心で立ちましょう。聖なる福音に耳を傾けましょう。すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：[名前]による聖なる福音書の朗読です。

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

司祭：耳を傾けましょう！

福音書の朗読

司祭：福音を宣べ伝えるあなたに、平安あれ。

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

特別の祈願

助祭：皆で心を尽くし、思いを尽くして唱えましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全能の主よ、我らの父なる神よ、あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れみ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御自身の偉大なる憐れみによって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、偉大なる主であり、私たちの父である至聖なる総主教（**名前**）と、私たちの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、そしてキリストにある私たちの兄弟姉妹全員のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、神に守られたわが国、その権力者たち、そして軍勢のために祈り、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、平穏で安らかな生活を送ることができますように。

合唱：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、私たちの兄弟である司祭たち、修道司祭たち、[助祭たちと修道士たち]、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

合唱：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）を築き上げ、常に記念される祝福された方々のため、また、ここや各地に眠る、すでにこの世を去ったすべての正教会の父たちや兄弟たちのために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、この聖なる教会（**あるいは：この聖なる修道院**）の兄弟たち{および信徒たち}である神の僕たちのために、慈悲、命、平安、健康、救い、御加護、赦し、そして罪の赦しを祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

また、この聖なる、至聖なる聖堂において献金を捧げ、善行を行う者たち、そこで労苦し、歌い、参列する者たちのために祈ります。彼らは、あなたからの偉大で豊かな憐れみを待ち望んでいます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

聖ヨハネ・クラマトリオスの典礼

熱心な祈りの祈り

司祭：主なる私たちの神よ、御自分のしもべたちからのこの熱心な祈りをお受け取りください。そして、御自身の豊かな憐れみによって私たちを憐れみ、御自身の寛大さを、御自身から尽きることのない憐れみを待ち望む私たちと、御自身の民すべてに注いでください。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

[故人のための献げ物がある場合、助祭または司祭は次のエクテニアを唱えます：

故人のためのエクテニア

助祭：神よ、あなたの偉大なる憐れみによって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。どうか私たちの祈りを聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

また、亡き神のしもべたち（名前）の魂の安息と、彼らの自発的・非自発的を問わずあらゆる罪の赦しを祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3回）。

主なる神が、彼らの魂を、義人たちが安らぐ場所に導かれますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3回）。

神の憐れみ、天の御国、そして不死の王であり我らの神であるキリストによる彼らの罪の赦しを、お願いいたします。

聖歌隊：主よ、お与えください。

助祭：主にお祈りしましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

聖ヨハネ・クラマトリオスの典礼

故人のための祈り

司祭：霊とあらゆる肉体の神よ、死を打ち破り、悪魔を滅ぼし、御自分の世界に命をお与えになった方よ！主よ、御自身の亡きしもべたち（名前）の魂を、光に満ちた場所、至福の場所、喜びに満ちた場所、すなわち苦しみ、悲しみ、嘆きが去ったその場所で、安らかに休ませてください。 彼らが言葉、行い、あるいは思いによって犯したあらゆる罪を、慈愛に満ちた、人を愛する神として、お赦しください。罪を犯さずに生きる人は一人もいないからです。ただあなただけが罪なく、あなたの正義は永遠の正義であり、あなたの御言葉は真理だからです。

司祭は次のように宣言します。「まことに、あなたは、あなたの亡きしもべたち（名前）の復活であり、命であり、安息であられます、私たちの神キリストよ。私たちは、あなたと、あなたの初めなき父と、あなたの至聖にして慈愛に満ち、命を与える御霊とを、今、そして常に、世々限りなく賛美いたします。」

聖歌隊：アーメン。|

洗礼を受ける者たちのためのエクテニア

助祭：洗礼を受ける者たちよ、主にお祈りください！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

信徒の皆さん、洗礼志願者のために祈り、主が彼らを憐れんでくださいますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

真理の御言葉をもって彼らを宣教しました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らに真理の福音を開いてくださいました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らを、御自身の聖なる、共にある使徒的教会と結びつけられました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、彼らを救い、憐れみ、守り、保たれ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

洗礼を受ける者たちよ、主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ、あなたに。

求道者のための祈り

司祭：主なる神よ、高き所におられ、遠くまで見渡される方よ。あなたは、人類の救いのために、御独り子であり、神であり、私たちの主イエス・キリストをお遣わしになりました！　御前に頭を垂れた、洗礼を受ける御僕らに御目を留め、時が来れば、彼らに再生の洗礼、罪の赦し、そして朽ちることのない衣を授けてください。彼らを、あなたの聖なる、共なる、使徒的な教会と結び合わせ、あなたの選ばれた群れに加えさせてください。

叫び：彼らもまた、私たちと共に、父と子と聖霊なる、至聖にして威厳ある御名を、今、常に、そして世々限りなく賛美することができますように。

聖歌隊：アーメン。

そして、司祭はアンティミンズを開く。

信徒の典礼

助祭：すべての求道者よ、出て行きなさい！求道者よ、出て行きなさい！すべての求道者よ、出て行きなさい！求道者の誰一人として残らず、ただ信徒のみが、主の御前で繰り返し祈りを捧げましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：知恵よ！

信徒の第一の祈り

司祭：主なる万軍の神よ、今、私たちがあなたの聖なる祭壇の前に立ち、あなたの憐れみにすがり、私たちの罪と、無知にある民の罪を赦してくださるよう願うことを許してくださったことを、感謝いたします！ 神よ、私たちの祈りをお受けください。私たちが、あなたの民全体のために、あなたに祈りと嘆願、そして血を流さないいけにえを捧げるにふさわしい者となれるようお導きください。 また、御前に仕えるために御自身が立てられた私たちに、御聖霊の力によって、非難の余地なく、つまずくことなく、清らかな良心の証しをもって、いつでもどこでも御名を呼び求めることができるよう、御力を与えてください。そうして、私たちの声に耳を傾け、御自身の豊かな慈しみに基づいて、私たちに憐れみをお示しください。

司祭は宣言する：まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいのです。

聖歌隊：アーメン。

助祭：この世において、主に向かって繰り返し祈りを捧げましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

（司祭が単独で礼拝を執り行う場合、以下の［4つの］祈願は唱えません：

天からの平和と、私たちの魂の救いについて、主にお祈りしましょう。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

あらゆる悲しみ、怒り、災い、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。）

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：至高の知恵よ！

そして、助祭は北の扉から聖所に入ります。

信徒の第二の祈り

司祭：私たちは再び、そして幾度もあなたにひれ伏し、慈愛に満ち、人を愛する主よ、この私たちの祈りに目を留め、私たちの魂と体を、肉と霊のあらゆる汚れから清め、罪なく、また裁きを受けることなく、あなたの聖なる祭壇の前に立つことができるよう、お願いいたします！　神よ、私たちと共に祈る者たちが、命と信仰と霊的な知恵において成長できるようお与えください。彼らが常に畏れと愛をもってあなたに仕え、罪なく、また裁きを受けることなく、あなたの聖なる秘跡に与り、あなたの天の御国にふさわしい者とされますように。

司祭はこう宣言します。「御力によって常に守られ、私たちが御父と御子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げることができますように。」

聖歌隊：アーメン。

そして、王の門が開かれる。

ケルビムの賛歌

聖歌隊：私たちは、ケルビムを神秘的に表し、命を与える三位一体に「三聖歌」を歌い上げ、今、この世のあらゆる心配事を脇に置きます。

ケルビムの歌が歌われている間、助祭は香炉を取り、その中に乳香を納めて司祭のもとへ近づき、司祭から祝福を受けると、聖なる祭壇の周囲、祭壇全体、そしてイコノスタスを燻し、また司祭、聖歌隊席、そして会衆をも燻す。また、第50篇の詩篇と、心を打つトロパリを、望むだけ朗読する。一方、司祭は密かに次の祈りを唱える：

ケルビムの歌の祈り

司祭：肉欲や快楽に縛られている者は、誰一人として、栄光の王である御前に近づくことも、御身に仕えることも、ふさわしくありません。なぜなら、御身に仕えることは、天の御力たちにとっても、偉大かつ畏れ多いことだからです！　しかし、あなたは、言葉に尽くせぬ限りない人間愛により、揺るぎなく、変わることなく人となり、私たちの大祭司として現れ、万物の主として、この共同の奉仕と血を流さない犠牲の聖務を私たちに委ねてくださいました。　まことに、主なる私たちの神よ、天と地の一切を支配されるのはあなたただお一人です。ケルビムの御座に担がれ、セラフィムの主、イスラエルの王、唯一の聖なる方、聖なる者たちのうちに安らぐ方。しかし、唯一の慈愛に満ち、憐れみ深い御方よ、お願い申し上げます。罪深く、何の役にも立たない御僕である私を見守り、私の魂と心を邪悪な良心から清め、御聖霊の力によって、　聖職の恵みに包まれた私が、この御聖なる御座の前に立ち、御身の聖なる、まことに清き御体と尊き御血の聖なる儀式を執り行えるようにしてください。　まことに、私は頭を垂れて御前に進み出て、あなたに懇願いたします。どうか御顔を私から背けず、あなたの奉仕者たちの数から私を拒絶なさらないでください。むしろ、罪深く、ふさわしくないあなたの僕である私が、これらの供え物をあなたに捧げることができますよう、お許しください。 まことに、あなたは捧げる者であり、捧げられる者であり、受け入れる者であり、配られる者であられます、私たちの神キリストよ。私たちは、あなたに、あなたの初めなき御父とともに、また、至聖にして善き、命を与えるあなたの御霊とともに、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。アーメン。

祈りと香を焚く儀式が終わると、司祭と助祭は聖壇の前に立ち、ケルビムの歌を三度唱え、そのたびに最後に一礼する。

その後、彼らは祭壇に近づき、司祭は聖なるディスコスと聖杯に香を焚きます。

助祭は司祭に向かってこう言います。「お上げください、司祭様。」

すると司祭は、空気を掬い取り、それを助祭の左肩に置きながら、次のように言います：

「聖なるものに向かって手を挙げ、主を祝福しなさい。」

また、聖なるディスコスを取り、それを助祭の頭の上に置く。司祭自身は聖なるポティルを手に取り、二人は燭台を持った聖職者たちに先導されて北の門から外へ出る。

大入堂

助祭が次のように宣言する：「我らの偉大なる主であり父である（**名前**）、モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、ならびに我らの主（高）至聖なる（**名前**）様、（**ある教区の**）大主教（**または：**大司教、**または：**司教）を、主なる神が御国において、今、常に、そして世々限りなく、永遠に御記憶くださいますように。

また、司祭は次のように祈ります：尊厳なる大主教、大司教、司教の皆様、ならびにすべての司祭および修道者、この聖なる教会（**または：この聖なる修道院**）の兄弟たちと信徒たち、そして皆様、**[ギリシャ語：　私たち]**正教会のキリスト者たちを、主なる神が御国において、今、常に、そして世々限りなく、永遠に覚えてくださいますように。

聖歌隊：アーメン。

そして、ケルビムの歌を締めくくる：「全き王を迎え入れるために、天使の軍勢に見えざる形で付き添われておられる方を。ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。」

一方、助祭は王の門に入り、右側に立ち、司祭が入ってくると、彼に向かってこう言う：

主なる神が、御国において、今、常に、そして世々限りなく、あなたの司祭職を覚えてくださいますように！

司祭は彼に答えて言う。「主なる神が、御国において、今、常に、そして世々限りなく、あなたの助祭職を覚えてくださいますように。」

そして司祭は、聖なる聖杯を聖壇に置きながら、次のように言う：

高貴なるヨセフよ、あなたは十字架から御自身の至聖なる御体を降ろし、清らかな布で包み、香油を塗って、新しい墓に安置されました。

棺の中では肉体として、ハデスでは魂として神の如く、また楽園では強盗と共に、御座には父と聖霊と共に、すべてを満たす限りなき御方として、キリストよ、あなたは御座に就いておられました。

命の担い手であり、まことに楽園よりも美しく、あらゆる王宮よりも輝かしいものとして、あなたの墓は現れました、キリストよ。それは私たちの復活の源です。

また、聖なる器を覆いながら、次のように唱える。「高貴なるヨセフよ：

そして聖なるものに三度香を焚き、次のように唱える。「主よ、御恵みをもってシオンを祝福し、エルサレムの城壁が再建されますように。そうすれば、あなたは義のいけにえ、捧げ物、全焼のいけにえを喜んで受け入れ、あなたの祭壇に雄牛が捧げられるでしょう。」

そして香炉を返すと、助祭にこう言う。「兄弟であり、共に奉仕する者よ、私を覚えていてください！」

助祭：「主なる神が、御国においてあなたの聖職を覚えてくださいますように。聖なる司祭よ、私のために祈ってください。」

司祭：聖霊があなたの上に臨み、至高者の力があなたを覆いますように。

助祭：その御霊が、私たちの生涯のすべての日にわたって、私たちを助けてくださいますように。聖なる主よ、私を覚えてください。

司祭：主なる神が、御国において、今、そして常に、また世々限りなく、あなたを覚えてくださいますように。

助祭：アーメン。

王の門と幕が閉じられる。

請願のエクテニア

助祭：主への祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

捧げられた聖なる供え物について、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主に祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この日が、完全で、聖く、平和で、罪のない日となるよう、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と肉体の守護者を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、平穏であり、またキリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

至聖なる、至清き、至祝福された、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアを、すべての　聖人たちと共に記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

奉献の祈り、
聖なる祭壇に神の賜物を供えた後

司祭：主よ、全能の神よ、心を尽くしてあなたを呼び求める者たちからの賛美の捧げ物を受け入れてくださる唯一の聖なる方よ、私たち罪人の祈りも受け入れて、あなたの聖なる祭壇へと捧げてください。そして、私たちの罪と、無知な民の罪のために、霊的な供え物と捧げ物をあなたに捧げることができるように私たちを導き、　また、御前にあって恵みを得ることができますように。そうして、私たちの捧げ物が御心に適うものとなり、御恵みの聖霊が、私たちと、ここに捧げられた供え物、そして御民すべての上に降り注がれますように。

司祭は次のように宣言する。「御子、すなわち御独り子による憐れみにより、また、御子と共に祝福される、至聖にして善き、命を与える御霊により、今、そして常に、世々限りなく。」

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：互いに愛し合い、心を一つにして

聖歌隊：父と子と聖霊 / ――本質において一つであり、分かたれることのない三位一体 / を告白しましょう。

そして司祭は三度、次のように言いながら礼拝する。「主よ、わが砦、わが主、わが要塞、わが避難所、わが救い主よ、あなたを愛します。」(3)

主任司祭：「キリストは私たちのただ中にいます！」

そして、口づけをした者が答える：「今もおられ、これからもおられます。」

助祭：「扉よ、扉よ！ 知恵をもって耳を傾けよう！」

王の門の幕が開かれる。司祭は手を挙げて聖なる供え物の上に掲げ、会衆と同様に心の中で次のように唱える：

使徒信条

1 私は、唯一の神、父、全能者、天と地、目に見えるものも見えないものすべてを創造された方を信じます。 2 また、唯一の主イエス・キリスト、神の御子、独り子、すべての世より前に父から生まれ、光より光、まことの神よりまことの神、生まれ、造られず、父と同質であり、万物は彼によって造られたことを信じます。 3 私たち人間のために、また私たちの救いのために、天から降りて来られ、聖霊と聖母マリアによって受肉し、人となられた方。 4 ポンティウス・ピラトの治世下、私たちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られた方。5 聖書の言葉どおり、三日目に復活された方。6 天に昇り、父の右に座しておられる方。7 栄光のうちに再び来られ、生ける者と死んだ者を裁かれる方。その御国には終わりがありません。 8 また、聖霊、すなわち、命を与える主を信じます。聖霊は父から出られ、父と子と共に礼拝され、賛美され、預言者たちを通して語られました。 9 唯一、聖なる、カトリック、使徒的な教会を信じます。10 罪の赦しのための唯一の洗

礼を認めます。11 死者の復活を待ち望み、12 来たるべき世の命を待ち望みます。アーメン。

聖なる奉献

助祭：美しく、畏敬の念をもって立ち、聖なる奉献を平和のうちに捧げられるよう、耳を傾けましょう！

聖歌隊：平和の恵み、 / 賛美のいけにえ。

司祭は民を祝福しながら宣言する：私たちの主イエス・キリストの恵み、神であり父である方の愛、そして聖霊の交わりが、あなたがたすべての上にありますように！

聖歌隊：また、あなたの霊にも。

司祭：心を天へと向けよう！

聖歌隊：私たちは主に向かって心を向けました。

司祭：主を賛美しましょう！

会衆：父と子と聖霊、すなわち、同一の本質を持ち、分かたれることのない三位一体に、ふさわしく、また正しく礼拝を捧げましょう。

司祭：あなたを賛美し、あなたを祝福し、あなたを称えることは、まことにふさわしく、正しいことです。 あなたに感謝し、あなたの支配が及ぶあらゆる場所であなたを礼拝することは、まことにふさわしく正しいことです。なぜなら、あなたは言葉では言い表せない、知ることのできない、目に見えない、理解し難い、永遠に存在し、また、あなたとあなたの独り子、そしてあなたの聖霊も同様に存在される神だからです。　あなたは、私たちを無から有へと導き、堕ちた者を再び立ち上がらせ、絶え間なくすべてを行われ、ついに私たちを天へと引き上げ、来るべき御国を授けてくださいました。これらすべてについて、また、私たちが知っていることも知らないことも、明らかであるものも知られざるものも、私たちのために成し遂げられたすべての恵みについて、あなたと、あなたの独り子と、あなたの聖霊に感謝いたします。 また、この共同の奉仕についても、あなたに感謝いたします。あなたには、数千の大天使、数万の天使、ケルビム、そして六つの翼を持

ち、多くの目を持つ、空を舞い、翼を広げたセラフィムたちが仕えていますが、それでもなお、あなたは私たちの手からこの奉仕を受け入れてくださいました。

声を高めて、ディスコス（聖体盤）の上に星の形をした十字の印を結びながら、勝利の歌を歌い、呼び求め、叫び、こう告げます：

聖歌隊：聖なる、聖なる、聖なる主サバオトよ！ / 天と地はあなたの栄光に満ちている！ / 天にオサナ！ / 主の御名によって来られる方、祝福あれ！ / 天にオサナ！

司祭：これらの祝福された御力と共に、私たちもまた、人を愛する主よ、叫び、こう申し上げます。「あなたは聖なる方、至聖なる方です。あなた、そしてあなたの独り子、そしてあなたの聖霊。」あなたは聖なる方、至聖なる方であり、あなたの栄光は偉大です。あなたは、この世をこれほどまでに愛し、御独り子をお与えになった方です。それは、御子に信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るためです。御子ご自身は、この世に来られ、私たちに対する御計画をすべて成し遂げられ、 裏切られたその夜、いや、むしろ御自身を世の命のために捧げられたその夜、聖なる、清く、汚れなき御手にパンを取り、感謝し、祝福し、聖別し、裂いて、聖なる弟子たちと使徒たちに与え、こう言われました：

声を高めて言われました。「これを受け取り、味わいなさい。これは、あなたがたのために罪の赦しのために裂かれる、わたしの体である。」

聖歌隊：アーメン。

司祭：また、晩餐の後、杯を取り、こう言われました：

声を高めて：皆、これから飲みなさい。これは、あなたがたのために、また多くの人のために、罪の赦しのために注がれる、新約のわたしの血である。

会衆：アーメン。

司祭：この救いの戒めと、私たちのために成し遂げられたすべてのことを思い起こします。すなわち、十字架、墓、三日目の復活、天への昇天、右の座に着かれたこと、そして再びの栄光に満ちた再臨です。

司祭（声を高めて）：あなたのものから、あなたに、すべてについて、そしてすべてのことを捧げます。

[ギリシャ語：あなたのものから、あなたのものへと、万物と調和し、万物のゆえに、あなたに捧げます。**]**

聖歌隊：主よ、あなたを賛美し、 / あなたを祝福し、 / あなたに感謝し、 / 私たちの神よ、あなたに祈ります。

司祭：さらに、この言葉による、血を流さない奉仕をあなたに捧げ、あなたに願い、祈り、懇願します。あなたの聖霊を、私たちと、ここに捧げられた供え物の上に注いでください。

主よ、第三の時に御使徒たちに御自身の至聖なる御霊を降臨させられた方よ、その御霊を、私たちから取り去ることなく、あなたに祈る私たちの中に新たに注いでください。

助祭の詩：神よ、私の内に清い心をお造りください。そして、私の内に正しい御霊を新たにしてください。

再び司祭：主よ、あなたの至聖なる御霊を：

助祭の詩：私を御顔から追い払わず、御聖霊を私から取り去らないでください。

そして再び司祭：主よ、あなたの至聖なる御霊を：

その後、助祭は聖なるパンを指し示しながら、静かな声でこう言います。「主よ、この聖なるパンを祝福してください。」

司祭は聖なる小羊に十字の印を結びながら、次のように言います。「そして、このパンを、あなたのキリストの尊い御体とならせてください。」

助祭：「アーメン。主よ、聖なる杯を祝福してください。」

司祭は聖杯を祝福しながら、次のように**唱えます。**「そして、この聖杯の中にあるものを、あなたのキリストの尊い御血としてください。」

助祭：アーメン。司教様、これらを共に祝福してください。

司祭は、二つの聖物を共に祝福しながら、次のように唱える。「御聖霊によって変容させたまえ。」

助祭：「アーメン、アーメン、アーメン。聖なる主よ、罪深い私を覚えてください。」

司祭：「主なる神が、御国において、今、そして常に、そして世々限りなく、あなたを覚えてくださいますように。」

助祭：アーメン。

司祭：これらが、聖体拝領する者たちの魂の清め、罪の赦し、御聖霊との交わり、天の御国の完全さ、そして御前での大胆さ――裁きや非難のためではなく――に役立つように。

また、信仰のうちに眠りについた者たち――先祖、父たち、総主教、預言者、使徒、説教者、福音宣教者、殉教者、信仰の証人、禁欲者、そして信仰のうちに息を引き取ったあらゆる義なる魂――のために、この言葉による奉仕をあなたに捧げます。

そして、香炉を手に取り、司祭は次のように宣言します。「とりわけ、至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた我らの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアのために。」

そして、聖なる祭壇の前で三度香を焚く。

聖歌隊が歌う：「まことにふさわしいことなり／あなたを賛美すること、神の母よ、／永遠に祝福され、汚れなき／我らの神の母よ。／ケルビムたちの最高の栄光／そして比類なき栄光あるセラフィムたちよりも、／処女として神の御言葉を産み、／真の神の母であるあなたを、我らは讃える。」

司祭：聖ヨハネよ、預言者、先駆者、洗礼者よ、栄光に満ち、称賛すべき聖使徒たちよ、今日その記念を捧げる聖人（その名）たちよ、そしてあなたのすべての聖人たちよ、彼らの祈りによって、神よ、私たちを顧みてください。

また、復活と永遠の命への希望をもって眠りについたすべての者たち――{あなたのしもべたち：}――を覚えてください。

また、望む者は、名指しして、亡き信者たちを記念する。

そして、私たちの神よ、御顔の光がすべてを照らすその場所で、彼らを安らかにしてください。

さらに、主よ、御自身の真理の御言葉を正しく説く正教会のすべての主教職、すべての司祭職、キリストにある助祭職、およびその他のすべての聖職を、どうか覚えてください。

さらに、私たちは、全宇宙、聖なる共議的かつ使徒的な教会、清らかで敬虔な生活を送る者たち、神に守られた私たちの国{ロシア、その国民、そして権力の座にあるすべての人々}のために、この言葉による奉仕をあなたに捧げます。　主よ、彼らに平和な統治をお与えください。そうすれば、私たちも彼らの平穏のもとで、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、穏やかで安らかな生活を送ることができますように。

そして、「ふさわしい」**の詠唱、すなわち「ザドストイニク」の終了後、司祭は**次のように**宣言します：**

主よ、まず最初に、 偉大なる主であり、我らの父である（**名前**）、モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、ならびに我らの主である（高）至聖なる（**名前**）、大主教（**または：**大司教、**あるいは：**司教（○○――**教区名**））を、御記憶ください。彼らを、御身の聖なる教会において、 無傷で、尊ばれ、健やかで、長寿を全うし、御真理の言葉を正しく説く者となるよう、御授けください。

聖歌隊は歌う：「すべての男性と、すべての女性を。」

司祭：主よ、私たちが住むこの町（**あるいは：**私たちが住むこの村、**あるいは：**私たちが住むこの{聖なる}住処）を、またあらゆる町や国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々を、どうか覚えてください。

主よ、船旅をする者、旅路にある者、病める者、苦しむ者、捕らわれの身にある者たち、そして彼らの救いを覚えてください。

主よ、御自身の聖なる教会において献げ物を捧げ、善行を行い、貧しい人々を思いやる者たちを覚えてください。そして、私たちすべてに御慈悲を注いでください。

そして、望む者の生者の名を挙げて記念し：

{主よ、御自分のしもべたち：（**生きている信徒たちの名前**）、そしてすべての正教徒を覚えてください。}

声を高めて：そして、私たちに、一つの口と一つの心をもって、至聖にして威厳ある 御名、すなわち父と子と聖霊の御名を、今、そして常に、そして世々限りなく、賛美し、讃歌することをお許しください。

聖歌隊：アーメン。

司祭は、王の門に向き直り、民を祝福しながら次のように宣言する：

偉大なる神、私たちの救い主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべての上にありますように。

聖歌隊：また、あなたの霊にも。

請願のエクテニア

助祭：すべての聖人を記念し、再び、そして繰り返し、平和のうちに主へ祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

捧げられ、聖別された聖なる供え物について、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

人を愛する私たちの神が、これらを聖なる、天をも超える、無形の御祭壇に、霊的な芳香として受け入れ、私たちに神の恵みと聖霊の賜物を授けてくださいますよう、祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この完全で、聖なる、平和で、罪のない一日を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と体を守る守護者を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、平穏であり、またキリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

信仰の一致と聖霊による交わりを願い求め、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

聖体拝領前の祈り

司祭：人愛の主よ、私たちの生涯と希望のすべてをあなたに委ねます。そして、あなたに願い、祈り、懇願します：　私たちに、清い良心をもって、あなたの天上の、畏れ多い聖なる秘跡、この神聖で霊的な食卓に与ることをお許しください。罪の赦し、過ちの赦し、聖霊との交わり、天の御国の相続

、そしてあなたの御前での大胆さ――裁きや非難のためではなく――を得るために。

司祭は次のように**宣言します**：主よ、私たちに、裁きを受けるためではなく、大胆に天の神、父なる御方を呼び求め、次のように宣言する勇気を与えてください：

会衆：天にまします我らの父よ！　御名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天におけるごとく、地にも行われますように。私たちの日ごとの糧を今日お与えください。私たちの罪を赦してください。私たちも、私たちに罪を犯した者を赦しますように。私たちを誘惑に遭わせず、悪から救い出してください。

司祭：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなくありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ、あなたに。

頭を垂れる祈り

司祭：目に見えぬ王よ、その計り知れない御力によって万物を創造し、その限りない慈しみによって、無から有へと万物を導き出された御方に、感謝を捧げます！　主よ、天より、御前に頭を垂れる者たちをご覧ください。彼らは肉と血の者に対してではなく、畏れ多い神である御前に頭を垂れているのです。主よ、どうか、私たちすべてに等しく待ち受けるものが、一人ひとりの必要に応じて、益となるようお導きください。船乗りを導き、旅人に寄り添い、病人を癒やしてください。私たちの魂と体の医者よ。

司祭はこう宣言します。「御子、御独り子による恵みと憐れみと人間愛によって、また、御子と共に祝福される、至聖にし

て善き、命を与える御霊によって、今、そして常に、世々限りなく。」

聖歌隊：アーメン。

司祭は次のように祈る：主イエス・キリスト、私たちの神よ、あなたの聖なる住まいと、あなたの御国の栄光の御座から、私たちに耳を傾けてください。そして、高きところにおいて御父と共に座し、ここにおいて目に見えぬ形で私たちと共に留まっておられるあなたが、私たちを聖別するために来てください。そして、御身の力強い御手をもって、御身の至聖なる御体と尊い御血を、私たちに、また私たちを通してすべての民に授けてくださいますように。

この祈りが読まれる間、助祭は王の門の前に立ち、オラールを十字形に身に着けます。司祭は自分の場所に立ち、助祭と同様に礼拝し、心の中で三度こう唱えます。「神よ、罪深い私を清め、憐れんでください。」**(3)**

王の門は幕で閉じられる。

助祭：耳を傾けましょう！

司祭は聖なるパンを掲げながら、次のように宣言する。「聖なるものは聖なる者たちへ！」

聖歌隊：唯一の聖なる方、 / 唯一の主、 / イエス・キリスト、 / 父なる神の栄光のために。アーメン。

そして、聖歌隊は、その日または聖人のための聖体賛歌を、規定に従って歌う。

聖体拝領者
日曜日

天から主を賛美せよ、高き所において主を賛美せよ。ハレルヤ。（3）

詩編148:1

月曜日　聖なる無形の力

あなたは御自身の天使たちを霊として、御自身のしもべたちを炎として造られます。ハレルヤ。（3）

詩編 103:4

火曜日、聖ヨハネ・洗礼者

義人は永遠に記憶され、悪しき噂を恐れることはない。ハレルヤ。（3） 詩編 111:6B–7A

水曜日、至聖なる神の母に

救いの杯を受け、主の御名を呼び求めよう。ハレルヤ。（3） 詩編 115: 4

木曜日、聖使徒たち

彼らの声は全地に響き渡り、その言葉は宇宙の果てにまで届いた。ハレルヤ。（3） 詩編18:5A

金曜日、聖なる十字架に

神よ、あなたは地の真ん中で救いを成し遂げられました。ハレルヤ。（3） 参照 詩編 73:12B

土曜日、すべての聖人たちに

義人よ、主を喜び祝え。義人には賛美がふさわしい。ハレルヤ。（3） 詩編32:1

また、安息のために

主よ、あなたが選び、御許に近づけてくださった人々は幸いである。その記憶は代々続く。ハレルヤ。（3）

参照：詩編64:5A；101:13B

助祭：主よ、聖なるパンを砕いてください。

司祭は聖なる小羊を四つに分割しながら、次のように唱える。

「神の小羊は、砕かれ、分けられる。砕かれつつも決して分けられず、常に味わわれつつも決して尽きることなく、聖体拝領する者たちを聖別する。」

助祭：司祭様、聖杯を満たしてください。

司祭：聖霊の満ち溢れ。

助祭：アーメン。

そして、温められたパンを取り、こう言う。「主よ、この温められたパンを祝福してください。」

司祭は、次のように言いながら聖なる油を祝福する：

あなたの聖なるものの温もりは、常に、今、そして永遠に、世々限りなく祝福されますように。アーメン。

助祭は、聖杯に温めを注ぎ入れながらこう言う。「聖霊に満たされた信仰の温めです。アーメン。」

祭壇における聖体拝領

司祭：「助祭よ、近づきなさい。」

助祭：「見よ、私は不死の王であり、私の神であるキリストのもとへ参ります。」

司祭は聖なるパンを取り、助祭に与える。助祭は聖なるパンを受け取り、次のように言う：

「主よ、私の主、私の神、そして私たちの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御体を、私に授けてください。」

司祭は次のように言う：

（○○――名前）という助祭に、主であり、神であり、我らの救い主であるイエス・キリストの尊く、聖なる、そして至聖なる御体が、その罪の赦しと永遠のいのちのために授けられる。

そして、助祭は退き、司祭と同様に、次の祈りを唱える。「主よ、私は信じ、告白します。」**など。**

また、司祭も聖なるパンの一片を取り、次のように唱える：

見よ、私は、不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。

尊く、至聖なる、主であり、神であり、私たちの救い主イエス・キリストの御体は、私、**（名前）**司祭に、私の罪の赦しと永遠のいのちのために授けられます。

そして、頭を垂れて、次のように祈ります。「主よ、私は信じ、告白します：

そして、畏敬の念と揺るぎない信仰をもって、キリストの至聖なる御体を拝領する。その後、司祭は{次のように唱える：

「見よ、私は再び、不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。」}

そして、両手で聖杯を取り、次の言葉を唱えながらそこから三度聖体を受ける：

主であり、神であり、我らの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御血を、神の僕である司祭（名前）は、永遠の命において私の罪が赦されるために、これを受けます。アーメン。

そして、自分の口と聖杯の縁を拭った後、それに口づけをしてこう唱える。「見よ、これが私の唇に触れた。それゆえ、私の不義は取り除かれ、私の罪は清められるであろう。」

また、助祭を呼び寄せ、こう言う。「助祭よ、近づきなさい。」

そして、助祭が近づき、次のように言いながら礼拝を行う。

「見よ、私は{再び}、不死の王であり、私の神である{キリスト}のもとへ参ります。」そして：「主、神、そして私たちの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御血を、私に授けてください。」

そして司祭は次のように宣言する。「神のしもべ、助祭（名前）が、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く聖なる御血を、その罪の赦しと永遠のいのちのために、聖体として受けます。」

そして、助祭が聖体拝領を終えると、司祭はこう言う。「見よ、これがあなたの唇に触れた。それはあなたの不義を取り除き、あなたの罪を清めるであろう。」

聖体拝領を希望する者がいる場合、司祭は「NI」と「KA」と記された聖なる小羊の残りの二部分を、拝領者に十分に行き渡るよう小さな粒に砕き、聖杯に注ぎ入れる。

そして、聖杯を覆い布で覆う。[聖体拝領者がいない場合、司祭は定められた言葉（下記参照）を唱えながら、聖盤上のすべての聖体片を聖杯に浸し]、聖盤の上に星形の飾りと覆いを載せる。また、次のように祈りを唱える。「人を愛する主よ、あなたに感謝いたします：（下記参照）」。

教会内での信徒への聖体拝領

そして、王の門が開かれる。助祭は一礼した後、聖杯を取り、王の門から出て、聖杯を高く掲げ、会衆に見せながら次のように宣言する。「神への畏れと、信仰[と愛]をもって、近づきなさい！」

聖歌隊：主の御名によって来られる方は祝福されます。 / 神は主であり、御自身を私たちに現されました！

信徒の聖体拝領に先立ち、司祭は慣例に従って祈りを唱える。「主よ、私は信じ、告白します。あなたはまことにキリスト、生ける神の御子であり、罪人である私たちを救うためにこの世に来られた方であり、その中でも私は筆頭です。　また、これがあなたの最も清らかな御体であり、これがあなたの最も尊い御血であることを信じます。　どうかあなたに祈ります。私を憐れみ、私の自発的・非自発的な罪、言葉や行いによって、意識的・無意識的に犯した罪を赦してください。そして、罪の赦しと永遠の命を得るために、裁きを受けることなく、あなたの至聖なる秘跡に与ることを許してください。アーメン。

そして、次のように祈ります。「神の子よ、この日、あなたの神秘の晩餐の参加者として、私をお受け入れください。私はあなたの敵にその秘密を明かすことはなく、ユダのような口づけをあなたに捧げることもありません。むしろ、強盗のようにあなたに告白します。『主よ、あなたの御国で私を覚えてください！』」

主よ、あなたの至聖なる秘跡の聖体拝領が、私にとって裁きや非難となることなく、魂と体の癒やしとなりますように。

そして、聖体拝領を望む者たちは、胸に手を組んで、あらゆる敬虔さと畏れをもって礼拝しながら、一人ずつ順番に近づいていきます。そして、 、一人ひとりが神聖な秘跡を受け取ります。司祭は、一人ひとりに聖体を与える際、次のように唱えます：

神のしもべ（名前）は、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く聖なる御体と御血を、その罪の赦しと永遠のいのちのために受けます。アーメン。

そして、助祭は布でその人の唇を拭う。その後、聖体拝領した者は聖杯に口づけをし、一礼してその場を離れる。こうして、すべての者が聖体拝領を行う。

聖体拝領の際、慣例に従って次のように繰り返し歌います。「キリストの御体を受け入れよ、／不死の源を味わえ」。そして最後に「ハレルヤ」と唱えます。(3)

聖体拝領の後

聖体拝領の後、司祭は聖なる祭壇に入り、聖なる供え物を載せた聖杯を聖なる祭壇の上に置きます。

一方、助祭は聖ディスクスを取り、それを聖ポティロスの上に掲げ、以下の復活祭の賛美歌を唱えながら、その上の聖体片をすべて聖杯に浸します：

キリストの復活を目撃し：輝け、輝け、新しいエルサレムよ：おお、偉大にして至聖なる復活祭よ：

そして聖ディスクスを拭いながら、次の言葉を唱える。「主よ、御聖徒たちの祈りに応じて、ここに記念された者たちの罪を、御自身の尊い御血によって洗い清めてください。」

司祭は民を祝福し、次のように宣言する。「神よ、あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福してください。」

そして聖なる祭壇に向き直り、心の中で次のように唱えながら、三度香を焚く：

「神よ、天に昇り、全地において、あなたの栄光が現れますように。」(3)

聖歌隊は次のように歌う。「我らはまことの光を見、 / 天の御霊を受け、 / まことの信仰を得た。 / 不可分なる三位一体に礼拝を捧げる。 / まことに、御方は我らを救われたからである。」

司祭：「わが神は祝福された。」

声を張り上げ、聖杯を会衆に見せながら：常に、今、そして永遠に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

主よ、私たちの口があなたへの賛美で満たされますように。そうして、私たちがあなたの栄光を讃えることができますように。あなたは、私たちに

、あなたの聖なる、神聖で、不死であり、命を与える秘跡（ ）に与ることを許してくださったからです。あなたの聖別の中に私たちを守り、一日中、あなたの真理について思いを巡らせることができますように。／ ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

一方、助祭は北の門から出て、定位置に立ち、エクテニアを唱える：

畏敬の念をもって立ちましょう！神聖で、聖なる、至清き、不死の、天上の、命を与える、畏れ多いキリストの聖餐を受け、主をふさわしく賛美しましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この一日が、完全で、聖く、平和で、罪のないものとなるよう願い、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねましょう。

聖歌隊：主よ、あなたに。

感謝の祈り

司祭：人を愛する主よ、私たちの魂の恩人よ、本日もまた、御自身の天の、不死の秘跡を私たちに授けてくださったことを感謝いたします！　私たちの道をまっすぐにし、私たちすべてを御前に畏れ敬う心に堅く立たせ、私たちの命を守り、私たちの歩みを強めてください。栄光ある神の母、永遠の処女マリアと、すべての聖人たちの祈りと嘆願によって。

司祭は、アンティミンズを折りたたみ、その上に聖なる福音書を掲げ、それをもって十字架の印を描きながら、次のように宣言します。

まことに、あなたは私たちの聖化であり、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：平和のうちに去りましょう！

聖歌隊：主の御名によって。

助祭：主にお祈りしましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

説教壇での祈り（声に出して唱える）

司祭：主よ、あなたを賛美する者を祝福し、あなたに望みを置く者を聖別してくださる方よ！あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福し、あなたの教会の全体を保ち、あなたの神殿の栄光を愛する者たちを聖別してください！　御自身の神聖な力によって彼らを栄光に輝かせ、御あなたに希望を置く私たちを見捨てないでください。御あなたの御国、御あなたの教会、司祭たち、軍勢、そして御あなたの民すべてに平安をお与えください。　まことに、あらゆる善き賜物と、あらゆる完全な贈り物は、天から来るものであり、万物の父であるあなたから下るものです。それゆえ、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光と感謝と礼拝を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭は王の門から聖所に入り、祭壇に近づいて次の祈りを唱えます：

聖なる供え物の拝領の祈り

律法と預言者たちの言葉を成就された方――御父の御計画のすべてを成し遂げられた、私たちの神、キリストよ。私たちの心を喜びと歓びで満たしてください。今、常に、そして世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。主の御名が、今より永遠に祝福されますように。（3）

詩編33

私は常に主を賛美し、 / 私の口には常に主への賛美がある。 / 私の魂は主を賛美する―― / 柔和な者たちがこれを聞い

て喜び躍るよう。／私と共に主を賛美し、／共に主の御名を讃えよう。／わたしは主を求め、主はわたしに耳を傾けてくださった。／そして、わたしのすべての苦しみから、わたしを救い出してくださった。／主のもとに来て、光を受けなさい。／そうすれば、あなたがたの顔は恥じ入ることはない。／この貧しい者が叫ぶと、主は彼に耳を傾け、／すべての苦しみから彼を救い出してくださった。 / 主を畏れる者たちの周囲には、主の御使いが陣を張り、 / 彼らを救い出す。 / 味わって、主がいかに良き方であるかを知れ―― / 主に望みを置く人は幸いである。 / 主を畏れよ、主を するすべての聖なる者たちよ、 / 主を畏れる者には、何一つ欠けることがないからである。 / 富める者は貧しくなり、飢えに苦しむが、 / 主を求める者は、いかなる善においても欠けることがない。 / さあ、子らよ、私の言葉に耳を傾けよ、 / 主を畏れることを教えよう。 / 誰が、生きたいと願う者か、 / 誰が、良い日々を見たいと願うか。 / 悪から舌を遠ざけ、 / 口から欺きの言葉を遠ざけよ。 / 悪から離れ、善を行い、 / 平和を求め、それに邁進せよ。 / 主の目は義人に向けられ、 / その耳は彼らの祈りに傾いている。 / しかし、主の御顔は悪を行う者に向けられ、 / 彼らを地から根絶やしにするためである。 / 義人たちは叫び求めた――主は彼らの声を聞き、 / すべての苦しみから彼らを救い出された。 / 主は、心を砕かれた者たちに近くおられ、 / 謙遜な霊を持つ者を救われる。 / 義人には多くの苦しみがあるが、 / 主はそれらすべてから彼らを救い出される。 ／主は彼らのすべての骨を守り、／その一つも砕かれることはない。／罪人の死は災いであり、／義人を憎む者は罪を犯す。／主は御自分のしもべたちの魂を救い出し、／主に望みを置く者は皆、罪を犯すことはない。

司祭は祭壇から出て、民にアンティドールを配る。そして、詩篇の朗読とアンティドールの配りが終わると、次のように宣言する。

主の祝福[と憐れみ]が、主の[神聖な]恵みと人愛により、常に、今この時も、そして永遠に、世々限りなく、あなたがたの上にありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：キリストなる神よ、私たちの希望よ、あなたに栄光あれ！

聖歌隊：栄光あれ、そして今、主よ、憐れみたまえ。**（3）**祝福あれ。

閉会

[日曜日：死からよみがえられた方：**]**

その他の日：キリスト、私たちの真の神よ、御母マリア、聖なる栄光に満ちた称賛すべき使徒たち、聖**（その日の聖堂およびその日の聖人の名）**、私たちの聖なる父ヨハネ、コンスタンティノープル大司教、　金口、聖なる義人である神の父母ヨアキムとアンナ、そしてすべての聖人たちの祈りによって、慈愛に満ち、人を愛する御方として、私たちを憐れみ、救ってくださいますように。

そして、「長寿を」と歌われます

聖歌隊：我らの偉大なる主であり父である**（名前）**、／モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、／ならびに我らの主である至尊なる**（名前）**、／**（教区名の）**大主教**（または：大司教、または：司教）**、／神に守られたわがロシアの国、／この聖なる教会の主任司祭、修道者たち、そして信徒たち**（あるいは：この聖なる修道院のイグメンと修道者たち）**、／そしてすべての正教徒たちを、／主よ、長きにわたり守り給え。

そして、聖体拝領の後、感謝の祈りを唱えます。

聖ヨハネ・クラマティオスによる神聖な聖体礼儀の終わり。

目次へ

感謝の祈り
聖体拝領の後 I

[勧めの詩:] 恵み深い聖体拝領 / 命を与える神秘の賜物 / に与ることを許されたなら、直ちに歌い、熱心に感謝を捧げなさい。 / そして、心の底から熱く神にこう語りかけなさい：

神よ、あなたに栄光あれ！ **(3)**

祈り 1

主なる神よ、罪人である私を拒むことなく、御自身の聖なるものにあずかることを許してくださったことを感謝いたします。不適格な私を、御自身の至聖なる天の賜物にあずかることを許してくださったことを感謝いたします。　しかし、人を愛する主よ、私たちのために死なれ、復活され、私たちの魂と肉体の恵みと聖化のために、この畏れ多く、命を与える御秘跡を授けてくださった方よ、どうかそれらが、私の魂と肉体の癒やしとなり、あらゆる敵を退け、私の心の目を照らし、　私の心の力の平安となり、揺るぎない信仰となり、偽りのない愛となり、知恵に満ちた生き方となり、御戒めを守るものとなり、御神の恵みの増し加わりとなり、御国の獲得となるよう、お導きください。　それによって、これらによって御あなたの聖化の中に保たれ、私は常に御あなたの慈しみを覚え、もはや自分のためにではなく、私たちの主であり恩人である御あなたのために生きることができますように。　そしてこうして、永遠の命を望みながらこの世の生涯を去り、祝う者たちの絶え間ない声と、あなたの御顔の言い表せない美しさを仰ぎ見る者たちの果てしない喜びがある、永遠の安息の地に至ることができますように。　まことに、あなたは、あなたを慕う者たちの真の目標であり、言い表せない喜びであ

られます、キリスト、私たちの神よ。そして、すべての被造物が、永遠にあなたを賛美します。アーメン。

祈り2、聖バシレイオス大主教

主キリスト、神よ、世々の王、全宇宙の創造主よ！あなたが私に与えてくださったすべての恵み、そしてあなたの至聖にして命を与える聖餐に感謝いたします。 どうか、慈愛に満ち、人を愛する御方よ、私を御自身の庇護の下、御翼の陰に守り、清い良心をもって、私の最期の息を引き取るその日まで、罪の赦しと永遠の命のために、御聖体をふさわしく拝領させてください。まことに、あなたは「命のパン」、聖化の源、恵みの与え主であられます。私たちは、父と聖霊とともに、今、そして常に、世々限りなく、あなたに栄光を捧げます。アーメン。

祈り3、聖シメオン・メタフラストス

自発的に御自身の御肉を私の糧として与えてくださった御方よ、あなたは不適格者を焼き尽くす火です！どうか私を焼き尽くさないでください、私の創造主よ。むしろ、私の体の各部位、すべての関節、内臓、そして心に浸透し、私のすべての罪という茨を焼き尽くしてください。 私の魂を清め、思いを聖別し、膝を骨と共に強め、五感を照らし、私のすべてを御前への畏れで釘付けにしてください。魂に有害なあらゆる行いや言葉から、常に私を守り、護り、守り抜いてください。私を清め、洗い、整えてください。私を飾り、戒め、啓発してください。 私を、唯一の御霊の御住まいとしてください。もはや罪の住まいではなく、聖体拝領を受けた後、あらゆる悪人、あらゆる情欲が、御あなたの家から、火から逃げるように、私から逃げ去るようにしてください。 私のために、すべての聖人たち、無形の軍勢の指導者たち、御前駆者、賢明な使徒たち、そして彼ら以上に、御身の汚れなき清らかな御母を、御前に取り次ぎ人として捧げます。 慈悲深きわがキリストよ、彼らの祈りをお受け取りください。そして、あなたのしもべを光の子としてください。まことに、唯一の善なる方、

あなたは私たちの魂の聖化であり、また輝きでもあります。神であり主であるあなたにふさわしく、私たち皆が毎日、栄光を捧げます。

祈り4

主イエス・キリスト、私たちの神よ、御身の聖なる御体は、私に永遠の命となり、御身の尊い御血は、罪の赦しとなりますように。　この感謝が、私にとって喜び、健康、そして楽しみとなりますように。また、あなたの恐るべき再臨の際には、あなたの全き清き御母とすべての聖人たちの執り成しにより、罪人である私が、あなたの栄光の右側に立つことをお許しください。アーメン。

祈り5、至聖なる神の母よ

至聖なる聖母マリアよ、私の曇った魂の光、希望、守り、避難所、慰め、そして私の喜びよ！　私のような不適格な者に、御子の至聖なる御体と尊い御血を拝領する恵みを賜り、感謝いたします。しかし、真の光を産み出された方よ、私の心の霊的な目を照らしてください。　不死の源を産み出された方よ、罪によって死んだ私を生き返らせてください。慈悲深い神を愛する、慈愛に満ちた母よ、私を憐れみ、私の心に悔い改めと砕かれた心を、私の思いに謙遜を、そして私の理性が囚われてしまう時には、善き思いへと導いてください。そして、私の最後の息を引き取るその日まで、魂と体の癒やしのために、聖なる秘跡を裁きとしてではなく、受け入れることができるよう、私をふさわしい者とさせてください。また、悔い改めと感謝の涙を私に与えてください。そうして、私の人生のすべての日に、あなたを賛美し、栄光を帰することができますように。あなたは永遠に祝福され、栄光に満ちているからです。アーメン。

今、主よ、御言葉に従い、御自分のしもべを平安のうちに送り出してくださいます。私の目は、すべての民の目の前で御用意くださった御救い、すなわち異邦人への啓示の光、そして御自分の民イスラエルの栄光を見ましたから。

感謝の祈り

三聖歌。栄光、そして今：至聖なる三位一体：主よ、憐れみたまえ。（3）栄光、そして今：主の祈り：

司祭：まことに、御国はあなたのものであり：**朗読者：**アーメン。

そして、その日の典礼が行われた聖人へのトロパリオ。

聖ヨハネ・クラマトリオスに、
トロパリオ、第8調

あなたの口から放たれた、炎のような光として輝いた恵みは／全宇宙を照らし出しました；／あなたは、この世のために無欲という宝を蓄え、／私たちに謙遜の高みをお示しになりました。／しかし、あなたの言葉をもって私たちを導き、／ヨハネ・ザラトゥストスよ、／御言葉であるキリスト・神に、私たちの魂の救いを祈ってください。

栄光：

コンダク、第6調

あなたは天より神聖な恵みを受け／その口をもって、すべての人々に三位一体の唯一の神を礼拝するよう教え給う／ヨハネ・クロソストモスよ、至福の、尊き方よ／私たちはあなたをその価値にふさわしく賛美します／あなたは私たちの導き手であり、神の御言葉を解き明かす方だからです。

そして今：キリスト教徒の確かな守り、／創造主への変わらぬ執り成し！／罪人たちの祈りの声を軽んじることなく、／しかし、善き方として、私たちを助けるために速やかに来てください、／信仰をもってあなたに呼び求める私たちに：／「執り成しを急ぎ、祈りを速めてください、神の母よ、／あなたを崇める者たちを常に守ってください！」

主よ、憐れみたまえ。（12）**栄光、そして今：**

ケルビムたちの最高の栄光、／そしてセラフィムたちの比類なき栄光に勝る、／処女として神の御言葉を産み、／真の聖母であるあなたを、私たちは賛美します。

主の御名によって祝福を、神父様。

司祭は小送別を唱える：キリスト、私たちの真の神は、御自身の至聖なる母、敬虔で神に愛された私たちの父たち、そしてすべての聖人たちの祈りによって、慈愛に満ち、人を愛する方として、私たちを憐れみ、救ってくださいます。

私たちは：「アーメン」。

もし聖バシレイオス大主教の典礼が行われていた場合は、 の箇所を次のように読み替えること：

聖バシレイオス大主教に、
トロパリオ、第1声

あなたの声は全地に響き渡り、／地はあなたの御言葉を受け入れた。／あなたはそれによって、信仰の真理を神にふさわしく説き明かし、／万物の本質を明らかにし、／人間の慣習を美しく整えた――／王のような司祭、尊き父よ、／キリスト・神に、私たちの魂の救いを祈ってください。

栄光：

コンダク、第4調

あなたは教会の揺るぎない礎となり、／すべての人々に侵すことのできない財産を授け、／それをあなたの教えによって刻み込み、／天の門を開かれた、尊きバシレイオスよ。

そして今：キリスト教徒の確かな守り：――上記参照。

もし「あらかじめ聖別された供え物」の典礼が行われた場合は、次のように読み上げよ：

聖グリゴリオス・ドエスロヴォスに、
トロパリオ、第4調

天より神の恵みを受け、 / 栄光あるグリゴリイよ、神より、 / その力によって強められ、 / 福音の道を歩むことを望まれた―― / それゆえ、至福なる者よ、キリストより労苦の報いを受けられた―― / 彼に祈り、我らの魂を救い給わんことを。

栄光：

コンダク、第3調

キリスト、牧者たちの長に倣い／あなたは、父グリゴリーよ、／修道者たちの群れを天の宮殿へと導き、／ それゆえ、あなたはキリストの羊たちに御戒めを教えられた。／今や、あなたは彼らと共に喜び、歓喜し／天の住まいでおられる。

そして今：「キリスト教徒の確かな守り」：– 上記参照。

目次へ

神聖な典礼
聖なる父
バシレイオス大聖人

この大バシレイオスの神聖な典礼は、常に唱えられるわけではなく、規定された特定の時期にのみ唱えられることを知っておくべきである。具体的には、大四旬節の日曜日（棕櫚の週を除く）、聖なる大木曜日、聖大土曜日、キリストの降誕および神現祭の前夜、そして聖バシレイオスの祝日に唱えられる。　なお、この聖務の順序と規定は、ヨハネ・クラマトリオス（金口）の聖体礼儀と同じである。

宣教者の聖体礼儀

助祭：主よ、祝福を！

司祭：父と子と聖霊の御国は、今、そして常に、世々限りなく、祝福されますように。

聖歌隊：アーメン。

大エケテニア

助祭：世の平和のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

天からの平安と、私たちの魂の救いについて、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全世界の平和、神の聖なる諸教会の繁栄、そしてすべての者の主との結びつきのために祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教（**名前**）、ならびに我らの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、尊い司祭団、キリストにある助祭団、そしてすべての聖職者および神の民のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神に守られるわが国、その権力者たち、そして軍勢のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この都（**あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院**）、あらゆる都と国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

好天と、大地の実りの豊かさ、そして平和な時代のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

船乗り、旅人、病める者、苦しむ者、捕らわれの身にある者、そして彼らの救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアとすべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第一アンティフォナの祈り

司祭：主なる神よ、その御力は比類なく、その栄光は測り知れず、その慈しみは計り知れず、その人間愛は言葉に尽くせぬ方よ！　主よ、御自身の慈愛をもって、私たちとこの聖なる神殿に御目を向け、私たちと、私たちと共に祈る者たちに、尽きることのない御慈悲と御寛大さを示してください。

会衆：まことに、すべての栄光と誉れと礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものであります。今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

第一の図像的アンティフォン

1. わが魂よ、主を賛美せよ。／主よ、あなたは祝福された方です！／わが魂よ、主を賛美せよ、／わが心の奥底のすべてをもって、その聖なる御名を。

2. わが魂よ、主を賛美せよ、／そのすべての恵みを忘れるな。

1. 主はあなたのすべての罪を赦し、／あなたのすべての病を癒やしてくださる。

2. 主はあなたの命を滅びから救い出し、／恵みと慈しみをもってあなたを冠してくださる。

1. 主はあなたの願いを恵みをもって満たしてくださる――／あなたの若さは、鷲のように新たにされる。

2. 主は恵みを施し、／すべての抑圧された者たちに裁きを下される。

1. 主はモーセに御自身の道を示し、／イスラエルの子らに御自身の御心を明らかにされた。

2. 主は寛大で慈愛に満ち、／忍耐強く、豊かな憐れみをお持ちである。

1. 主は最後まで怒りを燃やし続けず、／永遠に憤り続けることはない。

2. 主は、私たちの不義に応じて私たちに報いられず、 / 私たちの罪に応じて私たちに報いられなかった。

1. 天が地から高いように、 / 主は御自身を畏れる者たちへの御慈しみを確かなものとなさった。

2. 東が西から離れているほどに、 / 主は私たちの不義を私たちから遠ざけてくださった。

1. 父が子たちを憐れむように、 / 主は御自分を畏れる者たちを憐れんでくださった。

2. 主は私たちのありようを知っておられ、 / 私たちが塵であることを覚えておられる。

1. 人は草のようで、その日々は、 / 野の花のように、やがて散りゆく。

2. 彼の息は絶え、 / もはや彼はおらず、 / もはや自分の居場所を知ることはない。

1. しかし、主の恵みは、世々限りなく、 / 主を畏れる者たちの上にある。

2. 主の真実は、その子孫たち――主の契約を守り、主の戒めを心に留め、それを守る者たち――の上にある。

1. 主は天に御座を設け、 / その御国は万物を支配する。

2. 主を賛美せよ、主のすべての御使いたちよ、 / 力強く、主の御言葉を、 / その御声を聞くやいなや、実行する者たちよ。

1. 主を賛美せよ、主のすべての軍勢よ、／主の御心を行う主のしもべたちよ。

2. 主を賛美せよ、主のすべての被造物よ、／主の支配が及ぶあらゆる場所で。

1. 父と子と聖霊に栄光あれ。

2. 今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

1. わが魂よ、主を賛美せよ、／わが心のすべてよ、その聖なる御名を。／主よ、あなたは祝福された方です！

詩編 102:1-8

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第二アンティフォナの祈り

司祭：主よ、私たちの神よ、あなたの民を救い、あなたの御業を祝福し、あなたの教会の完全さを守り、あなたの御家の栄光を愛する者たちを聖別してください！あなたの神聖な力によって彼らを栄光に輝かせ、あなたに希望を置く私たちを見捨てないでください。

叫び：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属するものであり、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

第二の図像的アンティフォン

1. わが魂よ、主を賛美せよ。／わが生涯の限り、主を賛美し、／存命する限り、わが神に歌を捧げよう。

2. 君主や人の子らに、救いなどないのだから、彼らに望みを置いてはならない。

1. その息が去り、／彼は自分の土に帰る。／その日、彼のすべての思いは滅びる。

2. ヤコブの神が助け手であり、／その望みを主なる神に置く者は、幸いである。

1. 天と地、／海と、その中に満ちるすべてのものを造られた方。

2. 永遠に真理を守り、／虐げられた者に裁きを行い、／飢えた者に糧を与える方。

1. 主は囚人を解き放たれ、／主は盲人に知恵を与えられる。

2. 主は倒れた者を起こし、／主は義人を愛される。

1. 主は旅人を守り、／孤児と未亡人を迎え入れ、／罪人の道を無に帰される。

2. 主は永遠に君臨される、／シオンの神よ、代々、代々にわたって。

詩編145

父と子と聖霊に栄光あれ、／今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

主イエス・キリストへの賛歌

聖歌隊：独り子であり、神の御言葉よ！ / 不死の御方であり、我らの救いのために / 聖なる神の母、永遠の処女マリアより受肉され、 / 変わることなく人となり、十字架につけられた、キリストなる神よ、 / 死によって死を打ち破り、 / 聖三位一体の一位であり、 / 父と聖霊と共に賛美される方よ、我らを救いたまえ！

小エケテニア

助祭：再び、この世において主へ祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第三のアンティフォナの祈り

司祭：私たちにこの一致した共同の祈りを授けてくださった主よ、御名によって求める者たちのために、二人あるいは三人が共に願うことを叶えると約束された主よ、今この時も、御自分のしもべたちの願いを有益な形で叶えてください。この世において御真理の知識を授け、来世において永遠の命をお与えください。

賛歌：まことに、あなたは慈愛に満ち、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

合唱：アーメン。

ここで、小入口の王の門が開かれる。

「幸いな者たち」、第三の図像的アンティフォン

1. 主よ、御国において、私たちを覚えてください、 / 御国に来られるその時に。

12番：1. 霊的に貧しい者は幸いである、 / 天の御国は彼らのものだから。

2. 泣く者は幸いである。 / 彼らは慰められるからである。

10節：1. 柔和な者は幸いである。 / 彼らは地を受け継ぐからである。

2. 義に飢え渇く者は幸いである。 / 彼らは満たされるからである。

第8節：1. 憐れみ深い者は幸いである。 / 彼らは憐れみを受けるからである。

2. 心の清い人は幸いである。 / 彼らは神を見るからである。

第6章：1. 平和をつくる者は幸いである。 / 彼らは神の子と呼ばれるからである。

2. 義のために迫害される者は幸いである。 / 天の御国は彼らのものだからである。

第4章：1. あなたがたが、わたしのために侮辱され、迫害され、あらゆる不当な中傷を受けるとき、幸いである。

2. 喜び、喜びなさい。／天において、あなたがたの報いは大きいからである。 マタイによる福音書 5:3–12A

1. 父と子と聖霊に栄光あれ。

2. 今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

福音書による小入堂

司祭は聖福音書を取り、それを助祭に渡し、北の門から出て、燭台を持った聖職者たちに先導されて、小入堂を行う。そして、定位置に立ち、二人は共に頭を垂れる。

助祭：主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

入堂の祈り

司祭：主よ、私たちの神よ、御自身の栄光に仕えるために、天に天使と大天使の軍勢を配置された方よ！ 我らの入場とともに、我らと共に奉仕し、御恵みを賛美する聖なる天使たちの入場が成し遂げられますように。まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものであり、今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

助祭：主よ、この聖なる入場を祝福してください！

司祭は祝福しながら、次のように唱えます。「あなたの聖なる方々の入場は、常に、今、そして永遠に、また世々限りなく祝福されますように。」

その後、助祭は司祭に聖福音書を差し出し、口づけを捧げさせる。

最後のトロパリオが終わると、助祭は王の門で司祭の前に立ち、聖福音書を高く掲げ、それを民衆に見せながら、大声で次のように宣言する：

「知恵よ！ 畏敬の念をもって立ちましょう！」

そして、一礼をして聖なる祭壇に入り、その後に司祭が続く。助祭は聖なる福音書を聖なる祭壇に置き、聖歌隊は次のように歌う：

入祭唱

日曜日の聖歌隊：さあ、来て、キリストを礼拝し、ひれ伏しましょう。／神の子よ、／死者の中からよみがえられた方よ、あなたを賛美する私たちを救ってください。／ハレルヤ。

その後、聖歌隊は規定に従ってトロパリとコンダキを歌い、司祭は次の祈りを唱える：

「三聖」の詠唱に先立つ祈り

司祭：聖なる神よ、聖なる者たちのうちに安息なさる方、セラフィムたちによって「三聖」の賛歌で讃えられ、ケルビムたちによって栄光を称えられ、すべての天の軍勢から礼拝を受けられる方よ！　あなたは、無から有へと万物を導き出し、御自身の像と似姿に従って人を創造し、御自身のすべての賜物をもって人を飾り立て、求める者に知恵と な分別を与え、罪を犯す者を軽んじることなく、救いとしての悔い改めを定められた方です。あなたは、謙虚で不適格なあなたの僕である私たちを、この時にあなたの聖なる祭壇の御栄光の前に立たせ、あなたにふさわしい礼拝と賛美を捧げるに値する者とされました。主よ、どうかあなたご自身が、罪深い私たちの口から 「三聖歌」をお受け取りください。そして、御慈愛をもって私たちを顧み、自発的・非自発的を問わずあらゆる罪を赦し、私たちの魂と体を聖別し、聖母マリアと、古来より御心にかなったすべての聖人たちの執り

成しにより、私たちに生涯を通じて畏敬の念をもって御前に仕えることをお許しください。

聖歌隊が最後のコンダクを歌い始めると、助祭は司祭に向かって次のように言います。

「司祭様、三聖歌の歌唱の時間を祝福してください。」

司祭は、彼に十字の印を授けながら、次のように唱えます：

「まことに、あなたは聖なる方、私たちの神です。私たちは、父と子と聖霊に、今この時も、そして永遠に、栄光を捧げます。」

最後のコンダクが終わると、助祭は王の門から出て、まずオラールでキリストのイコンを指し示しながら、次のように宣言する：主よ、敬虔な者たちを救いたまえ。

聖歌隊：主よ、敬虔な者たちを救いたまえ。

助祭：そして、私たちのお祈りを聞き入れてください。

聖歌隊：そして、私たちに耳を傾けてください。

また、助祭はオララムを振りながら聖堂に立つ人々を巡り、彼らに向かって大声でこう宣言する。「そして、世々限りなく。」

聖歌隊：アーメン。

三聖歌

聖歌隊：聖なる神よ、 / 聖なる力ある方よ、 / 聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。 **(3)**

父と子と聖霊に栄光あれ。今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。

聖なる神よ、 / 聖なる力ある方よ、 / 聖なる不死なる方よ、私たちを憐れんでください。

賛美の間に、司祭と助祭は自ら「三聖賛」を唱え、聖壇の前で三度お辞儀をする。

助祭：お命じください、司祭様。

司祭：主の御名によって来られる方は祝福されます。

助祭：主よ、天上の御座を祝福してください。

司祭は、高き所を祝福しつつこう唱える。「御国の栄光の御座に、ケルビムの上に座しておられる御方よ、今、この時、そして永遠に、世々限りなく、祝福あれ。アーメン。」

「三聖」の終わりに、助祭は王の門に近づき、こう宣言する。「耳を傾けましょう！」

司祭：「すべての人に平安あれ！」

そして、朗読者は答える。「あなたの霊にも。」

助祭：「知恵よ！」

そして朗読者：「プロキメン、（ダビデの詩篇）、[某]調。」

助祭：「知恵よ！」

そして朗読者は使徒書の題名を読み上げる：「聖使徒行伝」の朗読、あるいは：「ヤコブの一般書簡」、あるいは：「ペトロの書簡」、あるいは：「ローマ人への手紙」、あるいは：「コリント人への手紙」、あるいは：「ガラテヤ人への手紙」の、聖使徒パウロによる書簡の朗読。

助祭：静粛に聞きましょう！

使徒書の朗読中、助祭は香炉と乳香を手に取り、司祭のもとへ近づき、祝福を受けた後、聖座の周囲、祭壇全体、そして司祭に香を焚く。

使徒書の朗読

司祭：平安あれ！

朗読者：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ！

朗読者：ハレルヤ、[某]の調。

そして、アリルヤの詩句に合わせて、アリルヤを3回ずつ3回歌われる。

福音朗読前の祈り

司祭：人愛に満ちた主よ、私たちの心に、御あなたを知る不朽の光を灯し、御あなたの福音の説教を理解できるよう、

私たちの心の目を開いてください！　また、御自身の祝福された戒めに対する畏敬の念を私たちに授けてください。そうして、私たちがすべての肉欲を克服し、御心に適うことすべてを思い、それを実行しながら、霊的な生活を送ることができますように。まことに、あなたは私たちの魂と肉体の光であられます、キリストなる神よ。私たちは、あなたに、あなたの初めなき御父とともに、また、至聖にして善き、命を与える御霊とともに、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。アーメン。

助祭：主よ、聖なる使徒であり福音伝道者である［名前］を祝福してください。

司祭は、彼に十字の印を施しながら、次のように唱えます：　神は、聖なる、栄光ある、（万に称えられる）使徒であり福音宣教者である［名前］の執り成しにより、福音を宣べ伝えるあなたに、御自身の愛する御子、我らの主イエス・キリストの福音を全うするために、大いなる力ある御言葉をお与えになりますように。

そして、聖なる福音書を彼に手渡す。

助祭：アーメン。

司祭：知恵よ。敬虔な心で立ちましょう。聖なる福音に耳を傾けましょう。すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの御霊にも。

助祭：|名前|による聖なる福音書の朗読です。

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

司祭：耳を傾けましょう！

福音書の朗読

司祭：福音を宣べ伝えるあなたに、平安あれ。

聖歌隊：主よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

特別の祈願

助祭：皆で心を尽くし、思いを尽くして唱えましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全能の主よ、我らの父なる神よ、あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れみ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御自身の偉大なる憐れみによって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、私たちの偉大なる主であり父である至聖なる総主教（**名前**）と、私たちの主である（高）至聖なる大主教（**または：大司教、あるいは：司教――名前**）、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3回**）。

さらに、神に守られたわが国、その権力者たち、そして軍勢のために祈り、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、平穏で安らかな生活を送ることができますように。

合唱：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

さらに、私たちの兄弟である司祭たち、修道司祭たち、[助祭たちと修道士たち]、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

合唱：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

さらに、この聖なる神殿（**あるいは：この聖なる修道院**）を築き上げ、常に記念される祝福された方々のため、また、ここや至る所に眠る、すでにこの世を去った私たちのすべての正教の父たちと兄弟たちのために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（**3**）。

さらに、この聖なる神殿（あるいは：この聖なる修道院）の神のしもべたち、兄弟たち{および信徒たち}のために、憐れみ、命、平和、健康、救い、御臨在、赦し、そして罪の赦しを祈ります。

合唱：主よ、憐れみたまえ（3回）。

さらに、この聖なる、至聖なる聖堂において献金を捧げ、善行を行う者たち、またそこで奉仕し、賛美を歌い、参列する者たちのために祈ります。彼らは、あなたからの偉大で豊かな憐れみを待ち望んでいます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

熱心な祈りの祈り

司祭：主なる私たちの神よ、御自分のしもべたちからのこの熱心な祈りをお受け取りください。そして、御自身の豊かな憐れみによって私たちを憐れみ、御自身の寛大さを、御自身から尽きることのない憐れみを待ち望む私たちと、御自身の民すべてに注いでください。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

洗礼志願者への祈り

助祭：洗礼を受ける者たちよ、主にお祈りください！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

信徒の皆さん、求道者のために祈り、主が彼らを憐れんでくださいますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

真理の御言葉をもって彼らを宣教しました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らに真理の福音を開いてくださいました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らを、御自身の聖なる、共にある使徒的教会と結びつけられました。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、彼らを救い、憐れみ、守り、保たれ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

洗礼を受ける者たちよ、主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ、あなたに。

求道者のための祈り

司祭：天にまします、御自身のすべての御業を見守られる、私たちの主なる神よ！　御前に頭を垂れた御自分の僕である洗礼志願者たちをご覧になり、彼らに御自身の軽い重荷をお与えください。彼らを御自身の聖なる教会のふさわしい一員とされ、再生の洗礼、罪の赦し、そして朽ちることのない衣を授けてください。そうして、彼らに、私たちの真の神である御自身を知ることができるようにしてください。

叫び：彼らもまた、私たちと共に、父と子と聖霊の、至聖にして威厳ある御名を、今、常に、そして世々限りなく賛美することができますように。

聖歌隊：アーメン。

そして司祭がアンティミンズを開く。

信徒の典礼

助祭：すべての求道者よ、出て行きなさい！求道者よ、出て行きなさい！すべての求道者よ、出て行きなさい！求道者たちは誰も残らず、ただ信徒たちのみが、主のもとで繰り返し祈りを捧げましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：知恵よ！

信徒の第一の祈り

司祭：主よ、あなたは私たちにこの偉大な救いの秘跡を示してくださいました。あなたは、謙虚で不適格なあなたの僕である私たちを、あなたの聖なる祭壇の奉仕者となるにふさわしい者とされました。　聖霊の力によって、私たちをこの奉仕にふさわしい者とならせてください。そうして、御前の聖なる栄光の御前で裁きを受けることなく、あなたに賛美のいけにえを捧げることができますように。あなたは、万物においてすべてを成し遂げられる方、　です。主よ、私たちの罪と、無知な民の罪のために捧げられる私たちのいけにえが、御前に喜ばれ、受け入れられますように。

司祭は宣言する：まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいのです。

聖歌隊：アーメン。

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

（司祭が単独で礼拝を執り行う場合、以下の［四つの］祈願は唱えない：

天からの平和と、私たちの魂の救いについて、主に祈りましょう。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

あらゆる悲しみ、怒り、災い、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。）

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：至高の知恵よ！

そして、助祭は北の門から聖所に入ります。

信徒の第二の祈り

司祭：憐れみと慈しみをもって私たちの謙遜に臨み、私たちのような謙遜で罪深く、ふさわしくないしもべたちを、あなたの聖なる栄光の御前に立たせ、あなたの聖なる祭壇に仕えさせてくださった神よ；　この奉仕のために、御聖霊の力によって私たちを強め、私たちの口が開かれる際に、捧げられる供え物に御聖霊の恵みを呼び求める言葉を授けてください。

司祭はこう宣言します。「御力によって常に守られ、私たちが父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げることができますように。」

聖歌隊：アーメン。

そして、王の門が開かれます。

ケルビムの賛歌

聖歌隊：私たちは、ケルビムを神秘的に表し、命を与える三位一体に「三聖の賛歌」を歌いながら、今、この世のあらゆる心配事を脇に置きます。

ケルビムの歌が歌われている間、助祭は香炉を取り、その中に乳香を納め、司祭のもとへ近づき、司祭から祝福を受けた後、聖なる祭壇の周囲、祭壇全体、そしてイコノスタスを燻し、また司祭、聖歌隊席、そして会衆をも燻す。 また、第50篇の詩篇や、心を打つトロパリを、望むだけ朗読する。一方、司祭は密かに次の祈りを唱える：

ケルビムの歌の祈り

司祭：肉欲や快楽に縛られた者は、誰一人として、栄光の王よ、あなたに近づき、あなたに仕えるにふさわしくありません。なぜなら、あなたへの奉仕は偉大かつ畏れ多く、天の御力たちにとってもそうであるからです！　しかし、あなたは、言い表し難く計り知れない御愛により、揺るぎなく、変わることなく人となり、私たちの大祭司として現れ、万物の主として、この共同の奉仕と血なき犠牲の聖務を私たちに委ねてくださいました。　まことに、主なる私たちの神よ、天と地の一切を支配されるのはあなたただお一人です。ケルビムの御座に担がれ、セラフィムの主、イスラエルの王、唯一の聖なる方、聖なる者たちのうちに安らぐ方。　しかし、唯一の慈愛に満ち、憐れみ深い御方よ、お願い申し上げます。罪深く、何の役にも立たない御僕である私を見守り、私の魂と心を邪悪な良心から清め、御聖霊の力によって、　聖職の恵みに包まれた私が、この御聖なる御座の前に立ち、御身の聖なる、まことに清き御体と尊き御血の聖なる儀式を執り行えるようにしてください。　まことに、私は頭を垂れて御前に進み出て、あなたに懇願いたします。　御顔を私から背けず、また私をあなたの奉仕者たちの数から追い出さないでください。むしろ、罪深く、ふさわしくないあなたの僕である私が、これらの供え物をあなたに捧げることができますよう、お許しください。　まことに、あなたは捧げる者であり、捧げられる者であり、受け入れる者であり、分け与える者であられます、私たちの神、キリストよ。私たちは、あなたと、あなたの初めなき父と、あなたの至聖にして善き、命を与える御霊とを称え、今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

祈りと香を焚く儀式が終わると、司祭と助祭は聖壇の前に立ち、ケルビムの歌を三度唱え、そのたびに最後に一礼する。

その後、彼らは祭壇に近づき、司祭は聖なるディスコスと聖杯に香を焚きます。

助祭が司祭にこう呼びかける。「お上げください、司祭様。」

すると司祭は、空気を手に取り、それを助祭の左肩に置きながら、次のように言う。

「聖なるものに向かって両手を上げ、主を祝福しなさい。」

また、聖なるディスコスを取り、それを助祭の頭の上に置く。司祭自身は聖なるポティルを手に取り、二人は燭台を持った奉仕者たちに先導されて北の門から出て行く。

大入堂

助祭は次のように宣言する。「我らの偉大なる主であり父である（**名前**）、モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、そして我らの主（高）至聖なる（**名前**）様、（**ある教区の**）大主教（**または：**大司教、**または：**司教）を、主なる神が御国において、今、常に、そして世々限りなく、永遠に御記憶くださいますように。

また、司祭は次のように祈ります：尊厳なる大主教、大司教、司教の皆様、ならびにすべての司祭および修道者、この聖なる教会（**または：この聖なる修道院**）の兄弟たちと信徒たち、そして皆様、**[ギリシャ語：　私たち]**正教会のキリスト者たちを、主なる神が御国において、今、常に、そして世々限りなく、いつまでも覚えてくださいますように。

聖歌隊：アーメン。

そして、ケルビムの歌を締めくくる：「全き王を迎え入れるために、天使の軍勢に見えざる形で付き添われておられる方を。ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。」

一方、助祭は王の門に入り、右側に立ち、司祭が入ってくると、彼に向かってこう言う：

主なる神が、御国において、今、常に、そして世々限りなく、あなたの司祭職を覚えてくださいますように！

司祭は彼に答えて言う。「主なる神が、御国において、今、常に、そして世々限りなく、あなたの助祭職を覚えてくださいますように。」

そして司祭は、聖なる聖杯を聖壇に置きながら、次のように言う：

高貴なるヨセフよ、あなたは十字架から御自身の至聖なる御体を降ろし、清らかな布で包み、香油を塗って、新しい墓に安置されました。

棺の中では肉体として、地獄では魂として神として、そして楽園では強盗と共に、また御座の上では、キリストよ、御父と聖霊と共に、すべてを満たす、限りなきお方としておられました。

命の担い手であり、まことに楽園よりも美しく、あらゆる王宮よりも輝かしいものとして、あなたの棺は現れました、キリストよ、私たちの復活の源よ。

また、聖なる器を覆いながら、次のように唱える。「高貴なるヨセフよ、木からあなたの至聖なる御体を降ろし、清らかな布で包み、香油を塗って、新しい墓に安置した。」

そして、聖なるものに三度香を焚きながら、次のように言う。「主よ、御恵みをもってシオンを恵み、エルサレムの城壁が再建されますように。そうすれば、あなたは義のいけにえ、捧げ物、全焼のいけにえを喜んで受け入れ、あなたの祭壇に雄牛が捧げられるでしょう。」

そして香炉を返すと、助祭にこう言う。「兄弟であり、共に奉仕する者よ、私を覚えていてください！」

助祭：「主なる神が、御国においてあなたの聖職を覚えてくださいますように。聖なる司祭よ、私のために祈ってください。」

司祭：聖霊があなたの上に臨み、至高者の力があなたを覆いますように。

助祭：その御霊が、私たちの生涯のすべての日にわたって、私たちを助けてくださいますように。聖なる主よ、私を覚えてください。

司祭：主なる神が、御国において、今、そして常に、また世々限りなく、あなたを覚えてくださいますように。

助祭：アーメン。

王の門と幕が閉じられる。

請願のエクテニア

助祭：主への祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

主への聖なる捧げ物について、祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この日が、完全で、聖く、平和で、罪のない日となるよう、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と体を守る守護者を、主にお祈りいたします。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、安らかに迎えられるよう、また、キリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

至聖なる、至清き、至祝福された、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

奉献の祈り、
聖なる祭壇に神の賜物を安置した後

司祭：主なる神よ、私たちを創造し、この世に導き、救いへの道を示し、天の秘跡の啓示を授けてくださった方よ。あなたは、御聖霊の力によって、私たちをこの奉仕の務めに立たせてくださいました。　主よ、どうか私たちがあなたの新しい契約の奉仕者となり、あなたの秘跡を執り行う者となれるよう、お許しください。あなたの豊かな憐れみによって、あなたの聖なる祭壇に近づく私たちを受け入れてください。そうして、私たちの罪と、無知にある民の罪のために、この言葉による血なきいけにえをあなたに捧げるにふさわしい者とならせてください。　この捧げ物を、天をも超える聖なる、形なき御祭壇の上で、芳しい香として受け入れてくださり、その報いとして、御聖霊の恵みを私たちに注いでください。　神よ、私たちに目を留め、この私たちの奉仕をご覧になり、アベルの供え物、ノアの犠牲、アブラハムの全焼のいけにえ、モーセとアロンの聖務、サムエルの平安のいけにえを受け入れられたように

、これを受け入れてください。御自身の聖なる使徒たちからこの真の奉仕を受け入れられたように、主よ、御慈悲により、私たち罪深い者たちの手からこれらの供え物も受け入れてください。そうして、私たちが御自身の聖なる　の祭壇に非の打ち所なく仕えるにふさわしい者とされ、御義の裁きが行われる恐るべき日に、忠実で賢明な家政者としての報いを受けられますように。

司祭は宣言する：御子、御独り子、御子と共に祝福される御方、そして全聖にして善き、命を与える御霊の御慈悲により、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：互いに愛し合い、心を一つにして

聖歌隊：父と子と聖霊 / ――本質において一つであり、分かたれることのない三位一体 / を告白しましょう。

そして司祭は三度、次のように言いながら礼拝する。「主よ、わが砦、わが堅固な要塞、わが避難所、わが救い主よ、あなたを愛します。」(3)

主任司祭：「キリストは私たちのただ中にいます！」

そして、口づけをした者が答える：「今もおられ、これからもおられます。」

助祭：「扉よ、扉よ！ 知恵をもって耳を傾けよう！」

王の門の幕が開かれる。司祭は手を挙げて聖なる供え物の上に掲げ、会衆と同様に心の中で次のように唱える：

使徒信条

1 私は、唯一の神、父、全能者、天と地、目に見えるものも見えないものすべてを創造された方を信じます。 2 また、唯一の主イエス・キリスト、神の御子、独り子、すべての世より前に父から生まれ、光より光、まことの神よりまことの神

、生まれ、造られず、父と同質であり、万物は彼によって造られたことを信じます。3 私たち人間のために、また私たちの救いのために、天から降りて来られ、聖霊と聖母マリアによって受肉し、人となられた方。4 ポンティウス・ピラトの治世下、私たちのために十字架につけられ、苦しみを受け、葬られた方。5 聖書の言葉どおり、三日目に復活された方。6 天に昇り、父の右に座しておられる方。7 栄光のうちに再び来られ、生ける者と死んだ者を裁かれる方。その御国には終わりがありません。8 また、父から出で、父と子と共に等しく礼拝され、賛美され、預言者たちを通して語られた、命を与える主である聖霊を信じます。9 唯一、聖なる、カトリック、使徒的な教会を信じます。10 罪の赦しのための唯一の洗礼を認めます。11 死者の復活を待ち望み、12 来たるべき世の命を待ち望みます。アーメン。

聖なる奉献

助祭：美しく、畏敬の念をもって立ち、聖なる奉献を平和のうちに捧げられるよう、耳を傾けましょう！

聖歌隊：平和の恵み、 / 賛美のいけにえ。

司祭は民を祝福しつつ宣言する：我らの主イエス・キリストの恵み、神であり父である方の愛、そして聖霊の交わりが、あなたがたすべての上にありますように！

聖歌隊：また、あなたの霊にも。

司祭：心を天へと向けよう！

聖歌隊：私たちは主に向かって心を向けました。

司祭：主を賛美しましょう！

会衆：父と子と聖霊、 / 同一の本質を持ち、分かたれることのない三位一体に、 / ふさわしく、また正しく礼拝を捧げましょう。

司祭は身をかがめ、心の中で祈る

実在する主よ、全能の父なる神よ、崇められる方よ！まことに、あなたを賛美し、あなたを讃え、あなたを祝福し、あ

なたに礼拝を捧げ、あなたに感謝を捧げることは、あなたの聖なる栄光にふさわしく、正しく、また相応しいことです。 唯一真に存在される神であるあなたを称え、砕かれた心と謙遜な霊をもって、この言葉による奉仕をあなたに捧げることは、まことにふさわしく、正義にかなっており、あなたの聖なる輝きにふさわしいことです。なぜなら、あなたは私たちにあなたの真理を知る恵みを与えてくださったからです。そして、誰があなたの威力を語り尽くし、あなたのすべての賛美を明らかにし、あるいはあらゆる時にあなたのすべての奇跡を語り伝えることができるでしょうか？ 万物の主、天と地、そして目に見えるものも見えないものも含むすべての被造物の主よ。栄光の御座に着き、深淵を見下ろされる方、初めなく、目に見えず、 、測り知れず、言葉に尽くせず、変わることのない方、 私たちの主イエス・キリストの父、偉大なる神であり救い主、私たちの希望である方。御子は、御あなたの慈愛の像であり、御あなたに等しい印であり、御自身の中に御あなた、すなわち父を現わし、生ける御言葉、真の神、永遠の知恵、命、聖化、力、真の光であり、御子を通して聖霊が現れ、 ——真理の御霊、子としての地位の賜物、将来の相続の保証、永遠の恵みの始まり、命を与える力、聖化の源であり、その御霊によって強められて、すべての被造物、言葉を持つものも理性あるものも、あなたに仕え、あなたに永遠の賛美を捧げます。なぜなら、すべてのものはあなたに従属しているからです。 まことに、天使たち、大天使たち、座、主権、支配、権威、力、そして多くの目を持つケルビムたちが、あなたを賛美しています。セラフィムたちはあなたの周囲に立ち、 ある者は六つの翼を持ち、ある者は六つの翼を持ち、二枚の翼で顔を覆い、二枚の翼で足を覆い、二枚の翼で飛びながら、絶えることのない口で互いに呼びかけ、絶え間ない賛美を捧げている。

司祭は声を高めて、勝利の歌を歌い、呼びかけ、叫び、こう告げます：

聖歌隊：聖なる、聖なる、聖なる、主サバオトよ！ / 天も地も、あなたの栄光に満ちている！ / 至高なる御方にオサナ！ / 主の御名によって来られる方に祝福あれ！ / 至高なる御方にオサナ！

聖バシレイオス大主教の典礼

司祭は密かに祈る

これらの至福の御力と共に、人を愛する主よ、私たち罪深い者たちも叫び、こう申し上げます。「まことに、あなたは聖なる方、至聖なる方であり、あなたの聖さの輝きには限りなく、あなたのすべての御業は正しい。なぜなら、あなたは正義と真の裁きによって、すべてを私たちに下されたからです。 神よ、あなたは地上の塵を取り、人を創造し、御自身の御姿に似せて尊ばれ、彼を甘美な楽園に置かれ、御命令を守ることによって、不死の命と永遠の恵みの喜びを彼に約束されました。しかし、彼を創造された真の神である御あなたに背き、蛇の誘惑に惑わされ、自らの罪によって滅びた者を、神よ、あなたは御自身の正しい裁きによって楽園からこの世へと追放し、彼が取られた土へと戻され、御自身のキリストにおける再生を通して彼に救いを備えてくださいました。 まことに、あなたは、善き御方として御自身で創造された被造物から、決して まで背を向けず、御自身の手の業を忘れられることもなく、むしろ、あなたの慈愛の憐れみによって、さまざまな形で御訪れになったのです。 あなたは預言者たちを遣わし、あなたに喜ばれた聖徒たちを通して奇跡を行われ、各世代において、あなたのしもべである預言者たちの口を通して私たちに語りかけ、来るべき救いを予告されました。また、助けとして律法を与え、天使たちを守護者として立てられました。そして、時の満ちる時が来ると、あなたは御子ご自身を通して私たちに語られました。その御子こそ、あなたが世々を創造された方です。御子は、あなたの栄光の輝きであり、あなたの位格の像であり、御言葉によって万物を支えておられながら、神であり父であるあなたと等しいことを強奪とは見なさず、 しかし、永遠の神であられながら、地上に現れ、人々と交わり、聖なる処女から受肉して、御自身を低くし、しもべの姿をとり、私たちの謙遜な体に似た姿となられたのは、私たちをも御自身の栄光の姿に似せようとしてのことでした。 なぜなら、人を通して罪が世に入り、罪を通して死が入ったからであり、あなたの懐におられる御独り子、 神であり父である御方は、聖なる神の母であり、常に処女であるマリアから生まれ、律法の下に入り、御自身の肉において罪を断罪することを御心に留められました。それは、アダムにおいて死んでいる者たちが、御子キリストご自身において生かされるためでした。 また

、この世に生き、救いの教えを授け、私たちを偶像崇拝の迷いから救い出し、真の神であり父であるあなたを知るよう導き、私たちをあなた自身の特別な民、王なる祭司の群れ、　聖なる民として、また水によって私たちを清め、聖霊によって聖別し、その代わりに、罪の支配下に売られて囚われていた私たちに代わって、御自身を死に委ねられました。そして、十字架によって陰府に下り、御自身をもってすべてを満たし、死の苦しみを終わらせ、 そして三日目に復活し、あらゆる肉なる者にとって死からの復活への道を切り開かれました。なぜなら、いのちの主が朽ちるものに囚われることはあり得なかったからです。こうして、死者の先駆けとなり、死者の中から最初の者となられ、すべての点においてすべての者のうちで第一となるためでした。　そして天に昇り、高きところにある御威光の右の座に着かれた――御方は、各人の行いに応じて報いを与えるために来られる。しかし、御方は私たちに、御自身の救いの苦難の記憶を残してくださった――それは、私たちが御方の の戒めに従って、御前に捧げたものである。 なぜなら、御自身が自発的であり、永遠に記憶され、命を与える御死へと向かうことを決意されたその夜、御自身が世の命のために御自身を捧げられたその夜、御自身の聖なる、まこと清らかな御手にパンを取り、神であり父である御前に差し出し、感謝し、祝福し、聖別し、裂かれたからである。

声を高めて、御自身の聖なる弟子たちと使徒たちに与え、こう言われた。「これを受け取り、味わいなさい。これは、あなたがたのために罪の赦しのために裂かれる、わたしの体である。」

聖歌隊：アーメン。

司祭（秘儀の中で）：同様に杯を取り、その中にぶどうの木の果実を溶かし入れ、感謝し、祝福し、聖別した。

そして再び宣言する：「聖なる弟子たちと使徒たちに与え、こう言われた。『皆、これから飲みなさい。これは、あなたがたのために、また多くの者のために、罪の赦しのために注がれる、わたしの新しい契約の血である。』」

聖歌隊：アーメン。

司祭は頭を垂れ、心の中で祈る

『これをわたしの記念として行いなさい。あなたがたがこのパンを食べ、この杯を飲むたびに、わたしの死を告げ知らせ、わたしの復活を告白するからである。』 私たちもまた、主よ、御子の救いのための受難、命を与える十字架、三日間の埋葬、死者からの復活、天への昇天、あなたである神、父の右の座に着かれたこと、そして御子の栄光に満ちた、また畏れ多い再臨を記念いたします。

司祭（声を高めて）：あなたのものから、あなたに、すべての事柄について、またすべての事柄のために捧げます。

[ギリシャ語：あなたのものから、あなたのものへと、すべてと調和し、すべてのゆえに、あなたに捧げます。**]**

聖歌隊：主よ、あなたを賛美し、 / あなたを祝福し、 / あなたに感謝し、 / 私たちの神よ、あなたに祈ります。

司祭は頭を垂れ、心の中で祈る

それゆえ、至聖なる主よ、私たちもまた、罪深く、ふさわしくないあなたのしもべとして、あなたの聖なる祭壇に仕えることを許された者として、私たちの義のためではなく――私たちは地上で何の善も行わなかったからです――　――しかし、あなたが私たちに豊かに注いでくださったあなたの憐れみと慈しみによって、私たちはあなたの聖なる祭壇に近づくことを敢えてし、あなたのキリストの聖なる御体と御血の象徴を捧げ、　聖なる聖なる方よ、御慈愛の御心により、御聖霊が私たちと、ここに捧げられた供え物の上に臨み、それらを祝福し、聖別し、現わしてくださるよう、あなたに祈り、呼び求めます。

助祭は司祭の元に歩み寄り、二人は共に聖なる祭壇の前で三度ひれ伏し、心の中で祈りながらこう言います：

司祭：主よ、第三の時に御使徒たちに御聖霊を降臨させられた方よ、その御聖霊を、慈愛に満ちた御方よ、私たちから

取り去ることなく、あなたに祈る私たちの中に新たに注いでください。

助祭の詠唱：神よ、私の内に清い心をお造りください。そして、正しい御霊を私の内に新たにしてください。

再び司祭：主よ、あなたの至聖なる御霊を：

助祭の詩句：私を御顔から追い払わず、御聖霊を私から取り去らないでください。

そして再び司祭：主よ、あなたの至聖なる御霊を：

その後、助祭は聖なるパンを指し示しながら、静かな声でこう言います。「主よ、この聖なるパンを祝福してください。」

司祭は聖なる小羊に十字の印を結びながら、次のように言う。「このパンは、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの最も尊い御体である。」

助祭：「アーメン。主よ、聖なる杯を祝福してください。」

司祭は聖杯を祝福しながら、次のように唱える。「この聖杯は、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの最も尊い御血である。」

助祭：アーメン。

司祭：世の命のために流された血に。

助祭：アーメン。主よ、これら二つを共に祝福してください。

司祭は、両聖体を共に手で祝福しながら、次のように唱えます。「御聖霊によって変容させてください。」

助祭：アーメン、アーメン、アーメン。聖なる司教よ、罪深い私を覚えてください。

司祭：主なる神が、御国において、今、そして常に、そして世々限りなく、あなたを覚えてくださいますように。

助祭：アーメン。

司祭は次のように祈る。

また、一つのパンと一つの杯から聖体拝領を受ける私たちすべてを、唯一の聖霊の交わりにおいて互いに結び合わせ、私たちのうちだれも、あなたのキリストの聖なる御体と御血を、裁きや非難のために拝領することのないようにし、むしろ、古くからあなたに喜ばれたすべての聖人たちと共に、恵みと恩寵を得ることができますように。 先祖たち、父たち、総主教たち、預言者たち、使徒たち、説教者たち、福音を宣べ伝えた者たち、殉教者たち、信仰の証人、教師たち、そして信仰のうちに息を引き取ったあらゆる義なる霊たちと共に。

そして、香炉を手に取り、司祭は次のように宣言する。「とりわけ、至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた我らの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアと共に。」

そして、聖なる祭壇の前で三度香を焚く。

聖歌隊は歌う：「恵み深き方よ、すべての被造物があなたを喜び祝います。／天使の群れと人類のすべて。／あなたは聖別された神殿であり、霊的な楽園、／処女の栄光であり、そこから神は受肉し、幼子となられました。／――すべての世の初めから存在される、私たちの神。」／ まことに、主はあなたの内を御座とされ、／ あなたの胎を天よりも広大にされた。／ 恵み深い方よ、すべての被造物があなたを喜び祝います。あなたに栄光あれ！

聖木曜日のイルモス、第6調

主の歓待と / 不死の食卓と / 高き場所で高潔な思いを抱き / 信徒たちよ、共に喜びを分かち合いましょう / 私たちが賛美する御言葉から / 至高の御言葉を聞いたのです。

聖土曜日、イルモス、第6調

母よ、私のことを嘆き悲しむな、 / 棺の中に横たわる御子を見て、 / あなたが種なき胎内で宿したその御子を、 / 私は復活し、栄光を受けるから、 / そして神として栄光のうちに

、／絶えず信仰と愛をもって／あなたを賛美する者たちを天に上げよう。

司祭は身をかがめて、密かに祈る。「聖ヨハネ、預言者、先駆者、洗礼者、栄光に満ち、称賛すべき聖なる使徒たち、そして我々がその記念を捧げる聖なる（その名）たち、ならびにあなたのすべての聖人たちと共に、彼らの祈りによって、神よ、私たちを顧みてください。」

そして、復活と永遠の命への希望をもって亡くなられたすべての人々――{あなたのしもべたち――}を思い出してください。

（ここで司祭は、生者・死者問わず、望む者を追悼する。生者については次のように述べる：

「神のしもべたち（名前）の救い、御訪れ、罪の赦しを。」

また、故人については次のように祈ります。「御自分のしもべたち（名前）の魂の安息と罪の赦しを。悲しみや嘆きが去った明るい場所で、彼らを安らかにしてください、私たちの神よ。」）

そして、御顔の光がすべてを照らすその場所で、彼らを安らかにさせてください。

続いてこう続けます。「さらに、主よ、宇宙の果てから果てまで存在する、あなたの聖なる共合的かつ使徒的な教会を覚えてください。そして、あなたが御子キリストの尊い血によって贖われたその教会を和解させ、この聖なる神殿を世の終わりまで堅く保ってください。

主よ、あなたにこれらの供え物を捧げた者たち、そして、彼らのために、また彼らを通して、そして彼らのために、彼らがこれらを捧げた人々を、どうか覚えてください。

主よ、御自身の聖なる教会において献金を捧げ、善行を行い、貧しい者たちを思いやる者たちを覚えてください。彼らに、御自身の豊かな天の賜物を授け、地上のものの代わりに天のものを、一時的なものの代わりに永遠のものを、朽ちるものの代わりに朽ちないものを与えてください。

主よ、荒野や山々、洞窟、そして地の峡谷にいる者たちを覚えてください。

主よ、貞潔と敬虔と苦行と清らかな生活を送る者たちを、どうか覚えてください。

主よ、神に守られたわがロシアの国と、その忠実な民を覚えてください。私たちに深く揺るぎない平和を授け、権力の座にあるすべての者の心に、御教会と御民全体への善意を植え付け、彼らが静寂のうちに、あらゆる敬虔さと清らかさをもって、私たちが穏やかで安らかな生活を送れるようにしてください。

主よ、あらゆる指導者や権力者、奉仕に当たっている兄弟たち、そしてすべての軍勢を覚えてください。善き者たちを御慈愛によって守り、悪しき者たちを御慈愛によって善き者へと変えてください。

主よ、ここに集う民と、やむを得ない事情で欠席している者たちを思い起こし、御慈悲の豊かさによって彼らと私たちを憐れんでください。彼らの倉をあらゆる善で満たし、彼らの夫婦関係を平和と一致の中で守り、幼子たちを育て、若者たちを導き、老人を支え、気弱な者を慰め、　散らされた者たちを集め、迷い出た者たちを立ち返らせ、御自身の聖なる公会派かつ使徒的な教会と結び合わせてください。不浄な霊に苦しめられている者たちを解放し、船に乗る者たちを見守り、旅する者たちに寄り添い、未亡人を庇護し、孤児を守り、捕虜を救い出し、病人を癒してください。　裁判を受けている者、鉱山で働く者、追放された者、過酷な労働に従事する者、あらゆる悲しみ、困窮、災難にある者たちを、神よ、覚えてください。また、あなたの偉大な憐れみを必要とするすべての人々、私たちを愛する者、憎む者、そして私たちのような不適格な者に彼らのために祈ることを託した者たちをも。そして、主なる私たちの神よ、あなたの民すべてを覚えてください。すべての人にあなたの豊かな憐れみを注ぎ、救いへと導くものをすべての人に与えてください。　また、無知や忘却、あるいは名前の多さゆえに私たちが思い起こせなかった

者たちについても、一人ひとりの年齢や名を御存知であり、母の胎内から一人ひとりを御存知である神よ、どうか御自身で彼らを覚えてください。　まことに、主よ、あなたは無力な者の助け、絶望する者の希望、嵐に翻弄される者の救い主、航海する者の避難所、病人の医者であられます。一人ひとりを知り、その願い、住まい、　その必要を知っておられるあなたが、すべての人にとってすべてとなってください。　主よ、この町（あるいは：この聖なる修道院）と、あらゆる町や国を、飢饉、疫病、地震、洪水、火災、剣、異民族の侵略、そして内戦から救い出してください。

そして司祭は次のように宣言する：「主よ、まず第一に、偉大なる主であり、我らの父である（名前）、モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、ならびに我らの主　（高）尊厳なる（名前）様、ミトロポリス（または：大司教、あるいは：司教（○○――教区名））を、御記憶ください。彼らを、御身の聖なる教会に、無傷で、尊ばれ、健やかで、長寿であり、御身の真理の言葉を正しく説く者として、この世に授けてください。

聖歌隊が歌う：そして、すべての男性と、すべての女性を。

司祭は心の中で祈る：主よ、御あなたの真理の言葉を正しく説く、正教会のすべての主教職を覚えてください。

主よ、御慈悲の深さに基づき、私の不徳をも御記憶ください。自発的であろうと不本意であろうと、あらゆる罪を赦し、私の罪のゆえに、この聖なる供え物から御聖霊の恵みを取り去らないでください。

主よ、司祭職、キリストにおける助祭職、およびその他のすべての聖職を覚えてください。そして、あなたの聖なる祭壇を取り囲む私たちのうち、だれ一人として恥をかかせないでください。

主よ、御慈愛をもって私たちを訪れ、豊かな御憐れみをもって御姿を現してください。私たちに恵み深く有益な天候をお与えください。実り豊かな大地のために穏やかな雨をお与えください。主よ、一年の締めくく

りを御慈愛をもって祝福してください。　教会の分裂を終わらせ、異教徒の激怒を鎮め、異端の反乱を御聖霊の力によって速やかに打ち砕き給え。私たちすべてを御国に迎え入れ、光の子、日の子として示し給え。主なる私たちの神よ、御平和と御愛を私たちに授け給え。まことに、あなたはすべてを私たちに与えてくださったからである。

そして、望む限り、生きている人々の名を挙げて祈りを捧げる。

司祭は次のように宣言する：そして、私たちに、一つの口と一つの心をもって、至聖にして威厳ある　御名、すなわち父と子と聖霊の御名を、今、そして常に、そして世々限りなく、賛美し、讃歌することをお許しください。

聖歌隊：アーメン。

司祭は、王の門に向き直り、民を祝福しながら次のように宣言します：

偉大なる神、私たちの救い主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべての上にありますように。

聖歌隊：また、あなたの霊にも。

請願のエクテニア

助祭：すべての聖人を記念し、再び、そして繰り返し、平和のうちに主へ祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

捧げられ、聖別された聖なる供え物について、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

人を愛する私たちの神が、これらを聖なる、天をも超える、無形の御祭壇に、霊的な芳香として受け入れ、私たちに神の恵みと聖霊の賜物を授けてくださいますよう、祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして苦難から私たちを救ってくださるよう、主に祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この日が、完全で、聖く、平和で、罪のない日となるよう、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と肉体の守護者を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

合唱：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、安らかに迎えられるよう、また、キリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

信仰の一致と聖霊による交わりを願い求め、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

聖体拝領前の祈り

司祭：わが神、救いの神よ、あなたが私たちのために成し遂げ、今も成し遂げておられる御恵みに対し、私たちがふさわしくあなたに感謝できるよう、私たちをお導きください。 これらの賜物を受け入れてくださった私たちの神よ、肉と霊のあらゆる汚れから私たちを清め、あなたを畏れつつ聖なる生活を送るよう私たちを導いてください。そうして、清らかな良心の証しをもってあなたの聖なる賜物を受け取り、あなたのキリストの聖なる御体と御血と一つとなることができますように。 そして、それらにふさわしく受け入れることにより、キリストを私たちの心に宿らせ、御聖霊の宮となることができますように。 どうか、私たちの神よ、私たちのうちだれ一人として、あなたのこの畏れ多い天の秘跡に対して罪を犯すことなく、また、それらにふさわしくない聖体拝領によって心身ともに衰弱することのないよう、私たちを導いてください。そして、私たちの最期の息を引き取るその日まで、あなたの聖なる秘跡をふさわしく受けられるよう、 ――それは、永遠の命への道しるべとして、また、御子キリストの恐るべき審判における御心に適う答えとして、私たちも、古より御心にかなったすべての聖人たちと共に、、主よ、御自身を愛する者たちのために備えてくださった御自身の永遠の恵みにあずかる者となることができますように。

司祭はこう**宣言する**。「主よ、私たちに、裁きを受けることのないよう、大胆に天の神、父なる御名を呼び求め、次のように宣言する勇気を与えてください：」

民：天にまします我らの父よ！ 御名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天で行われるように、地でも行われますように。私たちの日ごとの糧を今日お与えくださ

い。そして、私たちの罪をお赦しください。私たちも、私たちに罪を犯した者を赦しますように。私たちを誘惑に遭わせず、悪から救い出してください。

司祭：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなくありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ、あなたに。

頭を垂れる祈り

司祭：主よ、憐れみ深い父、あらゆる慰めの神よ！　御前に頭を垂れた者たちを祝福し、聖別し、守り、強め、確固たるものとし、あらゆる悪事から遠ざけ、あらゆる善行と結びつけ、罪の赦しと聖霊との交わりのために、これらの至聖にして命を与える御秘跡を、裁きを受けることなく受けられるよう、彼らをふさわしい者とならせてください。

司祭は宣言する：御子の一人子による恵みと、憐れみと、人愛によって、御子と共に祝福される御方、また、至聖にして善き、命を与える御霊によって、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

司祭は祈る

主イエス・キリスト、わが神よ、あなたの聖なる住まいと、あなたの御国の栄光の御座から、耳を傾けてください。そして、、私たちを聖別するために来てください。あなたは、高きところにおいて父と共に座し、またここにおいて目に見えぬ形で私たちと共に留まっておられる方です。　そして、御身の力強い御手をもって、御身の至聖なる御

体と尊い御血を、私たちに、そして私たちを通してすべての民に授けてくださいますように。

この祈りが読まれている間、助祭は王の門の前に立ち、オラールを十字形に身に着ける。一方、司祭は定位置に立ち、助祭と同様に礼拝を行い、心の中で三度こう唱える。「神よ、罪深い私を清め、憐れんでください。」**(3)**

王の門は垂れ幕で閉じられる。

助祭：耳を傾けましょう！

司祭は聖なるパンを掲げながら、次のように宣言する。「聖なるものは聖なる者たちへ！」

聖歌隊：唯一の聖なる方、 / 唯一の主、 / イエス・キリスト、 / 父なる神の栄光のために。アーメン。

そして、聖歌隊は、その日または聖人のための聖体賛歌を、規定に従って歌う。

助祭：「主よ、聖なるパンを砕いてください。」

司祭は聖なる小羊を四つに分けながら、次のように唱える：

神の小羊は、砕かれ、分けられる。砕かれつつも決して分けられず、常に味わわれつつも決して尽きることなく、聖体拝領する者を聖別する。

助祭：司教様、聖杯を満たしてください。

司祭：聖霊の満ち溢れ。

助祭：アーメン。

そして、温めを手に取り、こう言う。「主よ、この温めを祝福してください。」

司祭は、次のように言いながら聖水を祝福する：

あなたの聖なるものの温もりは、常に、今、そして永遠に、世々限りなく祝福されますように。アーメン。

助祭は、聖杯に温めを注ぎ入れながらこう言う。「聖霊に満たされた信仰の温めです。アーメン。」

祭壇における聖体拝領

司祭：「助祭よ、近づきなさい。」

助祭：「見よ、私は不死の王であり、私の神であるキリストのもとへ参ります。」

司祭は聖なるパンを取り、助祭に与える。助祭は聖なるパンを受け取り、次のように言う：

「主よ、私の主、神、そして私たちの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御体を、私に授けてください。」

司祭は次のように言う。「（○○――名前）聖助祭に、私たちの主であり、神であり、救い主であるイエス・キリストの尊く、聖なる、そして至聖なる御体が、その罪の赦しと永遠のいのちのために授けられます。」

そして、助祭は退き、司祭と同様に、次の祈りを唱える。「主よ、私は信じ、告白します」など。

また、司祭も聖なるパンの一片を取り、次のように唱える：

見よ、私は、不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。

尊く、至聖なる、主であり、神であり、私たちの救い主イエス・キリストの御体は、私の罪の赦しと永遠のいのちのために、私、（名前）という司祭に授けられます。

そして、頭を垂れて祈ります。「主よ、私は信じ、告白します：

そして、畏れと確固たる信仰をもって、キリストの至聖なる御体を拝領する。その後、司祭は次のように宣言する：

見よ、私は再び、不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。

そして、両手で聖杯を取り、次の言葉を唱えながら、そこから三度聖体拝領を行う：

主であり、神であり、我らの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御血を、神の僕である司祭（名前）は、永遠の命において私の罪が赦されるために、これを受けます。アーメン。

そして、自分の口と聖杯の縁を拭った後、それに口づけをしてこう唱える。「見よ、これが私の唇に触れた。それゆえ、私の不義は取り除かれ、私の罪は清められるであろう。」

また、助祭を呼び寄せ、こう言う。「助祭よ、近づきなさい。」

すると、助祭が近づき、次のように言いながら礼拝を行う：

「見よ、私は{再び}、不死の王であり、私の神である{キリスト}のもとへ参ります。」そして、「主、私の神、そして私たちの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御血を、私に授けてください。」

そして司祭は次のように宣言する。「神のしもべ、助祭（名前）が、主であり、神であり、我らの救い主であるイエス・キリストの尊く聖なる御血を、その罪の赦しと永遠のいのちのために受けます。」

そして、助祭が聖体拝領を終えると、司祭はこう言う。「見よ、これがあなたの唇に触れた。それはあなたの不義を取り除き、あなたの罪を清めるであろう。」

聖体拝領を希望する者がいる場合、司祭は「NI」と「KA」と記された聖なる小羊の残りの二片を、拝領者全員に十分に行き渡るよう小さな粒に砕き、聖杯に注ぎ入れる。

そして、聖杯を覆い布で覆う。 [聖体拝領者がいない場合、司祭は聖ディスク上のすべての聖片を、定められた言葉（下記参照）を唱えながら聖杯に浸し]、聖ディスクの上に星形の装飾と覆いを載せる。また、次のように祈りを唱える。「人を愛する主よ、あなたに感謝いたします：（下記参照）」。

教会内での信徒への聖体拝領

そして、王の門が開かれる。助祭は一礼した後、聖杯を取り、王の門から出て、聖杯を高く掲げ、会衆に見せながら次のように宣言する。「神への畏れと、信仰[と愛]をもって、近づきなさい！」

聖歌隊：主の御名によって来られる方は祝福されます。/神は主であり、御自身を私たちに現されました！

信徒の聖体拝領に先立ち、司祭は慣例に従って祈りを唱える。「主よ、私は信じ、告白します。あなたはまことにキリスト、生ける神の御子であり、罪人である私たちを救うためにこの世に

来られた方であり、その中でも私は筆頭です。　また、これがあなたの最も清らかな御体であり、これがあなたの最も尊い御血であることを信じます。　どうか、私を憐れみ、言葉や行いによって、意識的あるいは無意識のうちに犯した、意図的な罪も無意識の罪もすべて赦してください。そして、罪の赦しと永遠の命を得るために、私が裁きを受けることなく、あなたの至聖なる秘跡に与ることを許してください。アーメン。

そしてこう言います。「主よ、この日、御あなたの神秘の晩餐の参加者として、神の子よ、私をお受け入れください。私は御あなたの敵にその秘密を明かすことはなく、ユダのような口づけを御あなたに捧げることもありません。しかし、あの強盗のように、御あなたにこう告白します。『主よ、御あなたの御国で私を覚えてください！』」

主よ、あなたの至聖なる秘跡の聖体拝領が、私にとって裁きや非難となることなく、魂と体の癒やしとなりますように。

そして、聖体拝領を望む者たちは、胸に手を組んで、あらゆる敬虔さと畏れをもって礼拝しながら、一人ずつ順番に近づいてきます。そして、一人ひとりが神聖な秘跡を受け取ります。司祭は、一人ひとりに聖体を与える際、次のように唱えます。

神のしもべ（名前）は、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く聖なる御体と御血を、その罪の赦しと永遠のいのちのために受けます。アーメン。

そして助祭は布でその人の唇を拭う。その後、聖体拝領した者は聖杯に口づけをし、一礼してその場を離れる。こうして、全員が聖体拝領を行う。

聖体拝領の間、慣例に従い、次のように繰り返し歌う。「キリストの御体を受け入れよ、／不死の源を味わえ」。そして最後に、「ハレルヤ」と唱える。(3)

聖体拝領の後

聖体拝領の後、司祭は聖なる祭壇に入り、聖なる供え物を載せた聖杯を聖なる祭壇の上に置く。

一方、助祭は聖ディスクスを取り、それを聖ポティロスの上に掲げ、以下の復活祭の賛美歌を唱えながら、その上の聖

体片をすべて聖杯に浸します。「キリストの復活を目撃し：輝け、輝け、新しいエルサレムよ：おお、偉大にして至聖なる復活祭よ：

そして、聖なるスポンジでそれを丁寧に拭き取りながら、注意深く敬虔に次の言葉を唱える。「主よ、御自身の聖なる血をもって、ここに記念された者たちの罪を洗い清め給え。御自身の聖徒たちの祈りによって。」

司祭は民を祝福し、次のように宣言する。「神よ、あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福してください。」

そして聖なる祭壇に向き直り、心の中で次のように唱えながら、三度香を焚きます：

「神よ、天に昇り、全地において御栄えを現わしたまえ。」(3)

聖歌隊は次のように歌う。「我らはまことの光を見、 / 天の御霊を受け、 / まことの信仰を得た。 / 不可分なる三位一体に礼拝を捧げる。 / まことに、御方は我らを救われたからである。」

司祭：「わが神は祝福された。」

声を張り上げ、聖杯を会衆に見せながら：常に、今、そしていつまでも、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

主よ、私たちの口が／あなたへの賛美で満たされますように、／私たちがあなたの栄光を讃えることができますように。／あなたは私たちに、／あなたの聖なる、神聖で、不死の、命を与える聖餐に与ることを許してくださったからです。／私たちをあなたの聖別の中に守り、／一日中、あなたの真理について思いを巡らせることができますように。／ ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

一方、助祭は北の門から出て、定位置に立ち、エクテニアを唱える：

畏敬の念をもって立ちましょう！神聖で、聖なる、至清き、不死の、天上の、命を与える、畏れ多いキリストの聖餐を受け、主をふさわしく賛美しましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この一日が、完全で、聖く、平和で、罪のないものとなるよう願い、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねましょう。

聖歌隊：主よ、あなたに。

感謝の祈り

司祭：主なる神よ、私たちはあなたに感謝いたします。あなたが私たちの魂と肉体の恵み、聖化、そして癒やしのために与えてくださった、聖なる、清き、不死の、天上の秘跡の聖体拝領を。　万物の主よ、御自身で、私たちに、御子のキリストの聖なる御体と御血への交わりが、恥じることのない信仰、偽りのない愛、知恵に満ちた行い、魂と体の癒やし、あらゆる敵の撃退、御戒めの遵守、そして御子のキリストの恐るべき審判における御心に適う答えとなるよう、お導きください。

司祭は、アンティミンズを折りたたみ、その上に聖なる福音書を掲げ、それをもって十字架の印を描く。

叫び：まことに、あなたは私たちの聖化であり、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：平和のうちに退場しましょう！

聖歌隊：主の御名によって。

助祭：主にお祈りしましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

説教壇での祈り、
声に出して唱える

司祭：主よ、あなたを賛美する者を祝福し、あなたに希望を置く者を聖別してくださる方よ！あなたの民を救い、あなたの嗣業を祝福し、あなたの教会の完全さを守り、あなたの家の栄光を愛する者を聖別してください！　御自身の神聖な力によって彼らを栄光に輝かせ、あなたに希望を置く私たちを見捨てないでください。あなたの御国、あなたの教会、司祭たち、軍勢、そしてあなたの民すべてに平安をお与えください。　まことに、あらゆる善き賜物と、あらゆる完全な贈り物は、光の父であるあなたから下るものであり、私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光と感謝と礼拝を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭は王の門から聖所に入り、祭壇に近づいて次の祈りを唱えます：

聖なる供え物の拝領の祈り

私たちの力の及ぶ限り、キリスト、私たちの神よ、御身の「家づくり」の秘跡が成就いたしました。私たちは御身の死を記念し、御身の復活の姿を目にし、御身の果てしない命に満たされ、尽きることのない御身の至福を味わいました。来るべき世においても、私たちすべてがこれに与かるよう、御身が御心をお示しくださいますように、　始原なき父の恵みと、聖なる、善き、命を与える御霊によって、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。主の御名が、今より永遠に祝福されますように。（3）

詩編33

私は常に主を賛美し、 / 私の口には常に主への賛美がある。 / 私の魂は主を賛美する―― / 柔和な者たちがこれを聞い

て喜び躍る。／私と共に主を賛美し、／共に主の御名を讃えよう。／わたしは主を求め、主はわたしに耳を傾けてくださった。／そして、わたしのすべての苦しみから、わたしを救い出してくださった。／主のもとに来て、光を受けなさい。／そうすれば、あなたがたの顔は恥じ入ることはない。／この貧しい者が叫ぶと、主は彼に耳を傾け、／すべての苦しみから彼を救い出してくださった。 / 主の御使いは、主を畏れる者たちの周囲に陣を張り、/ 彼らを救い出す。/ 味わって、主がいかに良き方であるかを知れ――/ 主に望みを置く人は幸いである。/ 主を畏れよ、主の聖なる者たちよ、/ 主を畏れる者には、何一つ欠けることがないからである。 / 富める者は貧しくなり、飢えに苦しむが、 / 主を求める者は、いかなる善においても欠けることがない。/ さあ、子らよ、わたしに耳を傾けよ、/ 主を畏れることを教えよう。/ 生きようとする者、/ 良い日々を見たいと願う者は誰か。/ 悪から舌を遠ざけ、/ 口から欺きの言葉を遠ざけよ。/ 悪から離れ、善を行い、/ 平和を求め、それに邁進せよ。/ 主の目は義人に向けられ、/ その耳は彼らの祈りに傾いている。 / しかし、主の御顔は悪を行う者に向けられ、 / 彼らを地上からその名を絶やそうとされる。 / 義人たちは叫び求めた――主は彼らの声を聞き、 / すべての苦しみから彼らを救い出された。/ 主は、心を砕かれた者たちに近くおられ、 / 謙遜な霊を持つ者を救われる。/ 義人には多くの苦しみがあるが、/ 主はそれらすべてから彼らを救い出される。 ／主は彼らのすべての骨を守り、／その一つも砕かれることはない。／罪人の死は災いであり、／義人を憎む者は罪を犯す。／主は御自分のしもべたちの魂を救い出し、／主に望みを置く者は皆、罪を犯すことはない。

司祭は祭壇から出て、民にアンティドールを配る。そして、詩篇の朗読とアンティドールの配りが終わると、次のように宣言する。

主の祝福[と憐れみ]が、主の[神聖な]恵みと人愛により、常に、今この時も、そして永遠に、世々限りなく、あなたがたの上にありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：キリストなる神よ、私たちの希望よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

聖歌隊：栄光あれ、そして今、主よ、憐れみたまえ。**（3）**祝福あれ。

閉会

日曜日：死からよみがえられたキリスト、私たちの真の神よ、御自身の聖母マリア、聖なる栄光に満ちた称賛すべき使徒たち、聖**（その日の聖堂と日の聖人の名）**、私たちの聖なる父、カッパドキアのケサリアの大司教ヴァシレイオス大聖人、聖なる義人である神の父母ヨアキムとアンナ、そしてすべての聖人たちの祈りによって、慈愛に満ち、人を愛する主として、私たちを憐れみ、救ってくださいますように。

そして、「長寿を」と歌われます

聖歌隊：我らの偉大なる主であり父である**（名前）**、／モスクワおよび全ルーシの至聖なる総主教、／ならびに我らの主である至尊なる**（名前）**、／**（または：大司教、または：司教――教区名）**、／神に守られたわがロシアの国、／この聖なる教会の主任司祭、修道者たち、そして信徒たち**（あるいは：この聖なる修道院のイグメンと修道者たち）**、／そしてすべての正教徒たちを、／主よ、長きにわたり守り給え。

そして、聖体拝領の後、感謝の祈りを唱えます。

聖バシレイオス大主教の神聖な聖体礼儀の終わり。

目次へ

神聖な典礼
あらかじめ聖別された
供え物

宣教の典礼

慣例に従い、助祭は説教壇に立ち、次のように宣言する：

「主よ、祝福を！」

司祭は、慣例に従い聖壇の前に立ち、次のように宣言する：

父と子と聖霊の御国は、今、そして常に、世々限りなく、祝福されますように。

聖歌隊：アーメン。

朗読者：さあ、ひれ伏しましょう：（3）

詩編103

わが魂よ、主を賛美せよ！　主よ、わが神よ、あなたはまことに尊ばれ、栄光と威光にまとい、光を衣のように身にまとい、天を皮の覆いのようにはるかに広げられる。 あなたは水の中に御自身の天の宮殿を隠し、御自身の昇天のために雲を定め、風の翼に乗って進み、御自身の御使いたちを霊として、御自身の僕たちを炎として造り、地をその土台の上に堅く据えられました。それは、永遠に揺らぐことはありません。深淵は衣の如く、それを覆い、山々には水が立ち上る。彼らはあなたの脅威から逃げ、あなたの雷鳴の響きを恐れる。山々に登り、平野へと下り、あなたが彼らのために定めた場所へ――越えてはならない境界を定め、地を覆うために引き返すことはない。 あなたは渓谷に泉を湧き出させ、山々の真ん中を水が流れ、野のすべての獣に水を飲ませ、野生のロバは渇きを癒やし、、その傍らに空の鳥たちが住み着き、岩の間から声を上げる。あなたは御自身の高みから山々を潤し、あなたの御業の実りによって地は満たされる。あなたは家畜のための草と、人々のために役立つ青草を育み

、地からパンを生み出し、人の心を喜ばせるぶどう酒を与え、その顔を油で輝かせ、パンは人の心を強める。 平野の木々、あなたが植えたレバノンの杉は満ち足りる。そこには小鳥たちが巣を作り、コウノトリの住処がそれらの上にそびえ立つ。高い山々は鹿のため、岩は野ウサギの避難所である。主は時を示すために月を造られ、太陽はその沈む時を知っている。あなたは闇を広げ、夜が訪れた。その中を、森のすべての獣、若い獅子たちが、獲物を捕らえ、神から与えられる糧を探し求める希望を抱いて唸りながら彷徨う。太陽が昇ると、彼らは集まり、それぞれの巣穴で横たわる。人は夕暮れまで、自分の務めと仕事に向かう。 主よ、あなたの御業はなんと荘厳なことでしょう。あなたはすべてを英知をもって造られました。地はあなたの被造物で満ちています。この海は偉大で広大であり、そこには数えきれないほどの這うもの、大小さまざまな動物たちがいます。そこには船が航行し、また、あなたが私たちを嘲笑うために造られたあの竜もいます。 すべてのものは、あなたが定められた時に彼らに糧を与えてくださることを待ち望んでいます。あなたが彼らに与えられれば、彼らはそれを集め、あなたが御手を広げられれば、すべてのものは恵みで満たされます。しかし、あなたが御顔を背けられれば、彼らは動揺し、あなたが彼らの息を絶たれれば、彼らは消え去り、塵へと帰ります。 あなたが御霊を送られると、彼らは造られ、あなたは地の面を新たになさる。主の栄光は永遠に続く。主は御自身の御業を喜び、地を見下ろしてそれを震わせ、山々に触れれば、それらは煙を上げる。私は生涯、主に歌い、生きている限り、私の神を賛美する。わが語りかけが主の御心にかなうように。そして、わたしは主を喜び祝おう。罪人たちが地から消え去り、不義を行う者たちが、もはや存在しなくなるように。わが魂よ、主を賛美せよ！ 太陽は夕暮れを迎えた。あなたは闇を広げ、夜が訪れた。主よ、あなたの御業はなんと荘厳なことか。あなたはすべてを英知をもって造られた。

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

大エケテニア

助祭：世の平和のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

天からの平安と、私たちの魂の救いについて、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

偉大なる主であり、我らの父である至聖なる総主教（名前）、ならびに我らの主である（高）至聖なる大主教（または：大司教、あるいは：司教――名前）、尊い司祭団、キリストにある助祭団、そしてすべての聖職者および神の民のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神に守られるわが国、その権力者たち、そして軍勢のために、主に祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この都（あるいは：この集落、あるいは：この聖なる修道院）、あらゆる都と国、そしてそこに信仰をもって暮らす人々のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

好天と、大地の実りの豊かさ、そして平和な時代のために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

船乗り、旅人、病める者、苦しむ者、捕らわれの身にある者、そして彼らの救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアとすべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

司祭が唱える：「すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものです。今、そして常に、世々限りなく。」

聖歌隊：「アーメン」。

第一アンティフォナの朗読中に、アンティミンズが開かれ、ディスコスが祭壇へ運ばれ、礼拝が行われる。聖なる小羊がディスコスに移され、再び礼拝が行われる。

第18カフィズマの第1節
詩編119

朗読者：私は苦しみの中で主に叫び求めた。主は私の声を聞いてくださった。主よ、不義な者の口と、欺く舌から、私の魂を救い出してください。欺く舌によって、あなたに何が与えられ、何が加わるというのか。　強者の鋭く研がれた矢は、荒野の炭のようだ。ああ、私の命が異国の地で長く続いたことよ。私はキダルの天幕のそばに住んだ。私の魂は異国の地で長く暮らした。世界を憎む者たちと、私は平和に暮らした。私が彼らに話しかけると、彼らは理由もなく私と戦った。

詩編120

わたしは目を山々に向ける。そこから、わたしの助けは来る。わたしの助けは、天と地を造られた主から来る。あなたの足がよろめくことのないように。あなたを守られる方が、うたた寝することのないように。見よ、イスラエルを守られる方は、うたた寝もせず、眠りにつくこともない。 主はあなたを守り、主はあなたの右の盾となられる。昼は太陽があなたを焼くことはなく、夜は月もあなたを焼くことはない。主は あらゆる悪からあなたを守り、主はあなたの魂を守り、主は今より永遠に、あなたの出入りをお守りになる。

詩編121

「主の宮へ行こう」と私に言った人々を、私は喜び祝った。 エルサレムよ、私たちの足はあなたの庭に立っていた。エルサレムよ、その一体性こそが共同体である、築き上げられた都よ。そこには、イスラエルへの証しとして、主の氏族、主の氏族が上り、主の御名を賛美するためである。そこには裁きの玉座、ダビデの家にある玉座が設けられているからである。 だから、エルサレムの平安を願い求めよ。あなたを愛する者たちには豊かさが与えられるように。あなたの力の中に平安があり、あなたの要塞の塔に豊かさがあるように。私の兄弟たちと隣人のために、私はあなたについて「平安」と語った。私たちの神、主の家のために、私はあなたに幸いを求めた。

詩編122

天におられる方よ、わたしはあなたに目を向けます。見よ、しもべの目が主人の手に、女奴隷の目が女主人の手に注がれるように、私たちの目も、主、私たちの神に注がれています。主が私たちを憐れんでくださるまで。 主よ、私たちを憐れんでください。私たちを憐れんでください。私たちは軽蔑に満ち溢れているからです。私たちの魂は、繁栄する者たちからの侮辱と、高慢な者たちからの軽蔑に満ち溢れています。

聖体礼儀（事前聖別された聖体による）

詩編123

もし主が私たちのうちにいなかったなら、イスラエルよ、そう言え。もし主が私たちのうちにいなかったなら、人々が私たちに立ち向かったとき、彼らは私たちを生きたまま飲み込んでしまっただろう。彼らの怒りが私たちに対して燃え上がったとき、水は私たちを溺れさせてしまっただろう！　私たちの魂は激流を越えた。そう、私たちの魂は乗り越えられない水を越えたのだ！　主は、私たちを彼らの牙の獲物となさなかった。主を賛美します。私たちの魂は、小鳥のように、猟師の網から逃れ出ました。網は破れ、私たちは救われました。私たちの助けは、天と地を造られた主の御名にあります。

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり、永遠の処女マリアとすべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第一アンティフォナの祈り

司祭：主よ、寛大で慈悲深く、忍耐強く、大いなる憐れみをお持ちの方よ！私たちの祈りを聞き入れ、私たちの嘆きの声に耳を傾けてください。私たちに善のしるしを示し、御自

身の道へと導き、御自身の真理のうちに歩ませてください。私たちの心を喜ばせ、御名の聖なる御名を畏れ敬うようにしてください。　まことに、あなたは偉大であり、奇跡を行われる方、唯一の神であられます。神々の間にあなたに匹敵する者はなく、主よ、あなたは慈しみに富み、力に満ちておられ、あなたの聖なる御名を信頼するすべての人を助け、慰め、救ってくださる方です。

賛歌：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に属するものであり、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

第二のアンティフォンの朗読の間、礼拝が行われ、聖壇の周囲で蝋燭を灯して香を焚き、再び礼拝が行われる。

第18カフィズマの第二節
詩編124

朗読者：主を待ち望む者は、シオンの山のごとく。エルサレムに住む者は、永遠に揺らぐことはない。その周囲には山々が立ち、主は今より永遠に、御自分の民を取り囲んでおられる。主は、義人の分け前に罪人の杖を及ばせはしない。義人がその手を不義へと伸ばすことのないように。　主よ、善く、正しい心をもって恵みを施してください。しかし、悪巧みに走る者たちは、主が不義を行う者たちと共に退けてくださいますように。イスラエルに平安がありますように。

詩編125

主がシオンの捕囚を帰還させられたとき、私たちは慰められた者のようになった。その時、私たちの口は喜びに満ち、舌は歓喜に満ちた。その時、諸国民の間でこう言われるだろう。「主は彼らの上に偉大なことをなされた」。　主は私たちの上に偉大なことをなされた――私たちは喜びに満ちた。主よ、南風による川の流れのように、私たちの捕囚を帰らせてください。涙ながらに種を蒔く者は、喜びのうちに刈り取る

。去って行く者は、種を蒔きながら泣きながら去っていったが、帰って来る者は、束を掲げて喜びのうちに帰って来る。

詩編126

主が家を建ててくださらなければ、建築者たちの労苦はむなしい。主が町を守ってくださらなければ、見張りの者の見張りはむなしい。主が御自分の愛する者たちに眠りを与えられるとき、あなたがたが夜明けを迎え、座から立ち上がり、悲しみのパンを口にするのは、むなしいことである。　見よ、主からの嗣業は子らであり、報いは胎の実である。力ある者の手にある矢の如く、追放された者たちの息子たちはそうである。彼らを通して自分の願いを全うする者は幸いである。彼らは、門で敵と語り合うとき、恥じることはない。

詩編127

主を畏れ、その道に従う者は皆、幸いである。あなたは自分の労苦の果実を味わい、幸いであり、すべてがうまくいく。あなたの妻は、あなたの家の周囲で実り豊かなぶどうの木のように　、あなたの息子たちは、あなたの食卓の周りに植えられたオリーブの若木のように。　見よ、主を畏れる人はこのように祝福される。主がシオンからあなたを祝福してくださり、あなたは生涯のすべての日にエルサレムの幸いを見、あなたの息子たちの息子たちを見るであろう。イスラエルに平安あれ。

詩篇128

「若き日から、何度も私に対して戦いを挑んできた」とイスラエルは言う。「若き日から、何度も私に対して戦いを挑んできた。しかし、見よ、彼らは私を打ち負かすことはできなかった！　罪人たちは私の背中で働き、その不義を続けた。しかし、義なる主は罪人たちの首を切り裂かれた。シオンを憎む者たちは皆、恥じて引き返せ。屋根の上の草のようになり、引き抜かれる前に枯れ果てよ。刈り取る者はその草で手を満たさず、穂を

拾う者はその胸に収めず、通り過ぎる者たちはこう言わなかった。「主の祝福があなたたちの上にありますように。主の御名によって、あなたたちを祝福します。」

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第二アンティフォナの祈り

司祭：主よ、御怒りをもって私たちを責めず、御憤りをもって私たちを罰なさらないでください。むしろ、御慈悲をもって、私たちの魂の医者であり癒し主である御方よ、私たちに御業をなしてください。　御心に適う安息の地へと私たちを導き、御真理を知るために私たちの心の目を照らし、聖母マリアとすべての聖人たちの取り次ぎにより、今日の一日の残りの時間を、そして私たちの生涯のすべての時を、平和で罪のないものとしてください。

賛美：まことに、あなたは慈愛に満ち、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

第三のアンティフォナの朗読中に三回の礼拝が行われ、聖なる小羊が祭壇に移される――この間、会衆は伏して礼拝する。聖杯にワインと水が注がれ、聖なる供物が覆われ、香が焚かれ、聖なる供物の前に蝋燭が置かれ、再び礼拝が行われる。

第18カフィズマの第3節
詩編129

朗読者：深みから、主よ、主よ、あなたに呼びかけます。私の声を聞いてください。私の祈りの声に、あなたの耳を傾けてください。もしあなたが不義を顧みられるなら、主よ、主よ、誰が立ち続けられましょうか。あなたには贖いがあるからです。　主よ、私はあなたの御名のためにあなたを待ち望みました。私の魂はあなたの御言葉に依り頼み、私の魂は主に望みを置きました。朝の番から夜まで、朝の番から、イスラエルは主に望みを置きます。主には恵みがあり、その救いは大いなるものです。主はイスラエルを、そのすべての不義から救い出されます。

詩編130

主よ、わたしの心は高ぶらず、わたしの目は傲慢にならず、わたしには、自分より高い偉大なことや驚くべきことには踏み込みませんでした。もしわたしが謙遜を欠き、自分の魂を高ぶらせたなら、母の胸から引き離された幼子のように、主はわたしの魂に報いてくださいます。　イスラエルは、今より永遠に、主を信頼しますように！

詩編131

主よ、ダビデとそのすべての柔和さを思い出してください。彼が主に誓い、ヤコブの神に誓約を立てたことを。 「主の住まい、ヤコブの神の宮を見つけるまでは、私は自分の家の天幕に入らず、敷かれた寝床にも上がらず、私の目に眠りを与えず、私の目にはうたた寝を許さず、私のこめかみに安らぎを与えない。」 見よ、私たちはエフラファでそのことを聞き、樫の木の生い茂る平野で見つけた。私たちは主の住まいに入り、主の御足が立たれた場所にひれ伏そう。 主よ、立ち上がってください。あなたの安息の場所へお入りください。あなたと、あなたの聖なる箱とが共に。あなたの祭司たちは正義をまとい、あなたの聖徒たちは喜びに満ちあふれます。あなたのしもべダビデのために、あなたの油注がれた者の顔を背けないでください。 主はダビデに真実をもって誓われ、その誓いを破られることはない。「あなたの胎から生まれる者を、あなたの王座に据えよう。もしあなたの息子たちが、わたしが彼らに教えるわたしの契約と、これらの証しを守り続けるなら、彼らの息子たちも、永遠にあなたの王座に座り続けるであろう。」主はシオンを選び、御自身の住まいと定められた。「これは、世々限りなくわたしの安息の場所である。わたしはここに住まう。わたしはこれを選んだからである。 その戦利品を祝福をもって祝福し、その貧しい者たちをパンで満たし、その祭司たちを救いで着せ、その聖徒たちは喜びに満ちる。そこで、わたしはダビデの角を再び生やし、わたしの油注がれた者に灯台を用意した。その敵を恥で覆い、彼の上にはわたしの聖所が花開く。」

詩編132

なんと素晴らしいことか、なんと楽しいことか――兄弟たちが共に暮らすことほど！ それは、頭から顎鬚へと流れ落ちる髪のように、アロンの顎鬚からその衣の裾へと流れ落ちるように。また、エルモンの露がシオンの山々へと降り注ぐように。なぜなら、主はそこに永遠の祝福と命をお与えになったからである。

聖体礼儀（事前聖別された聖体による）

詩編133

さあ、今、主の神殿に立ち、私たちの神の家の庭にいるすべての主のしもべたちよ、主を賛美せよ。夜ごとに、聖所に向かって手を挙げ、主を賛美せよ。。天と地を造られた主が、シオンからあなたを祝福してくださいますように。

栄光、そして今：ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ、神よ、あなたに栄光あれ。（3）

小エケテニア

助祭：再び、この世において、主に向かって祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

至聖なる、至清き、至福なる、栄光に満ちた私たちの主の母、神の母であり永遠の処女マリアと、すべての聖人たちを記念し、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

第三アンティフォナの祈り

司祭： 主よ、私たちの神よ、私たちが御名を呼び求める時、罪深く、不肖な御僕である私たちを覚えてください。御慈悲への希望において、私たちを恥じ入らせることなく、主よ、救いのために求めるすべてのものを私たちに授けてください。そして、私たちが心を尽くしてあなたを愛し、畏れ、あらゆる事において御心を行う者となれるよう、私たちを御許しください。

叫び：まことに、あなたは私たちの神、憐れみ深く救い主なる神です。父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

「主よ、私は叫びました：」

その後、詩篇140、141、129、116が、「主よ、私は叫びました」の節に合わせて歌われます。この間、規則に従い、助祭によって聖堂の完全な燻香が行われます。

主よ、私はあなたに呼びかけました。私の声を聞いてください。／私の声を聞いてください、主よ。

主よ、私はあなたに呼びかけました、私の声を聞いてください、／私の祈りの声に耳を傾けてください、／私があなたに呼びかける時。／私の声を聞いてください、主よ。

わが祈りが、／香のように、御前に上りますように、／わが両手を挙げることは、／夕のいけにえの如く。／主よ、わが声を聞いてください。

主よ、私の口に番人を置き、私の唇に守りの扉を設けてください。私の心が、不義を行う者たちと共に、罪を正当化する悪しき言葉をでっち上げることに傾かないようにしてください。そして、私は彼らの仲間には加わらないようにしてください。　義人は慈しみをもって私を導き、私を戒めてくださいます。しかし、罪人の香油が私の頭に注がれることのないように。また、私の祈りが彼らの願いとなることのないように。　彼らの裁判官たちは岩に飲み込まれた。彼らは私の言葉を聞くであろう。それは、その言葉が甘美なものとなったからである。まるで地の底が裂けて、彼らの骨が陰府で散らばったかのようだ。主よ、主よ、私の目はあなたに向けられている。私はあなたに望みを置いている。どうか私の魂を奪わないでください。　私を、私のために仕掛けられた罠から、また不法を行う者たちの誘惑から守ってください。罪人たちは自らの網に落ちるでしょう。私がそれを乗り越えるまでは、私は独りです。

私は声をあげて主に呼び求め、声をあげて主に祈った。主の御前に私の嘆きを注ぎ出し、主の御前に私の悲しみを告げ知らせる。私の霊が衰え果てたとき、それでもあなたは私の歩みを御存知であった。私が歩んだこの道に、彼らは私のために網を仕掛けていた。　私は右を見回し、見渡したが、私を認めてくれる者は誰もいなかった。逃げることもできなくなり、私の魂を擁護してくれる者もいなかった。主よ、私はあなたに叫び、「あなたは私の希望、生ける者の地における私の分け前です」と言った。　私の祈りに耳を傾けてください。私は深く打ちひしがれています。私を迫害する者たちから私を救い出してください。彼らは私よりも強大になっているからです。

10節：私の魂を牢獄から救い出してください。そうすれば、私はあなたの御名を賛美します。

あなたが私に報いてくださるまで、義人たちは私を待ち望んでいます。

8節：深みから、主よ、主よ、あなたに呼びかけます。私の声を聞いてください。

どうか、私の祈りの声に、あなたの耳を傾けてください。

第6節：主よ、主よ、もしあなたが不義を顧みられるなら、誰が耐えられましょうか。しかし、あなたには贖いがあります。

主よ、あなたの御名のために、私はあなたを待ち望みました。私の魂はあなたの御言葉に依り頼み、私の魂は主に望みを置きました。

4節：朝の番から夜まで、朝の番から、イスラエルは主に望みを置く。

主には恵みがあり、その救いは大いなるものであり、主はイスラエルをそのすべての不義から救い出されるからである。

2節：すべての民よ、主を賛美せよ。すべての部族よ、主を称えよ。

その慈しみは私たちの上に確かなものであり、主の真実は永遠に続くからである。

栄光：スティヒラ

そして今：聖母賛歌

香炉または福音書を持って入場する。
入場時の祈り

司祭：夕べも、朝も、正午も、私たちは、万物の主、人を愛する主よ、あなたを賛美し、祝福し、感謝し、祈りを捧げます！　私たちの祈りを、香のように御前に捧げてください。そして、私たちの心が邪悪な言葉や思いにそれることのないようお守りください。また、私たちの魂を捕らえるあらゆるものから私たちを救い出してください。主よ、主よ、私たちの目はあなたに向けられており、私たちはあなたに望みを置いています。どうか私たちを恥じ入らせないでください、私たちの神よ。　まことに、すべての栄光と誉れと礼拝は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、あなたにふさわしいものです。アーメン。

そして、スティヒルの終わりに、助祭（または司祭）は次のように宣言します。「至智よ！ 畏敬の念をもって立ちましょう！」

神の御子への夕の賛歌

そして聖歌隊は歌う：喜びに満ちた聖なる光よ、 / 不死の天の父の、 / 聖なる、祝福された方――イエス・キリストよ！　/ に太陽が沈む時を迎え、夕べの光を見て、 / 父と子と聖霊、神を賛美します。 / いつの時代も、 / 喜びの歌声をもってあなたを賛美することはふさわしいことです、 / 命を与える神の子よ、 / ――それゆえ、世界はあなたを賛美するのです。

助祭：耳を傾けましょう。

司祭：すべての人に平安あれ。

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ。

朗読者：プロキメン、声（○○）；そしてトリオディのプロキメンを歌います。

助祭：知恵よ。

朗読者：創世記の朗読。

助祭：耳を傾けましょう。

そして『創世記』を読みます。

助祭：至智。

朗読者：プロキメン、声調（○○）；そして第二のプロキメンを歌う。

その後、助祭が宣言する：「お命じください！」

この言葉の後、司祭は両手で蝋燭と香炉を持ち、それらで十字を刻みながら、東の方角を見つめて宣言する：「至智よ！ 畏敬の念をもって立ちましょう！」

そして、西の方角に向き直り、地面にひれ伏している民に向かってこう告げる。「キリストの光がすべての人を照らす！」

そして、朗読者が第二のパリミアを朗読する：「箴言の朗読」。

規定により、翌日に徹夜祷やポリエレイを伴う礼拝が定められている場合は、祝日や聖人に関するパリミアも朗読される。そして「導かれんことを」の後、助祭は特別なエクテニアを唱える。

助祭：耳を傾けましょう。

箴言の朗読

司祭：あなたに平安あれ。

朗読者：あなたの霊にも。

助祭：知恵よ。

「わが祈りが天に届きますように：」

そして、「わが祈りがあなたのもとへ上りますように」と歌う（詩編 140:2,1,3–4）。歌っている間、皆は伏して礼拝し、司式者は祭壇の前に立ち、まず祭壇に、次いで供物台に香を焚く。

カノナルク：わが祈りが、／香のように、御前に上りますように、／わが両手を挙げることは、／夕のいけにえの如く。

聖歌隊：わが祈りが上りますように：

カノナルク：主よ、私はあなたに呼びかけました。私をお聞きください、 / 私があなたに呼びかける時、 / 私の祈りの声に耳を傾けてください。

聖歌隊：わが祈りが届きますように：

カノナルク：主よ、私の口に守りを置かれ、 / 私の唇を守る門を設けてください。

聖歌隊：わが祈りが天に届きますように：

カノニーク：私の心を邪悪な言葉へとそらさず、 / 罪を正当化する口実をでっち上げさせないでください。

聖歌隊：わが祈りが導かれますように：

カノナルク：わが祈りが、／香のように、御前の御前に上りますように。

聖歌隊：私の両手を天に差し上げることは / 夕のいけにえの如し。

その後、慣例に従い、祈りを捧げながら三度お辞儀をします：

聖エフレム・シリンの祈り a

司祭：主よ、わがいのちの主よ、怠惰、虚栄、権力欲、そして空虚な言葉の霊に、私を委ねないでください。**（礼拝）**

その代わりに、貞潔、謙遜、忍耐、そして愛の霊を、あなたのしもべである私に授けてください。**（お辞儀）**

はい、主よ、王よ、私に自分の罪を見させ、兄弟を裁かないようにしてください。あなたは世々限りなく祝福されます。アーメン。**（お辞儀）**

もし聖人の祝日や教会の祝日が厳格な断食期間中に当たる場合、助祭（または司祭）は「耳を傾けましょう」と宣言します。そして、朗読者が使徒書のプロキメンを唱え、使徒書が朗読され、ハレルヤが歌われ、福音書が朗読されます。その後、次のエクテニアが続きます：

特別なエクテニア

助祭：皆で心を尽くし、思いを尽くして唱えましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

全能の主よ、我らの父なる神よ、あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れみ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御自身の偉大なる憐れみによって、私たちを憐れんでください。あなたに祈ります。お聞き入れ、憐れんでください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、偉大なる主であり、私たちの父である至聖なる総主教（名前）と、私たちの主である（高）至聖なる大主教（あるいは：大司教、あるいは：司教――名前）、そしてキリストにある私たちの兄弟姉妹全員のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3回）。

また、神に守られたわが国、その権力者たち、そして軍勢のために祈り、あらゆる敬虔さと清らかさの中で、平穏で安らかな生活を送ることができますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、私たちの兄弟である司祭たち、修道司祭たち、[助祭たちと修道士たち]、そしてキリストにある私たちのすべての兄弟姉妹のために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

さらに、この聖なる神殿（あるいは：この聖なる修道院）を築き上げ、常に記念される祝福された方々のため、また、ここや各地に眠る、すでにこの世を去ったすべての正教会の父たちや兄弟たちのために祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3回）。

さらに、この聖なる教会（あるいは：この聖なる修道院）の兄弟たち{および信徒たち}である神の僕たちのために、慈悲、命、平安、健康、救い、御加護、赦し、そして罪の赦しを祈ります。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3回）。

また、この聖なる、至聖なる聖堂において献金を捧げ、善行を行う者たち、そこで労苦し、歌い、参列する者たちのために祈ります。彼らは、あなたからの偉大で豊かな憐れみを待ち望んでいます。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ（3）。

熱心な祈りの祈り

司祭：主なる私たちの神よ、御自分のしもべたちからのこの熱心な祈りをお受け取りください。そして、御自身の豊かな憐れみによって私たちを憐れみ、御自身の寛大さを、御自身から尽きることのない憐れみを待ち望む私たちと、御自身の民すべてに注いでください。

司祭が宣言する：まことに、あなたは慈悲深く、人を愛する神であられます。私たちは、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

洗礼志願者への祈り

助祭：洗礼を受ける者たちよ、主にお祈りください！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：信徒の皆さん、洗礼志願者のために祈りましょう。主が彼らを憐れんでくださいますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

真理の言葉をもって彼らに告げた。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らに真理の福音を開かれた。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らを、御自身の聖なる、共にある使徒的教会と結びつけられた。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、彼らを救い、憐れみ、守り、保たれ給え。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

洗礼を受ける者たちよ、主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ。

求道者のための祈り

司祭：神よ、私たちの神よ、万物の創造主であり、すべての人々が救われ、真理を知るようになることを望まれる方よ！　御自分のしもべであるこの求道者たちを見守り、古くからの惑わしや敵の狡猾さから彼らを救い出し、彼らの魂と体を照らし、御名の聖なる名が呼ばれる御言葉の群れに加え、永遠の命へと招き入れてください。

叫び：彼らもまた、私たちと共に、父と子と聖霊なる、至聖にして威厳ある御名を、今、常に、そして世々限りなく賛美することができますように。

聖歌隊：アーメン。

そして、助祭はこう宣言する。「すべての求道者よ、出て行きなさい！　求道者よ、出て行きなさい！　すべての求道者よ、出て行きなさい！　求道者のうちには誰も残さず、ただ信徒たちのみが、主の御前で繰り返し祈りを捧げましょう！」

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

このように唱えられるのは、大斎の第4週の水曜日までである。そしてその水曜日、すなわち大斎の半ばからは、司祭の「彼らも私たちと共に賛美するよう

に」という言葉の後、助祭によって、すべての「聖別された供え物」の典礼において、祝日であっても、以下の祈願が唱えられる：

助祭：洗礼を受ける者たちよ、出て来なさい！　洗礼を受ける者たちよ、出て来なさい！　洗礼を受ける準備をしている者たちよ、進み出なさい！　洗礼を受ける準備をしている者たちよ、祈りなさい！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

洗礼を受ける者たちのためのエケテニア

助祭：信徒の皆さん、聖なる洗礼を受ける準備をしている兄弟たちと、彼らの救いのために、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

主なる神が彼らを確固たるものとし、強めてくださいますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

彼らを知恵と敬虔の光で照らしてくださいますように。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

時が来れば、彼らを再生の洗礼、罪の赦し、そして朽ちることのない衣に与えてください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

水と御霊によって彼らを再生させてくださいました。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

彼らに信仰の完全さをお与えください。

合唱：主よ、憐れみたまえ。

彼らを、聖なる、選ばれた御自身の群れに加えられた。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、彼らを救い、憐れみ、守り、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

洗礼を受ける準備をしている者たちよ、主の御前で頭を垂れなさい！

聖歌隊：主よ、あなたに。

聖なる洗礼を受ける準備をしている者たちのための祈り

司祭：主よ、聖なる洗礼を受ける準備をし、罪の汚れを捨て去ろうとする者たちに、御顔を現してください。彼らの知性を照らし、信仰を強め、希望を確固たるものとし、愛を全うさせ、私たちの魂の贖いのために御自身を捧げられた、あなたのキリストの体のふさわしい一員として認めてください。

賛歌：まことに、あなたは私たちの光であり、父と子と聖霊に、今、常に、そして世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

信徒の典礼

助祭：洗礼を受ける準備をしている者たちよ、出て来なさい！　洗礼を受ける準備をしている者たちよ、出て来なさい！　求道者たちよ、出て来なさい！　求道者たちは誰も残さず、ただ信徒たちのみが、主の御前で繰り返し祈りを捧げましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

ここで、四旬節の第4週の水曜日以降にのみ唱えられる祈願は終わります。

助祭：神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：至高の知恵よ！

信徒の第一の祈り

司祭：偉大にして称賛に値する神よ、御子キリストの命を与える死によって、私たちを朽ちるものから朽ちないものへと導いてくださった方よ！　あなたは、私たちのすべての感覚を情欲による死から解放し、それらに良き導き手である内なる分別を授けてくださいました。そして、目があらゆる邪悪な視線からそらされ、耳が空虚な言葉に耳を貸さず、舌が不適切な言葉から清められますように。　主よ、あなたを賛美する私たちの口を清め、私たちの手が悪事から遠ざかり、ただあなたに喜ばれることのみを行うようにしてください。そして、私たちの体のすべての肢体と心を、あなたの恵みによって強めてください。

司祭はこう宣言する。「まことに、すべての栄光、誉れ、礼拝は、父と子と聖霊にふさわしいものであり、今、そして常に、世々限りなく。」

聖歌隊：アーメン。

助祭：再び、この世において、主のために祈りましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

（司祭が単独で礼拝を執り行う場合、以下の［四つの］祈願は唱えません：

天からの平和と、私たちの魂の救いについて、主に祈りましょう。

全世界の平和、神の聖なる教会の繁栄、そしてすべての者の団結のために、主にお祈りしましょう。

この聖なる神殿と、信仰と畏敬の念、そして神への畏れをもってここに入るすべての人々のために、主にお祈りしましょう。

あらゆる悲しみ、怒り、災い、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主にお祈りしましょう。）

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

助祭：至高の知恵よ！

信徒の第二の祈り

司祭：聖なる、至福なる主よ！　恵みに満ちた御方よ、私たち罪人に対して憐れみ深くあられ、御独り子であり、私たちの神、栄光の王をお迎えするにふさわしい者とならせてください。　まことに、今この時、この神秘の食卓に供えられる、御子の至聖なる御体と命を与える御血は、数えきれない天の軍勢に目に見えぬ形で付き添われております。私たちが、裁きを受けることなくこれらに与ることをお許しください。そうして、これらを通して知性の眼が照らされ、私たちが光と日の子となるように。

司祭はこう宣言する：御子キリストの賜物によって、御子と共に祝福された御方よ、全聖にして善き、命を与える御霊と共に、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

大入堂

聖歌隊：今、天の御力たちが目に見えぬまま、私たちと共に奉仕しています。 / 見よ、栄光の王が入り、見よ、神秘にして完全なる犠牲が、彼らに付き添われて入ります。

この歌が歌われている間、助祭は北の門から聖なる祭壇に入り、聖なる玉座と祭壇、そして司祭に香を焚く。その後、司祭と助祭は並んで立ち、両手を挙げて三度次のように唱える： 今、天の諸勢力は：**そして、三度礼拝した後、祭壇へと退き、慣例に従って聖なる供物を運ぶ。　入堂の間は、何も唱えない。そして、聖所に入ると、司祭は慣例に従って聖なる祭壇の上にそれらを安置し、何も唱えずにただ香を焚くだけで、布で覆う。**

聖所に入った後

聖歌隊：信仰と愛をもって近づこう、 / 私たちが永遠の命の参与者となるために。 / ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ！

その後、慣例に従い、聖エフレム・シリンの祈りが三回の礼拝を伴って朗読される：「主よ、わがいのちの主よ：

続いて、王の門が閉じられ、幕が半分ほど引き下げられる。一方、助祭は定位置に出て、祈願を唱える：

請願のエクテニア

助祭：主への夕の祈りを捧げましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

捧げられ、あらかじめ聖別された聖なる供え物について、主にお祈りしましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

人を愛する私たちの神が、彼らを聖なる、天をも超える、無形の御祭壇に、霊的な香りのよい供え物として受け入れ、私たちに神の恵みと聖霊の賜物を授けてくださるよう、祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

あらゆる悲しみ、怒り、[危険]、そして困窮から私たちを救ってくださるよう、主に祈りましょう。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この完全で、聖なる、平和で、罪のない晩餐を、主にお求めいたします。

聖歌隊：主よ、お与えください。

平和の天使、忠実な導き手、私たちの魂と肉体の守護者を、主にお祈り申し上げます。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主よ、私たちの罪と過ちの赦しと免除を、主にお祈りいたします。

聖歌隊：主よ、お与えください。

主の御許に、私たちの魂にとって善きものであり有益なものと、この世に平和を、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

この世での残りの生涯を、悔い改めの中で全うできるよう、主にお祈り申し上げます。

合唱：主よ、お与えください。

私たちのキリスト教徒としての最期が、苦痛なく、恥じることなく、平穏であり、またキリストの最後の審判において善き裁きが下されますよう、お願いいたします。

合唱：主よ、お与えください。

信仰の一致と聖霊による交わりを願い求め、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねます。

聖歌隊：主よ、あなたに。

祈り
聖体の安置後
祭壇への安置後、聖体拝領の前に

司祭はこう祈る。「言葉に尽くせぬ、目に見えぬ秘儀の神よ、御許には知恵と知識のすべての富が秘められています！　あなたは、この礼拝の執行を私たちに明らかにし、あなたの偉大なる人間愛により、私たち罪深い者たちを、私たちの過ちと、民の無知による罪のために、あなたに供え物と犠牲を捧げる者となさってくださいました。偉大で測り知れず、栄光に満ち、並外れて数えきれないほど多くの御業をなされる、目に見えぬ王よ、この聖なる祭壇の前に、あなたのケルビムの御座の前に立つかのように、あなたの御前に立つ この聖なる祭壇の前に、あたかも御子のケルビムの玉座の前に立つかのように、御前にひれ伏す、不適格

な僕たちを、御子であり私たちの神である方が、　を通じて、この恐るべき聖礼典を捧げているその御座の如く、御覧ください。　そして、私たちとあなたの忠実な民をあらゆる不浄から解き放ち、私たちすべての魂と体を、取り去ることのできない聖別によって聖別してください。そうして、清い良心と、恥じることのない顔、そして照らされた心をもって、これらの神聖な聖なるものを受け、それによって生かされ、私たちをあなたのキリストご自身、「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしの中に留まり、わたしもその人の中に留まる」と仰せになった、私たちの真の神であるキリストご自身と結ばれることができますように。そして、私たちの中に住まわれ、歩まれる御言葉によって、　主よ、私たちを、あなたの至聖なる、崇められる御霊の宮とさせ、行いにおいても、言葉においても、思いにおいても働くあらゆる悪魔の狡猾さから解放し、あなたに永遠に喜ばれたすべての聖徒たちと共に、私たちに約束された恵みを受けさせてください。

司祭は次のように**宣言します**。「主よ、私たちに、裁きを受けることなく、大胆に天の神、父なる御名を呼び求め、次のように宣言する勇気を与えてください。

会衆：天にまします我らの父よ！　御名が聖とされますように。御国が来ますように。御心が天におけるごとく、地にも行われますように。私たちの日ごとの糧を今日お与えください。私たちの罪を赦してください。私たちも、私たちに罪を犯した者を赦しますように。私たちを誘惑に遭わせず、悪から救い出してください。

司祭：まことに、御国と力と栄光は、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなくありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：すべての人に平安あれ！

聖歌隊：あなたの霊にも。

助祭：主の御前で頭を垂れましょう！

聖歌隊：主よ、あなたに。

聖体礼儀（事前聖別された聖体による）

頭を垂れる祈り

司祭は頭を垂れて、次のように祈る：神よ、唯一の善き、慈悲深き方よ、高き所におられ、この世を見守られる方よ！　御慈悲の眼差しをもって御自分の民すべてを見守り、彼らを守り、私たちすべてが、裁きを受けることなく、この　御自身の命を与える聖なる秘跡に与ることをお許しください。私たちは御前に頭を垂れ、御前から尽きることのない慈しみを待ち望んでいるからです。

叫び：御子の一人子による恵みと憐れみと人間愛によって、御子と共に祝福された御方、また、至聖にして善き、命を与える御霊と共に、今、そして常に、世々限りなく。

聖歌隊：アーメン。

司祭の祈り

主イエス・キリスト、私たちの神よ、あなたの聖なる住まいと、あなたの御国の栄光の御座から、私たちの声に耳を傾けてください。そして、御父と共に高き所に座し、ここでも目に見えぬ形で私たちと共にいてくださるあなたが、私たちを聖別するために来てください。　そして、御身の力強い御手をもって、御身の至聖なる御体と尊い御血を、私たちに、そして私たちを通してすべての民に授けてくださいますように。

祈りの後、司祭と助祭は次の言葉を唱えながら三度礼拝します。

神よ、罪深い私を清めてください。 **(3)**

一方、司祭は、聖なる供え物を覆う空気に手を差し伸べ、畏敬と畏怖の念をもって命を与えるパンに触れる。

助祭：静粛に聴きましょう！

司祭が宣言する：「あらかじめ聖別された聖なるもの――聖なる者たちへ！」

聖歌隊：唯一の聖なる方、 / 唯一の主、 / イエス・キリスト、 / 父なる神の栄光のために。 / アーメン。

その後、司祭は聖なる空気と星形の装飾を置き、慣例に従って神の賜物による聖体拝領を行う。

聖体拝領

聖歌隊は次のように歌う：「味わえ――そうすれば、主がいかに恵み深いかを知るだろう。ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。」

その祝日に、聖人または聖堂の使徒書と福音書が朗読された場合は、規定に従って別の聖体拝領の賛歌も歌われる。

祭壇での聖体拝領

幕が完全に引き締められる。助祭は聖なる祭壇に入り、司祭の右側に立ち、次のように言う：

「主よ、聖なるパンを砕いてください。」

司祭は、深い敬意を込めて聖なる小羊を四つに分けながら、次のように唱える：

「神の子羊は砕かれ、分けられる。砕かれつつも決して分けられず、常に味わわれつつも決して尽きることなく、聖体拝領する者を聖別する。」

そして、何も言わずに、聖なる小杯に聖なる小羊の一片を納める。その後、温めた水を祝福し、助祭は黙ってそれを聖なる小杯に注ぎ入れる。

司祭はこう言う。「助祭よ、近づきなさい。」

すると、助祭は近づき、慣例に従って敬虔に頭を下げ、次のように言う。

「見よ、私は不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。」そして、「主、神、そして私たちの救い主イエス・キリストの尊く聖なる御体と御血を、私に授けてください。」

司祭は次のように言う：

「（某――名前）聖助祭に、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く、聖なる、そして至聖

なる御体と御血が授けられます。これは、その者の罪の赦しと永遠のいのちのためです。」

そして、聖なる秘跡を授けてくれた手に口づけをした後、助祭は退き、聖座の後ろに立ち、頭を下げて、司祭と同様に次のように祈る。「主よ、私は信じます」など。

同様に、司祭も聖体の断片を受け取ると、次のように唱える。

見よ、私は、不死の王であり、私の神であるキリストのもとに来ます。

主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く、至聖なる御体と御血が、私（名前）という司祭に、私の罪の赦しと永遠のいのちのために授けられます。

そして、頭を垂れて、次のように祈ります。「主よ、私は信じ、告白します。そして、あなたの神秘の晩餐の参加者として。そして、裁きや非難のためではなく、最後まで。」

そして、畏れと確固たる信仰をもって、キリストの至聖なる御体を拝領する。その後、司祭はスポンジを取り、次のように言いながら手を拭う：

「神よ、あなたに栄光あれ」と三度唱える。

そして、アンティドルを口に含んだ後、感謝の祈りを唱える：

すべての者の救い主である神よ、あなたに感謝いたします：（以下を参照）。

教会における信徒の聖体拝領

助祭は三度お辞儀をして、王の門を開き、聖杯を手に取り、次のように宣言する。「神への畏敬の念と、信仰[と愛]をもって、近づきなさい！」

一方、聖歌隊は次のように歌う。「私は常に主を賛美し、 / 私の口には常に主への賛美がある。」

信徒への聖体拝領に先立ち、司祭は慣例に従って次のように祈りを唱える。「主よ、私は信じ、告白します。あなたはまことにキリスト、生ける神の御子であり、罪人である私たちを救うためにこの世に来られた方であり、その中でも私は筆頭です。　また

、これがあなたの最も清らかな御体であり、これがあなたの最も尊い御血であることを信じます。　どうかあなたに祈ります。私を憐れみ、私の自発的・非自発的な罪、言葉や行いによって、意識的・無意識的に犯した罪を赦してください。そして、私が裁きを受けることなく、あなたの至聖なる秘跡に与り、罪の赦しと永遠の命を得ることができますように。アーメン。

神の御子よ、この日、御あなたの神秘の晩餐の参加者として、私をお受け入れください。私は御あなたの敵にその秘密を明かすことはなく、ユダのような口づけを御あなたに捧げることもありません。むしろ、強盗のように御あなたに告白します。「主よ、御あなたの御国で私を覚えてください！」

主よ、あなたの至聖なる秘跡の聖体拝領が、私にとって裁きや非難となることのないよう、むしろ魂と体の癒やしとなりますように。

そして、聖体拝領を望む者たちは、胸に手を組んで、あらゆる敬虔さと畏れをもって礼拝しながら、一人ずつ順番に近づいていきます。そして、一人ひとりが神聖な秘跡を受け取ります。司祭は、一人ひとりに聖体を与える際、次のように唱えます。

神のしもべ（名前）は、主であり、神であり、私たちの救い主であるイエス・キリストの尊く聖なる御体と御血を、その罪の赦しと永遠のいのちのために受けます。アーメン。

聖体拝領の後

聖体拝領の後、司祭は民を祝福しながら、次のように宣言する。「神よ、あなたの民を救い、あなたの御業を祝福してください。」

そして聖歌隊は歌う：「天のパンと命の杯を味わえ / ――そうすれば、主がいかに恵み深いかを知るであろう。 / ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。」

そして、聖なる供え物に香を焚いた後、司祭は一礼し、聖杯を手に取り、王の門の方を向き、会衆を見つめながら密かにこう唱える：

「私たちの神は祝福されます。」

そして、声を高めて言う。「常に、今、そして永遠に、世々限りなく。」

そして、聖なる供物を祭壇へと運ぶ。

聖歌隊：アーメン。

主よ、私たちの口が／あなたへの賛美で満たされますように、／私たちがあなたの栄光を讃えることができますように。／あなたは私たちに、／あなたの聖なる（神聖で、不死で、命を与える）秘跡に与ることを許してくださったからです。 / 私たちをあなたの聖別の中に守り、／一日中、あなたの真理について思いを巡らせることができますように。／ ハレルヤ、ハレルヤ、ハレルヤ。

助祭：畏敬の念をもって立ちましょう！神聖で、聖なる、至清き、不死の、天上の、命を与える、畏れ多いキリストの聖餐を受け、主をふさわしく賛美しましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

神よ、御恵みをもって、私たちを守り、救い、憐れみ、保ってください。

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

この完全で、聖なる、平和で、罪のない夕べを願い求め、私たち自身と互い、そして私たちの生涯のすべてを、キリストなる神に委ねましょう。

聖歌隊：主よ、あなたに。

感謝の祈り

司祭：すべての者の救い主である神よ、あなたが私たちに授けてくださったすべての恵み、そしてあなたのキリストの聖なる御体と御血の聖体拝領に感謝いたします。 そして、人を愛する主よ、あなたに願います。あなたの御翼の庇いの下で私たちを守り、私たちの最後の息が尽きるまで

、魂と体を照らし、天の御国を相続するために、あなたの聖なる御体と御血にふさわしく聖体拝領させてください。

賛歌：まことに、あなたは私たちの聖化者であり、父と子と聖霊に、今、そして常に、世々限りなく、栄光を捧げます。

聖歌隊：アーメン。

司祭：平和のうちに去りましょう！

聖歌隊：主の御名によって。

助祭：主にお祈りしましょう！

聖歌隊：主よ、憐れみたまえ。

祭壇からの祈り、
司祭によって唱えられる

全能の主よ、御知恵をもってすべての被造物を創造され、御言葉に尽くせぬ御摂理と偉大なる慈愛により、私たちをこの至聖なる日々へと導いてくださいました――魂と肉体の清め、情欲からの自制、そして復活への希望へと！　四十日後に、神が刻まれた十戒を御使いモーセに授けられた主よ、私たちにも、　善き方よ、善き行いに励み、断食の道を全うし、揺るぎない信仰を守り、目に見えぬ蛇の頭を打ち砕き、罪に打ち勝つ者として現れ、非難されることなく聖なる復活を礼拝できるよう、私たちにもお与えください。　まことに、父と子と聖霊の、至聖にして威厳ある御名は、今、そして常に、世々限りなく、祝福され、賛美されますように。

聖歌隊：アーメン。主の御名が、今より永遠に祝福されますように。（3）

朗読者：栄光、そして今：

詩編33

私は常に主を賛美し、私の口には常に主への賛美がある。私の魂は主を賛美する――柔和な人々がこれを聞いて喜び躍

るよう。私と共に主を賛美し、共に主の御名を称えよう。わたしは主を求め、主はわたしに耳を傾け、わたしのすべての苦しみからわたしを救い出してくださった。主のもとに来て、光を受けなさい。そうすれば、あなたがたの顔は恥じ入ることはない。この貧しい者が叫ぶと、主は彼に耳を傾け、彼のすべての苦しみから彼を救い出してくださった。　主の御使いは、主を畏れる者たちの周囲に陣を張り、彼らを救い出される。味わって、主がいかに良き方であるかを知れ。主を信頼する人は幸いである。主を畏れよ、主の聖なる者たちよ。主を畏れる者には、何一つ欠けることがないからである。　富める者は貧しくなり、飢えに苦しむが、主を求める者は、いかなる善においても欠けることがない。さあ、子らよ、わたしに耳を傾けよ。主を畏れることを教えよう。生きることを望む者、良い日々を見たいと願う者は誰か。悪から舌を遠ざけ、口から欺きの言葉を遠ざけよ。　悪を避け、善を行い、平和を求め、それに努めよ。主の目は義人に向けられ、その耳は彼らの祈りに傾いている。しかし、主の御顔は悪を行う者に向けられ、彼らを地から根絶やしにするためである。義人たちは叫び求めた。主は彼らの声を聞き、すべての苦しみから彼らを救い出された。主は、心が砕かれた者、霊がへりくだった者に近くおられ、彼らを救われる。　義人には多くの苦難があるが、主はそれらすべてから彼らを救い出される。主は彼らのすべての骨を守り、その一つも砕かれることはない。罪人の死は悪であり、義人を憎む者は罪を犯す。主は御自分のしもべたちの魂を救い出し、主に望みを置く者は皆、罪を犯すことはない。

聖なる賜物の拝領のための祈り

司祭：主なる神よ、私たちをこの至聖なる日々に導き、御身の畏れ多い聖餐に与らせてくださった方よ！私たちを御言葉の群れに加え、御国の相続人としてください。今、そして常に、世々限りなく。アーメン。

司祭は祭壇から出て、アンティドルを配る。

司祭：主の祝福［と憐れみ］が、御方の［神聖な］恵みと人間愛により、常に、今、そして永遠に、世々限りなく、あなたがたの上にありますように。

聖歌隊：アーメン。

司祭：キリストなる神よ、私たちの希望よ、あなたに栄光あれ、あなたに栄光あれ！

聖歌隊：栄光あれ、そして今、主よ、憐れみたまえ。（3）祝福あれ。

その後、司祭は送りの言葉を述べる

キリスト、私たちの真の神よ、御自身の聖母マリアの祈りにより、（以下、その週の日、聖堂の守護聖人、およびその日の聖人に関する文言）、私たちの聖なる父、二語の聖グレゴリオス、ローマ教皇、[聖なる義人、神の父母ヨアキムとアンナ]、そしてすべての聖人たちの祈りによって、慈愛に満ち、人を愛する方として、私たちを憐れみ、救ってくださいます。

このように、受難週まではこの閉会祈祷が唱えられます。受難週においては、その週特有の閉会祈祷が唱えられます。

そして、「長寿の祈り」が歌われます。その後、閉会の祈りの後に、感謝の祈りが読まれます。

聖体礼儀の終わり。

目次へ